リモコン倶楽部 Ver.5

取扱説明書

ゼッタテクノロジー株式会社

ご注意

① このソフトウェアの著作権は、ゼッタテクノロジー株式会社にあります。
② このソフトウェアや本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
③ このソフトウェアは、マネージャおよびエージェントをセットアップするコンピュータ1台につき1ライセンス購入が原則となっております。
④ このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤ このソフトウェアの仕様および本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

Microsoft、MS、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

はじめに

この度は、弊社のリモートコントロールソフト「リモコン倶楽部 Ver.5（以降「リモコン倶楽部」と表記します）」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

リモコン倶楽部は、リモートコンピュータをコントロールするためのコントローラ「リモコン倶楽部 マネージャ」と、画面送信や「リモコン倶楽部 マネージャ」から送信されたマウス、キーボード入力などの操作を受信して実行する「リモコン倶楽部 エージェント」で構成されています。

さらに、インターネット上で快適にリモコン倶楽部を接続して頂くために、「リモコン倶楽部 Webコミュニケーション」ツールをご用意いたしました。

本書は、リモコン倶楽部の操作方法などについて詳しく述べております。

ご使用になる前に必ずお読み頂き、適切なセットアップが終了した上で、リモコン倶楽部をご活用ください。

表記方法

本書は、次の表記規則に従って表記します。

❑　メニュー・コマンド・ダイアログボックスの表記

表記	説明
[接続]メニュー	メニュー名は、[ ]で囲んで表記します。
[接続]-[切断]コマンド	コマンド名はそのコマンドが含まれているメニューの名前を付けて[ ]で囲んで表記します。例えば、[切断]コマンドが[接続]メニューにある場合、[接続]-[切断]コマンドと表記します。
〔エージェントに接続〕ダイアログボックス	ダイアログボックス名は、そのダイアログボックスのタイトルバーに表示されている名前を、〔 〕で囲んで表記します。
[コンピュータ名]テキストボックス	ダイアログボックスのオプション名は、[ ]で囲んで表記します。また、オプション名のあとに、そのオプションの種類を示します。
<OK>ボタン	画面内、またはダイアログボックス内のコマンドボタンは、< >で囲んで表記します。

❑　記号による表記

表記	説明
 注 意	操作を行う上で、特に注意する点を説明します。
 メ モ	操作を行う上で、特に注意するほどでもないが、知識として覚えていたほうが好ましい事柄を説明します。
 参 照	詳しく説明されている参照先を示します。

❑　マウス操作の表記

表記	説明
ポイント	マウスを移動して、マウスポインタ（画面に表示される矢印形など）を選択対象（画面上のコマンド名など）の上に重ねることです。
クリック	マウスの左ボタンを押して、すぐに離すことです。
ダブルクリック	マウスの左ボタンをすばやく2回クリックすることです。
ドラッグ	マウスの左ボタンを押したままマウスを移動し、目的の位置で離すことです。

❑　キー操作の表記

表記	説明
Enter	キーは、[　　]で囲んで表記します。
A 、 B	キーが点（、）で区切られているときは、それぞれのキーを順に押すことを示します。この例では、A 、B の各キーを順に押すことを示します。
Alt ＋ A	2つのキーの間のプラス記号「＋」は、キーの組み合わせを表します。この例では、Alt キーを押しながら A キーを押すことを示します。
矢印キー	↑ キー、↓ キー、← キー、→ キーの総称です。

❑　一般の表記・用語

表記	説明
HD	ハードディスクのことを示します。
CD-ROM	CD-ROMディスクのことを示します。
リモコン倶楽部	リモコン倶楽部 マネージャとリモコン倶楽部 エージェントの総称です。
マネージャ	リモコン倶楽部 マネージャを示します。
エージェント	リモコン倶楽部 エージェントを示します。
Webｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	リモコン倶楽部 Webコミュニケーションを示します。
Windows	Microsoft® Windows® XP Professional、 Microsoft® Windows® XP Home Edition、 Microsoft® Windows® 2000 Server Operating System、 Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System、 Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0 Operating System、 Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0 Operating System、 Microsoft® Windows® Me Operating System、 Microsoft® Windows® 98 Operating System、 の総称です。

注 意

本書での説明は、お読みになる方が、コンピュータやMicrosoft® Windows® operating system（以降 Windows）に関して基礎的な知識があり、Windowsの基本的な操作が行えることを前提として記述してあります。
従って、Windowsの基本的な操作と同じ部分については、特に説明しておりませんのでご了承ください。
なお、本文中の単語や説明している操作、Windowsの基本的な操作など分からない場合には、お手数ですが他のマニュアルや文献などをご参照ください。

キー対応表

本文中のキー表記がご使用のキーボードのキーの表示と異なる場合は、次の「キー対応表」に従ってキーの読み替えを行ってください。

本書での表記	NEC PC9800ｼﾘｰｽﾞ 98NOTE	富士通 (JIS)	富士通 (親指シフト)	松下電器	東芝 J-3100 DynaBook	東芝 J-3300
Esc	ESC	ESC	ESC	ESC	ESC	ESC
Tab	TAB	TAB	タブ	TAB	←→	Tab ←→
Enter	↵	↵	↵	↵	Enter ↵	Enter ↵
Space			空白		*1	*1
BackSpace	BS	⇦	後退	⇦	⇦	←
Ins	INS	挿入	挿入	挿入	Ins	Insert
Del	DEL	削除	削除	削除	Del	Delete
Shift	SHIFT	SHIFT	SHIFT	SHIFT	⇧Shift	⇧Shift
Ctrl	CTRL	CTRL	CTRL	CTRL	Ctrl	Ctrl
Alt	GRPH	PF20 または Alt	PF20	PF20	Alt	Alt
Home	SHIFT + HOME CLR	HOME または PF13	HOME または PF13	HOME または PF13	Home	Home
PageDown	ROLL UP	次行	次行	次行	PgDn Next	Page Down
PageUp	ROLL DOWN	前行	前行	前行	PgUp Prev	Page Up
End	HELP	PF14	PF14	PF14	End Exec	End
CapsLock	CAPS	CAP		CAP	Caps Lock	Caps Lock
NumLock					Num Lock	Num Lock
ScrollLock					Scroll Lock	Scroll Lock
Pause		PF16		PF16		
Ctrl + Break	STOP	取消	取消	取消	Ctrl + Break	Ctrl + Break

*1 漢字 キーがオフのとき、Space キーの役割をします。

本書での表記	IBM PS/55 5576-001	IBM PS/55 5576-002/003	IBM PS/55 NOTE 5523-S	AX日本語	106日本語	101英語
Esc	Esc	Esc	Esc	Esc	Esc	Esc
Tab	⇆	⇆	⇆ または Tab ⇆	Tab	Tab ⇆	Tab ⇆
Enter	改行 ↵	Enter 改行	Enter 改行 または Enter ↵	Enter	Enter ↵	Enter ↵
Space	スペース	スペース				
BackSpace	後退	後退	後退 または Back space	Back Space	Back space	Backspace
Ins	挿入	挿入	挿入 または Insert	Insert	Insert	Insert
Del	削除	削除	削除 または Delete	Delete	Delete	Delete
Shift	⇧	⇧	⇧ または ⇧Shift	Shift	⇧Shift	⇧Shift
Ctrl	Ctrl	Ctrl	Ctrl	Ctrl	Ctrl	Ctrl
Alt	前面キー	前面キー	Alt または 前面キー	Alt	Alt	Alt
Home	↖	Home	Home	Home	Home	Home
End	ページ 呼出し ↙	End	End	End	End	End
PageDown	次ページ	次ページ	次ページ または Page Down	Page Down	Page Down	Page Down
PageUp	前ページ	前ページ	前ページ または Page Up	Page Up	Page Up	Page Up
CapsLock	前面キー + 英数	⇧ + Caps Lock 英数	⇧ + Caps Lock 英数	CapsLock	⇧Shift + Caps Lock 英数	CapsLock
NumLock	⇧ + 文書 Alt ScrLk	⇧ + NumLk ScrLk	⇧ + NumLk ScrLk	Num Lock	Num Lock	Num Lock
ScrollLock	文書 Alt ScrLk	NumLk ScrLk	NumLk ScrLk	Scroll Lock	Scroll Lock	Scroll Lock
Pause	Pause	Pause	Pause	Pause	Pause	Pause
Ctrl + Break	Ctrl + Break	Ctrl + Break	Ctrl + Break	Ctrl + Break	Ctrl + Break	Ctrl + Break

本書での表記	NEC PC9800ｼﾘｰｽﾞ 98NOTE	富士通 (JIS)	富士通 (親指シフト)	松下電器	東芝 J-3100 DynaBook	東芝 J-3300
PrintScreen	COPY	COPY	COPY	COPY		
↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
←	←	←	←	←	←	←
→	→	→	→	→	→	→
F1	F1	F1	F1	F1	F1	F1
F2	f･2	PF2	PF2	PF2	F2	F2
F3	f･3	PF3	PF3	PF3	F3	F3
F4	f･4	PF4	PF4	PF4	F4	F4
F5	f･5	PF5	PF5	PF5	F5	F5
F6	f･6	PF6	PF6	PF6	F6	F6
F7	f･7	PF7	PF7	PF7	F7	F7
F8	f･8	PF8	PF8	PF8	F8	F8
F9	f･9	PF9	PF9	PF9	F9	F9
F10	f･10	PF10	PF10	PF10	F10	F10
F11	vf･1 または GRPH + f･1	PF11	PF11	PF11	Alt + F1	F11 または Alt + F1
F12	vf･2 または GRPH + f･2	PF12	PF12	PF12	Alt + F2	F12 または Alt + F2
漢字	XFER または CTRL + XFER *2	かな漢字	かな漢字	かな漢字	漢字	漢字
変換	スペース または XFER	変換	変換	変換	*3	*3
無変換	NFER	無変換	無変換	無変換		
カナ	カナ	カタカナ または ひらがな	カタカナ 英小文字		Fn カナ	カナ

*2お使いの日本語入力システムによって、使用するキーが異なります。

*3漢字キーがオンのとき、変換キーの役割をします。

本書での表記	IBM PS/55 5576-001	IBM PS/55 5576-002/003	IBM PS/55 NOTE 5523-S	AX日本語	106日本語	101英語
PrintScreen	ページ 印刷	ページ 印刷	ページ 印刷 または Print Screen	Print Screen	Print Screen	Print Screen
↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
←	←	←	←	←	←	←
→	→	→	→	→	→	→
F1	F1	F1	F1	F1	F1	F1
F2	F2	F2	F2	F2	F2	F2
F3	F3	F3	F3	F3	F3	F3
F4	F4	F4	F4	F4	F4	F4
F5	F5	F5	F5	F5	F5	F5
F6	F6	F6	F6	F6	F6	F6
F7	F7	F7	F7	F7	F7	F7
F8	F8	F8	F8	F8	F8	F8
F9	F9	F9	F9	F9	F9	F9
F10	F10	F10	F10	F10	F10	F10
F11	F11	F11	F11	F11	F11	F11
F12	F12	F12	F12	F12	F12	F12
漢字	漢字	⇧ + 漢字 カタカナ	Alt *4 + 半角/全角	漢字	Alt + 半角/全角	Alt + ~ 、
変換	前候補 変換（次候補） または スペース	前候補 変換（次候補） または スペース	前候補 変換（次候補） または	変換	前候補 変換（次候補） または	
無変換	無変換	無変換	無変換	無変換	無変換	
カナ	Ctrl + カタカナ	Ctrl + 漢字 カタカナ	Ctrl + ⇧ *5 + カタカナ ひらがな	Ctrl + Shift + 英数カナ	Ctrl + ⇧Shift + カタカナ ひらがな	Shift + Ctrl + Caps Lock

*4 前面キー キーでも機能します。

*5 Shift キーでも機能します。

目次

はじめに
表記方法
キー対応表

第1章 製品概要 ・・・

エージェントの切断 …… 77
インターネット経由で接続していた場合の切断 …… 77
インターネット経由で家庭内LANや企業内LAN・WANの
エージェントに接続していた場合の切断 …… 81
IPアドレスを指定して接続していた場合の切断 …… 82
電話回線を使用して直接接続していた場合の切断 …… 83

第5章 環境設定 …… 87

「リモコン倶楽部 エージェント」の
サービスとメンテナンスツール …… 88
メンテナンスツールの操作 …… 89
メンテナンスツールの初期設定の手順 …… 89
メンテナンスツールの初期設定 …… 90
サービスを手動で停止する …… 100
サービスを手動で開始する …… 102
サービスを削除する …… 104
スタートアップを設定する …… 106
ポート番号を設定する …… 109
マネージャからの接続時にメッセージを表示する …… 113
マネージャからの接続要求のメッセージを表示する …… 115
アップデートモジュールの更新方法を設定する …… 118
マネージャ/エージェントの起動時に自動更新を実行する …… 118
自動更新を今すぐ実行する …… 120
ツールバーをカスタマイズする …… 121

第6章 リモートコントロール …… 125

リモートコントロールする …… 126
リモートコントロールの概要 …… 126
チャットする …… 128
メッセージを送信する場合 …… 128
送受信したメッセージを確認する …… 129
メッセージを編集する …… 130
チャットに使用する名前を設定する …… 131
オンリーチャットでチャットする …… 132
透明ボードを使って描画する …… 135
キーを送信する …… 138

画像転送を一時停止する …… 139
最新の画面を表示する …… 140
リモートコントロール領域を画面全体に表示する …… 141
閲覧モードで表示する …… 142
クリップボードの内容を同一にする …… 143
転送品質を変更する …… 144
送信画像を圧縮する …… 145
画面色数を設定する …… 146
壁紙を無効にする …… 147
リフレッシュ間隔を設定する …… 148
表示倍率を変更する …… 149
接続許可キーを設定する …… 150
接続許可キーエラー時のリトライ回数を設定する …… 151
接続待ち情報を受信しないを設定する …… 152
接続待ち状態の通知方法を設定する …… 153
エージェントのスタイルを設定する …… 155

第7章 ファイルの送受信 …… 157

ファイルワープの概要 …… 158
ファイルワープの起動と終了 …… 159
ファイルワープを起動する …… 159
ファイルワープを終了する …… 159
ファイルやフォルダを操作する …… 160
ファイルを送受信する …… 163
エージェント側にファイルやフォルダを送信する …… 163
エージェント側のファイルやフォルダを受信する …… 164
ファイルを送受信する際の注意および制限事項 …… 165

付録 …… 167

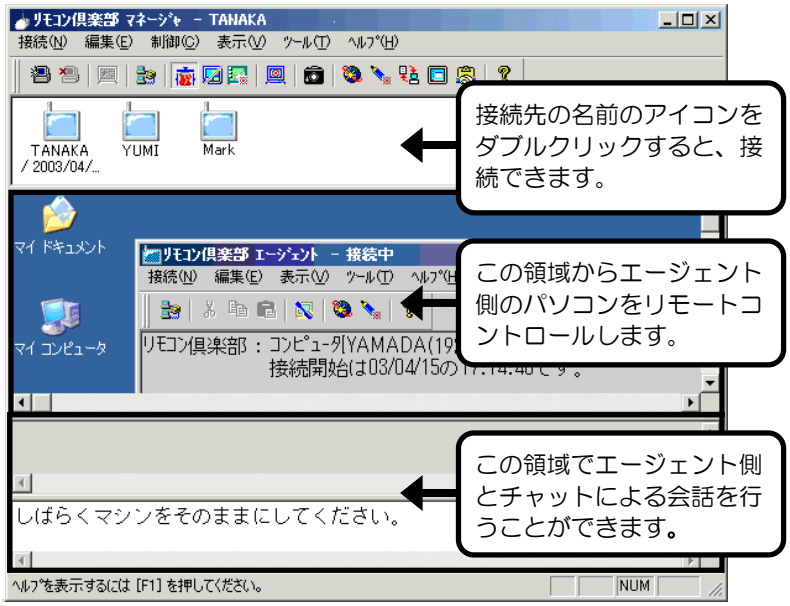
トラブルシューティング …… 168
マネージャのコマンド一覧 …… 200
エージェントのコマンド一覧 …… 204
メッセージ一覧 …… 206

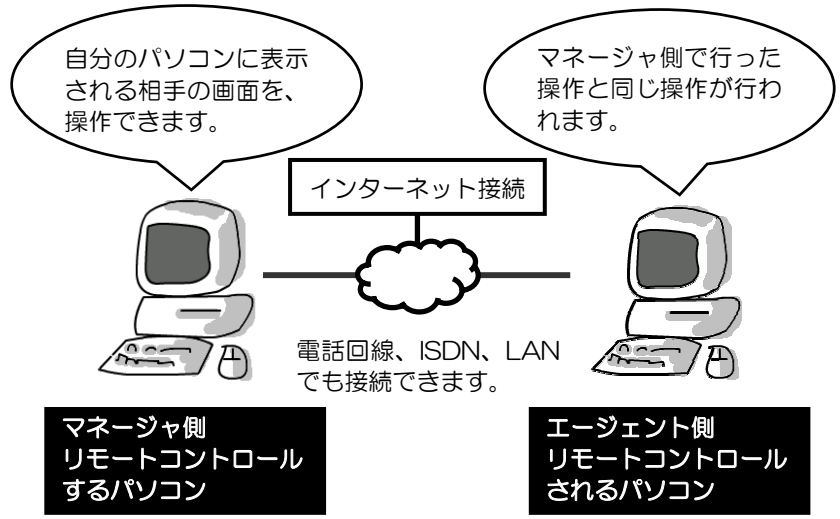
リモコン倶楽部

第１章　製品概要

主な特徴

リモコン倶楽部は、次のような特徴を持ちます。





● インターネットユーザーなら簡単に使用

リモコン倶楽部は、インターネットに接続されていれば、誰にでもすぐに使用できます。リモートコンピュータをコントロールする「リモコン倶楽部 マネージャ（以降 マネージャ）」と、リモートコンピュータで起動する「リモコン倶楽部 エージェント（以降 エージェント）」間ですぐに利用でき、相手のパソコンを自由に操作することができます。

Web コミュニケーションを使って、簡単に接続

リモコン倶楽部の Web コミュニケーションは、マネージャとエージェントの接続を手助けしてくれる便利なツールです。インターネットを利用できる環境ならば、Web コミュニケーションサーバーに接続して、ユーザーID を取得することにより、マネージャからエージェントに接続することができます。

接続したり、お友達の追加、追加したお友達の情報などを表示することができます。
また、接続したユーザーとチャットすることもできます。
リモコン倶楽部のホームページも簡単に表示できます。

クリックすると、弊社の最新のホームページを表示できます。
※IE3.0 以降が必要です。

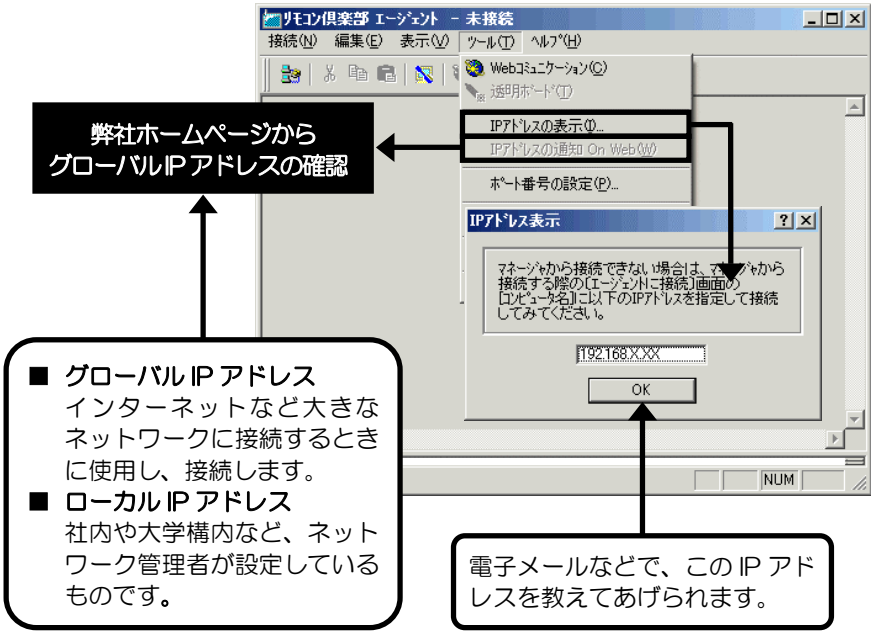
オンライン接続可能なお友達が、太字でリスト表示されます。
ここから、接続したいお友達をダブルクリックするだけで、マネージャを起動して接続することができます。

●IP アドレスでも簡単接続

リモコン倶楽部は、電話回線によるダイヤルアップ接続や、LAN などを使用して、接続先のパソコンのコンピュータ名や IP アドレスを指定することにより、相手先のパソコンに接続することもできます。

接続先の IP アドレスを容易に取得

リモコン倶楽部から、マネージャに接続してもらうための IP アドレスを確認できますので、パソコン初級者でも大丈夫です（この際の IP アドレスは、ローカル IP アドレスとなります）。
また、弊社のホームページからエージェント側のグローバル IP アドレスを取得して、マネージャ側に電子メールで通知することもできます。



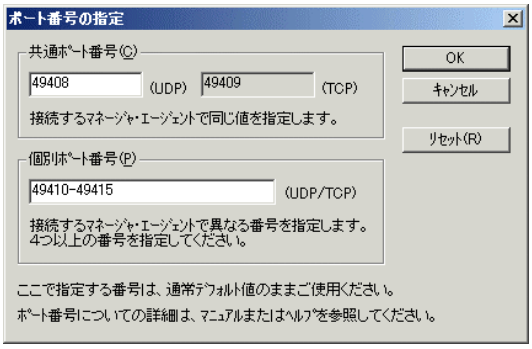
● 家庭内 LAN や企業内 LAN・WAN にも対応した簡単接続

家庭内 LAN や企業内の LAN・WAN など、接続先のエージェントのネットワークにルーターが設定されている場合でも、難しいルーターの設定（NAT、IP マスカレード、ポートフォワード設定）が必要なく、ルーターを越えて接続することができます。

● ポート番号の指定が可能

お使いの接続環境でリモコン倶楽部を利用する際に、リモコン倶楽部でモデムやダイアルアップルーターなどに必要なポート番号の設定が可能です。

セキュリティの問題等でポート番号を変更する必要がある場合に、リモコン倶楽部で使用するポート番号を変更することができます。



● アップデートモジュールを自動で更新可能

リモコン倶楽部の起動時に、自動で最新の状態に更新することができます。リモコン倶楽部の起動時に最新の状態に更新するかどうかは、任意に設定することができます。また、リモコン倶楽部の起動後でも、随時最新の状態に更新することが可能です。自動アップデートは、インストールされているリモコン倶楽部のすべてのファイルを対象に行われます。

● Ctrl+Alt+Del のキー送信

次の OS をご使用で、エージェントのスタイルが[透明エージェント]の場合は、Ctrl+Alt+Del のキー操作を送信することにより、Windows へのログオンすることができます。
また、Ctrl+Alt+Del のキー操作を送信することにより、パソコンのロックを解除し、リモートコントロールできる状態にすることができます。

- Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0 Operating System または Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0 Operating System（以降 Windows NT）
- Microsoft® Windows® 2000 Server Operating System または Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System（以降 Windows 2000）
- Microsoft® Windows® XP Professional または Microsoft® Windows® XP Home Edition（以降 Windows XP）

なお、次の OS をご使用で、エージェントのスタイルが[透明エージェント]の場合は、Ctrl+Alt+Del のキー操作を必要とせず、ログインすることができます。

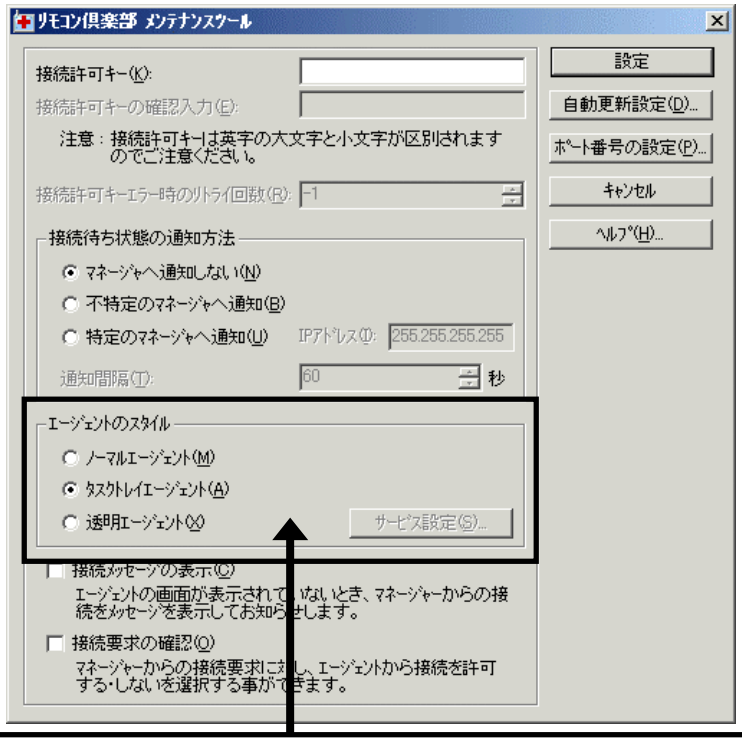
- Microsoft® Windows® 98 Operating System（以降 Windows 98）
- Microsoft® Windows® Me Operating System（以降 Windows Me）

注 意

マネージャとエージェントの接続中に、マネージャ側のキーボードから Ctrl ＋ Alt ＋ Del キーを押すと、エージェント側のキーボード操作やマウスでの操作ができなくなる場合があります。
この場合、エージェント側のキーボードから Ctrl ＋ Alt キーを押すか、マネージャ側から操作でエージェント側のコンピュータの Ctrl ＋ Alt キーを押すと、解除することができます。

● スタイル設定機能

エージェント起動時のスタイル（表示方法）を選択できる機能です。
「リモートコントロールの時に接続したエージェント画面を非表示にできないの？」、「アイコン化した状態でエージェントを起動できないの？」などの意見を取り入れ、エージェント起動時（接続時を含む）のスタイルを３種類のオプションで設定できるようになりました。



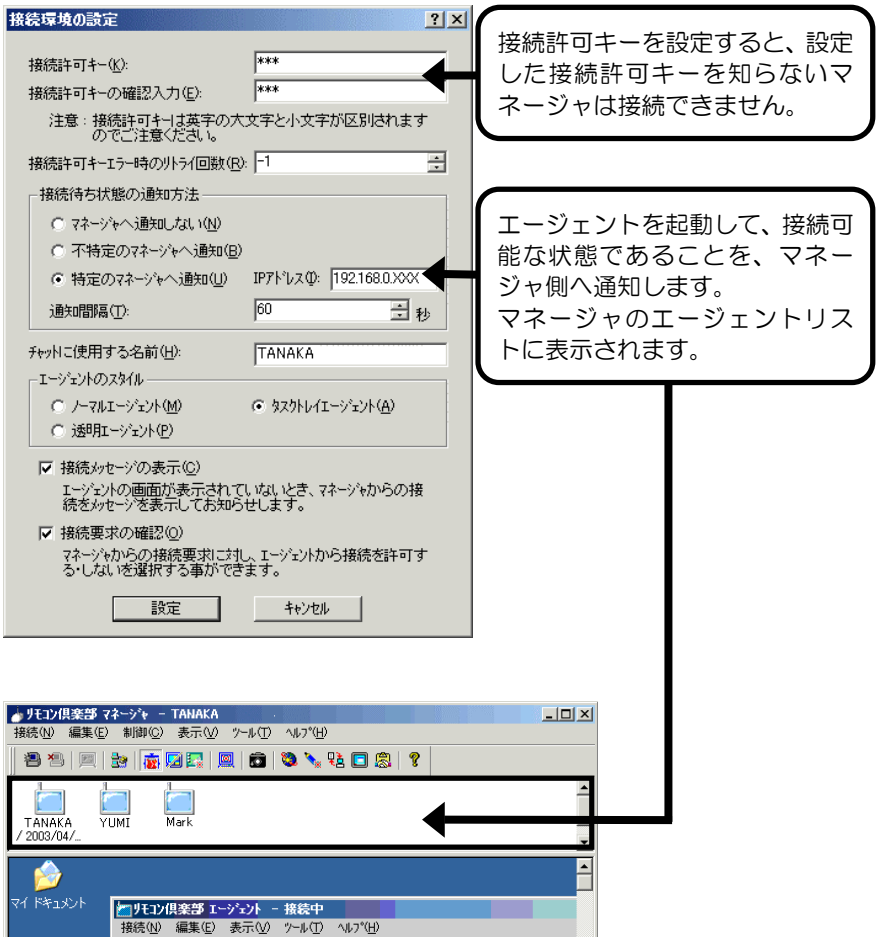
■ **ノーマルエージェント**
通常の画面が表示されるエージェントです。

■ **タスクトレイエージェント**
エージェントを起動すると、エージェントはアイコン化され、タスクトレイに収納されます。

■ **透明エージェント**
エージェントを起動してもウィンドウやタスクトレイには表示されません。エージェントを起動していることを相手に意識させずにリモートコントロールや閲覧ができます。パソコンの管理・閲覧を行いたい方には最適です。
また、このエージェントの場合のみ、ログオフを行ってもエージェントは動作を続け、リモートコントロールができます。

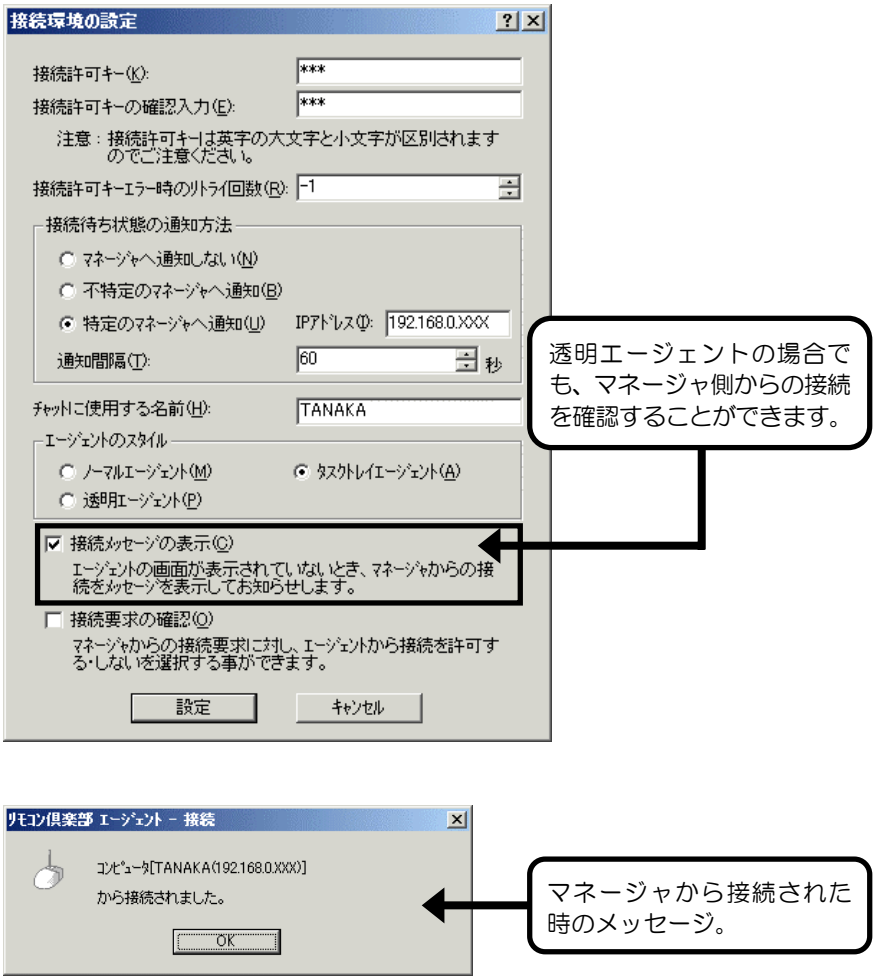
● リモートコンピュータ間のセキュリティ機能

エージェント側で接続環境を設定することにより、エージェント側のパソコンに接続できるマネージャを制限したり、マネージャ側への接続待ち状態の通知方法などを設定することができます。



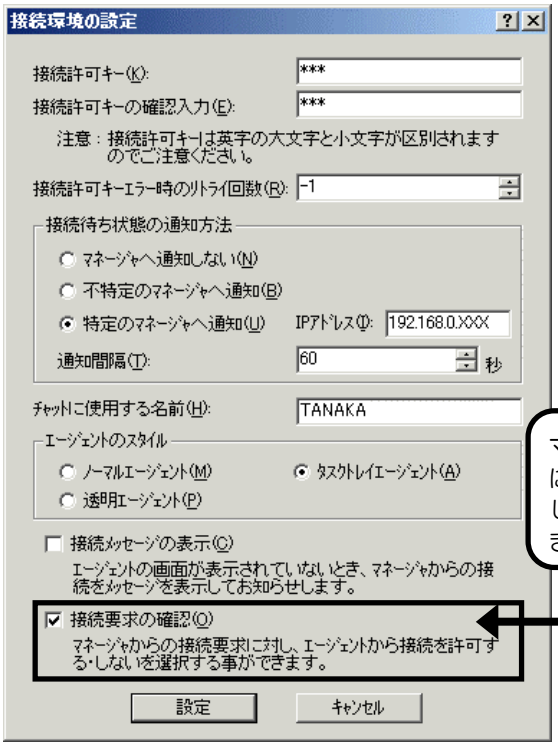
● 接続メッセージの表示機能

エージェントのスタイルが[タスクトレイエージェント]または、[透明エージェント]の場合、マネージャからの接続時に、エージェント側でメッセージを表示させることができます。

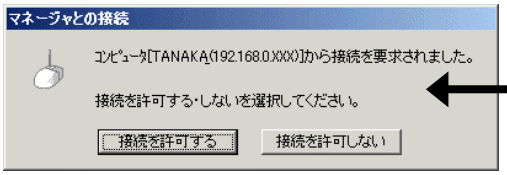


● 接続要求の確認機能

マネージャからの接続時に、エージェント側で接続要求のメッセージを表示することにより、エージェント側で接続を許可する・しないを選択することができます。



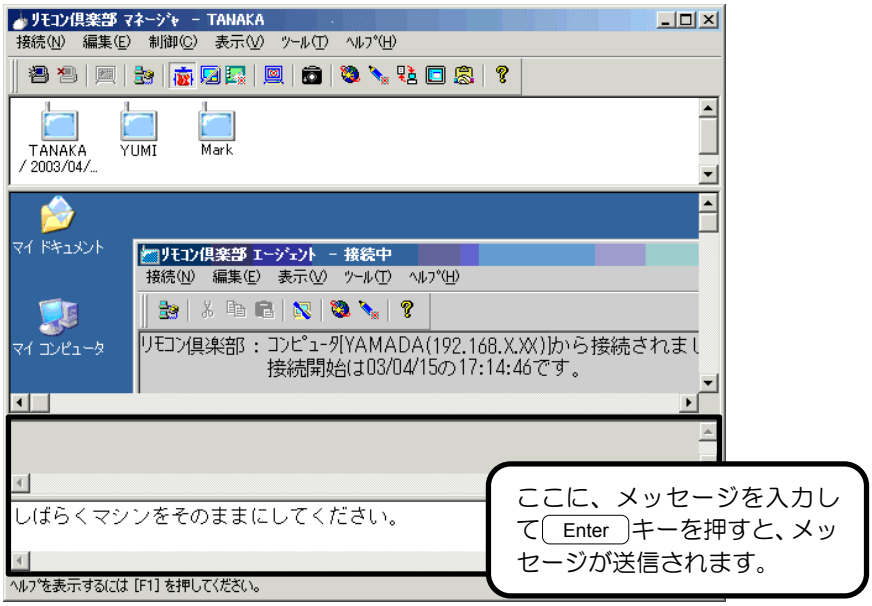
マネージャからの接続要求に対し、接続を許可する・しないを決定することができます。

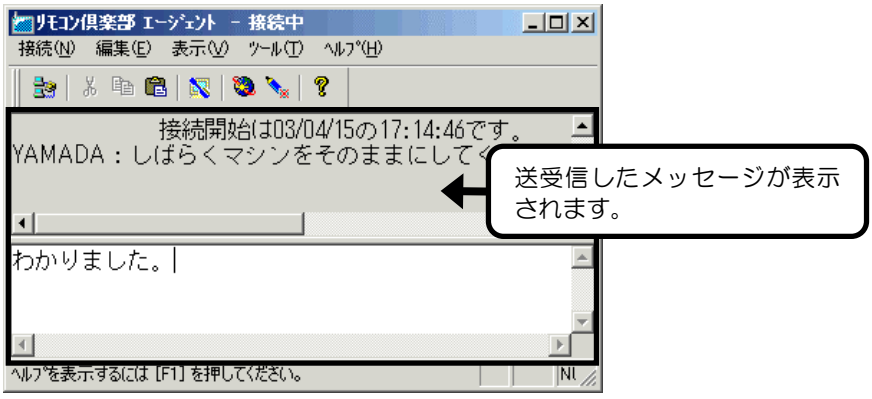


マネージャから接続要求があった時のメッセージ。

● チャット機能

リモコン倶楽部は、パソコンを通して充分なコミュニケーションが行えるように、チャット機能を備えています。画面上の操作とチャットによる会話で効率の良いコミュニケーションツールとして活用することができます。





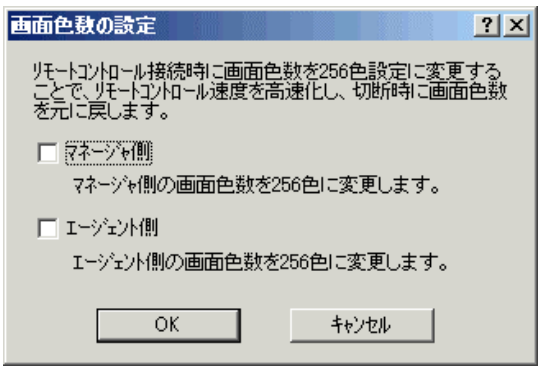
● マウスで自由にデスクトップに描画

透明ボード機能は、お互いにマウスで、エージェント側のデスクトップ上に自由に描画したり、文字を入力することができます。例えば、マネージャが操作を説明する際にチャットでは表現が難しい場合、相手の画面上にマーキングして教えてあげるような使い方ができます。

線や文字の色や太さは、お好みのものを選択して描画することができます。

● スピーディなリモート設定で操作も快適

リモコン倶楽部で行うリモートコントロールは、画質や画面イメージの転送スピードもコントロールすることができます。
リモートコントロール接続時に、マネージャ側およびエージェント側のパソコンの画面色数を 256 色に変更することで、リモートコントロール速度の高速化を可能にしています。
また、カラー設定の変更やサイズの拡大/縮小の設定により（白黒モードなど）、画面イメージの転送のスピードアップが図れ、使用環境に合わせたスムーズなリモート操作が行えます。

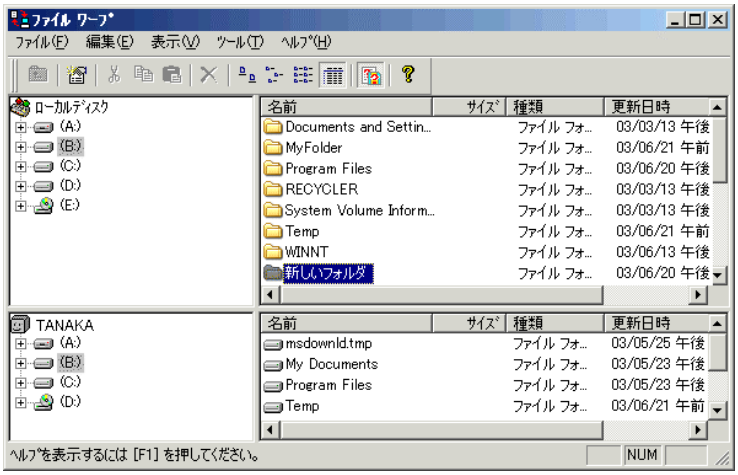


● クリップボード共有

マネージャとエージェントのクリップボード内の文字データを共有することができますので、文字の入力作業にとても便利です。

● 通信時間を節約したファイル転送も可能

リモコン倶楽部は、プログラムや文書ファイルなどを転送することができます。転送するファイルを圧縮することにより転送時間を短縮し、通信時間を節約することができます。



リモコン倶楽部

第２章　ご使用になる前に

動作環境の確認

リモコン倶楽部をご使用になる前に、動作環境を確認しましょう。
リモコン倶楽部は、次のような動作環境で使用することができます。

- 本体
  対応 OS が動作するパーソナルコンピュータ
- 対応 OS
  Microsoft® Windows® XP Professional Operating System
  Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System
  Microsoft® Windows® 2000 Server Operating System
  Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
  Microsoft® Windows® Me Operating System
  Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0 Operating System
  Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0 Operating System
  Microsoft® Windows® 98 Operating System
- 必要メモリ
  エージェント、マネージャそれぞれ対応 OS が動作するメモリ容量の他に 32MB 以上必要
- 接続方法
  LAN、ADSL、ケーブルテレビ、FTTH、公衆回線（アナログ、ISDN）
- 対応ブラウザ
  Microsoft® Internet Explorer Version 3.0 以降
- 通信プロトコル
  TCP/IP
- 推奨モデム
  56kbps 以上

※快適に使用するためには、速度がブロードバンド回線以上でのご利用をお勧めします

メモ

動作環境は、マネージャ/エージェント共通です。
OS が Windows NT/2000/XP の場合は、リモートアクセスサービスがセットアップされている必要があります。
Web コミュニケーションを利用する場合は対応ブラウザが必要です。マネージャとエージェントのみご利用の場合は、必要ありません。

注意

「リモコン倶楽部 Ver.5」以外のリモコン倶楽部が利用するパソコンにセットアップされていた場合、正常に動作しない恐れがあります。「リモコン倶楽部 Ver.5」以外のリモコン倶楽部をアンインストールしてから、セットアップすることをお勧めします。
なお、「リモコン倶楽部 Ver.5」は、マネージャ・エージェントともに、Ver.5 以外のリモコン倶楽部と接続することはできません。

参照

ADSL およびケーブルテレビによるリモコン倶楽部の利用の場合は、それぞれの環境でインターネット接続できる状態であることが必要です。
なお、お使いの接続環境によるインターネット接続の操作方法については、それらのマニュアルや文献を参照してください。

リモコン倶楽部

第 3 章 起動と終了

マネージャの起動と終了

マネージャの起動

マネージャを起動するには、次の手順に従って操作を行います。

操作①
タスクバーの<スタート>ボタンをクリックし、メニューから[プログラム]-[リモコン倶楽部 Ver.5]-[マネージャ]コマンドを選択します。
[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウが表示されます。

メモ

マネージャ起動時に、リモコン倶楽部を最新の状態に更新するかどうかのメッセージが表示されます。更新する場合は、インターネットに接続できる状態にして<OK>ボタンをクリックします。更新しない場合は、<キャンセル>ボタンをクリックします。
なお、マネージャ起動時に自動更新するかどうかは、任意に設定することができます。
また、マネージャの起動時に〔ワンポイント〕ダイアログボックスが表示されますが、次回起動時から表示しない場合は、〔ワンポイント〕ダイアログボックスの[起動時にワンポイントを表示]チェックボックスを OFF にします。

参照

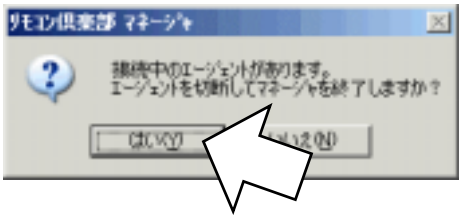
マネージャ起動時にリモコン倶楽部を最新の状態に更新するかどうかのメッセージを表示させる場合の設定方法は、『第 5 章 環境設定』の「アップデートモジュールの更新方法を設定する」を参照してください。

マネージャの終了

マネージャを終了するには、次の手順に従って操作を行います。

操作①
[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[接続]-[終了]コマンドを選択するか、画面右上の ✕ ボタンをクリックします。

操作②
エージェントとの接続中にマネージャを終了すると、次のようなメッセージが表示されます。
<はい>ボタンをクリックすると、エージェントとの接続が切断され、マネージャが終了されます。
<いいえ>ボタンをクリックすると、処理が中止されます。



エージェントの起動と終了

エージェントの起動

エージェントの起動方法、および、起動したエージェントのスタイル（表示方法）は、接続環境の設定で指定したエージェントのスタイルにより異なります。
エージェントを起動するには、次の手順に従って操作を行います。

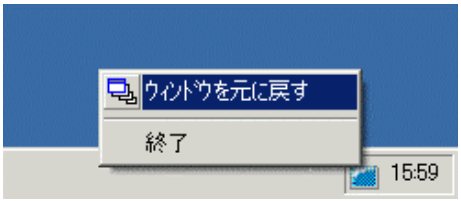
● エージェント起動時のスタイルが[ノーマルエージェント]の場合

操作①
タスクバーの<スタート>ボタンをクリックし、メニューから[プログラム]-[リモコン倶楽部 Ver.5]-[エージェント]コマンドを選択します。
[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウが表示されます。

● エージェント起動時のスタイルが[タスクトレイエージェント]の場合

操作①
タスクバーの<スタート>ボタンをクリックし、メニューから[プログラム]-[リモコン倶楽部 Ver.5]-[エージェント]コマンドを選択します。
タスクトレイにエージェントが収納されます。

タスクトレイエージェントの画面を表示したい場合は、タスクトレイのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから[ウィンドウを元に戻す]コマンドを選択すると、[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウが表示されます。



● エージェント起動時のスタイルが[透明エージェント]の場合

■ Windows 98/Me の場合

メンテナンスツールから「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスが登録されている場合は、Windows 98/Me を起動すると、エージェントが自動的に起動されます。

■ Windows NT/2000/XP の場合

メンテナンスツールから行った「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスのスタートアップの種類により、エージェントの起動方法が異なります。

❑ スタートアップの種類が[自動]の場合

Windows NT/2000/XP が起動された際、自動的に「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスが開始されます。
Windows NT/2000/XP 起動時から、マネージャと接続してご利用することができます。

❑ スタートアップの種類が[手動]の場合

Windows NT/2000/XP が起動された際、「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスは停止されています。
「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスを手動で開始することにより、「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスが開始されます。

❑ スタートアップの種類が[無効]の場合

「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスを開始できないように設定されています。
スタートアップの種類を自動または手動に設定するまで、マネージャと接続してご利用することはできません。

メモ

エージェント起動時に、リモコン倶楽部を最新の状態に更新するかどうかのメッセージが表示されます。更新する場合は、インターネットに接続できる状態にして<OK>ボタンをクリックします。更新しない場合は、<キャンセル>ボタンをクリックします。

なお、エージェント起動時に自動更新するかどうかは、任意に設定することができます。

エージェント起動時のスタイルが[透明エージェント]の場合は、エージェントが起動しても[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウは表示されません。

[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[接続]-[接続待機]コマンドを選択して、エージェントを起動することができます。この時マネージャが終了されますが、エージェントを終了すると、[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウに戻ることができます。なお、[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウからエージェントに接続していた場合は、このコマンドを選択することはできません。また、エージェントがインストールされていない場合も、コマンドを選択することはできません。

注意

エージェント起動時のスタイルが[透明エージェント]の場合は、[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[接続]-[接続待機]コマンドを選択することができません。

また、エージェント起動時のスタイルを[透明エージェント]以外に設定している場合、「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスは利用できません。

参照

エージェント起動時にリモコン倶楽部を最新の状態に更新するかどうかの設定方法は、『第 5 章 環境設定』の「アップデートモジュールの更新方法を設定する」を参照してください。

また、エージェント起動時のスタイルを設定する際の操作方法は、『第 6 章 リモートコントロール』の「エージェントのスタイルを設定する」を参照してください。

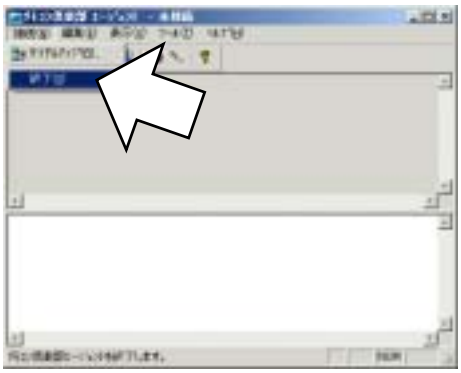
「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスの登録や開始方法、およびスタートアップの設定方法については、『第 5 章 環境設定』の「メンテナンスツールの操作」を参照してください。

エージェントの終了

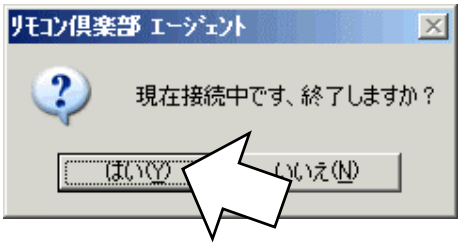
エージェントを終了するには、次の手順に従って操作を行います。

● エージェント起動時のスタイルが[ノーマルエージェント]の場合

操作①
[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウのメニューから[接続]-[終了]コマンドを選択するか、画面右上の ボタンをクリックします。

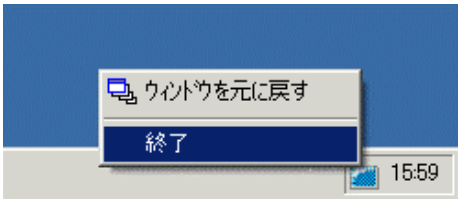


操作②
マネージャとの接続中にエージェントを終了すると、次のようなメッセージが表示されます。
<はい>ボタンをクリックすると、マネージャとの接続が切断され、エージェントが終了されます。
<いいえ>ボタンをクリックすると、処理が中止されます。

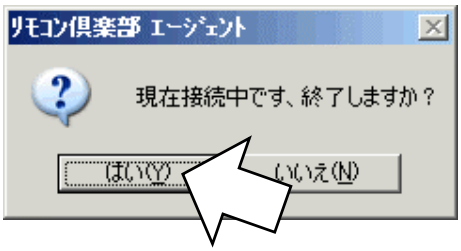


● エージェント起動時のスタイルが[タスクトレイエージェント]の場合、またはエージェントを最小化にしていた場合

操作①
タスクトレイのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから[終了]コマンドを選択します。



操作②
マネージャとの接続中にエージェントを終了すると、次のようなメッセージが表示されます。
<はい>ボタンをクリックすると、マネージャとの接続が切断され、エージェントが終了されます。
<いいえ>ボタンをクリックすると、処理が中止されます。



● エージェント起動時のスタイルが[透明エージェント]の場合

操作①
〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスの<サービス設定>ボタンをクリックすると表示される〔サービス設定〕ダイアログボックスから、「リモコン倶楽部エージェント」のサービスを停止します。

操作②
リモコン倶楽部エージェントのサービスが実行されている場合、次のようなメッセージが表示されます。
<はい>ボタンをクリックすると、エージェントのサービスが終了されます。
<いいえ>ボタンをクリックするとエージェントのサービスは終了されません。

参照

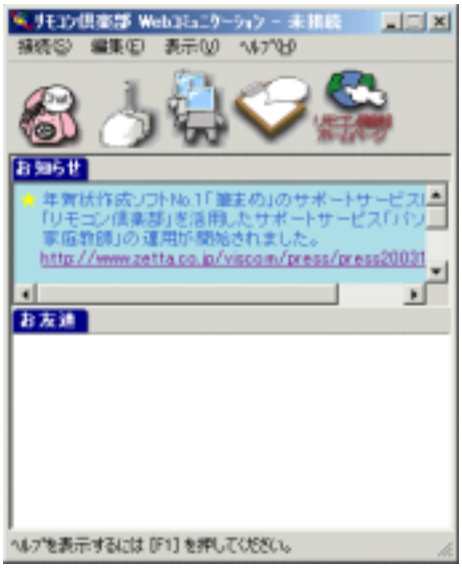
エージェント起動時のスタイルを設定する際の操作方法は、『第6章 リモートコントロール』の「エージェントのスタイルを設定する」を参照してください。
〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスの操作方法およびサービスを停止する際の操作方法については、『第 5 章 環境設定』の「メンテナンスツールの操作」を参照してください。

Web コミュニケーションの起動と終了

Web コミュニケーションの起動

Web コミュニケーションを起動するには、次の手順に従って操作を行います。

操作①
タスクバーの<スタート>ボタンをクリックし、メニューから[プログラム]-[リモコン倶楽部 Ver.5]-[Web コミュニケーション]コマンドを選択します。



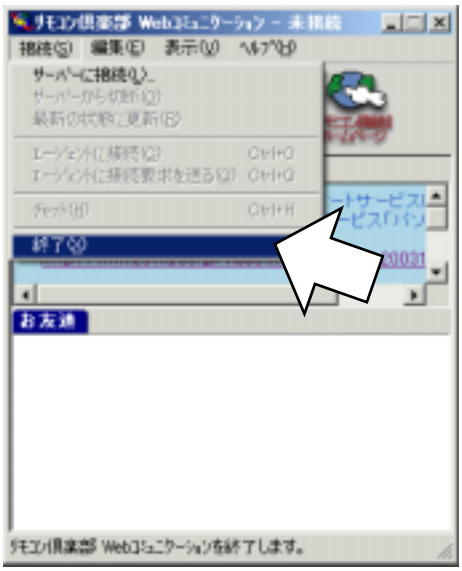
メモ

[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウや[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウから起動することもできます。メニューから[ツール]-[Web コミュニケーション]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。
Microsoft® Internet Explorer (Version 3.0 以降) の接続環境の設定によっては、Web コミュニケーションを起動すると、〔ダイヤルアップ接続〕ダイアログボックスが表示されることがあります。
〔ダイヤルアップ接続〕ダイアログボックスの操作方法の詳細については、Windows のヘルプを参照してください。

Web コミュニケーションの終了

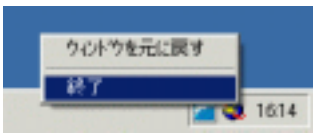
Web コミュニケーションを終了するには、次の手順に従って操作を行います。

操作①
[リモコン倶楽部 Web コミュニケーション]ウィンドウのメニューから[接続]-[終了]コマンドを選択するか、画面右上の ✕ ボタンをクリックします。



メモ

Web コミュニケーションを最小化にしていた場合、タスクトレイに Web コミュニケーションが収納されます。タスクトレイのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから[終了]コマンドを選択して Web コミュニケーションを終了することができます。



メンテナンスツールの起動と終了

メンテナンスツールの起動

メンテナンスツールを起動するには、次の手順に従って操作を行います。

操作①
タスクバーの<スタート>ボタンをクリックし、メニューから[プログラム]-[リモコン倶楽部 Ver.5]-[メンテナンスツール]コマンドを選択します。

メンテナンスツールの終了

メンテナンスツールを終了するには、次の手順に従って操作を行います。

操作①
〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスの<設定>ボタンをクリックします。

操作②
接続許可キーを変更した場合は、〔旧接続許可キーの確認〕ダイアログボックスが表示されますので、変更前の接続許可キーを入力し、<OK>ボタンをクリックします。
過去に設定したことがない場合は、空白のまま<OK>ボタンをクリックします。

注 意　〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスの<キャンセル>ボタンおよび画面右上の ✕ ボタンをクリックすると、設定した内容が保存されずにメンテナンスツールが終了されますので、設定した内容を保存する場合は、<設定>ボタンをクリックしてください。

参 照　接続許可キーを指定する際の操作方法は、『第 6 章 リモートコントロール』の「接続許可キーを設定する」を参照してください。

操作③
設定を変更した場合は、次のようなメッセージが表示されますので、<OK>ボタンをクリックします。
メンテナンスツールが終了されます。

「リモコン倶楽部 エージェント」サービスの設定を行わなかった場合は、次のようなメッセージが表示されますので、<はい>ボタンをクリックし、サービスの設定を行います。

☞ 参照 「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスを設定する際の操作方法は、『第 5 章 環境設定』の「メンテナンスツールの操作」を参照してください。

リモコン倶楽部

第４章　接続と切断

マネージャからエージェントに接続

接続方法の確認

エージェントに接続するには、次のような４つの接続方法があります。環境にあわせた接続方法でエージェントに接続してください。

1 インターネット経由で接続する

リモコン倶楽部の Web コミュニケーションは、マネージャとエージェントの接続を手助けしてくれる便利なツールです。Web コミュニケーションを使用すると、Web コミュニケーションサーバー（弊社の専用サーバー）上で IP アドレスの中継が行われます。

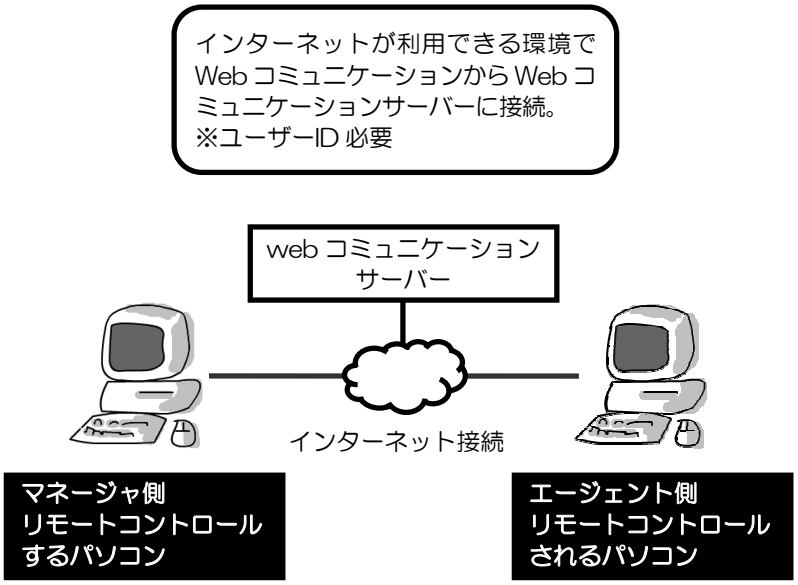
Web コミュニケーションサーバーに接続しているユーザー名が太字でリスト表示され、ここから接続したいお友達をダブルクリックするだけで、マネージャを起動して接続することができます。

IP アドレスの中継

インターネットをご利用の場合、世界中で IP アドレスの重複がないようにグローバル IP アドレスが割り当てられます。これはユーザーがほとんど意識する必要がないので、インターネットを利用している時の IP アドレスを確認できません（プロバイダ経由で TCP/IP の設定で固有の IP アドレスを設定していても、グローバル IP アドレスが割り当てられます）。

Web コミュニケーションをご使用になると、このようなことを考慮せず、簡単にエージェントに接続できます。

この操作によるインターネットでの接続は、次で説明する「IP アドレスを指定して接続する」や「電話回線を使用して直接接続する」方法よりも、リモコン倶楽部を簡単に利用することができます。



あなたはどの接続方法？

この接続方法をご利用になれるのは、次のタイプの方です。

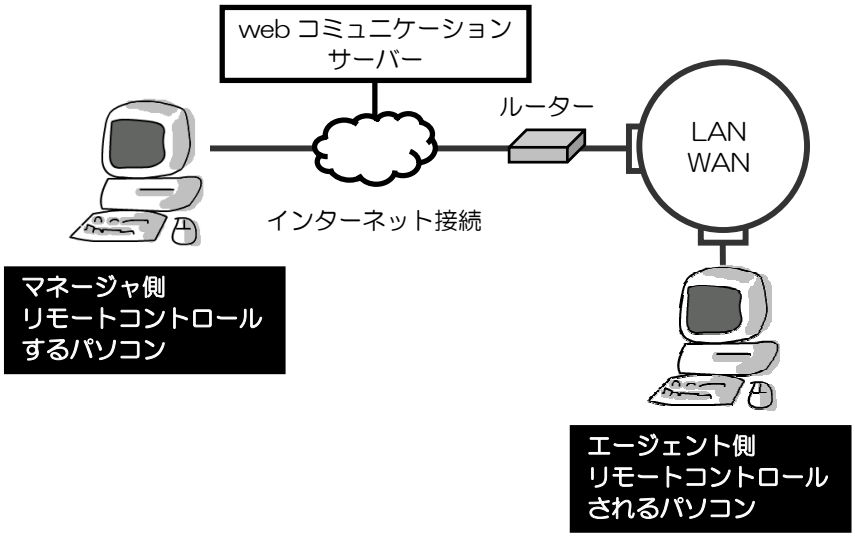
- ダイヤルアップによるプロバイダ経由でのインターネット接続
- ブロードバンド（ケーブルテレビ、ADSL など）によるインターネット接続
- LAN などのネットワーク環境でのインターネット接続

注 意

Web コミュニケーションは、あくまでも接続を支援するツールですので、リモートコントロールするパソコンにはマネージャ、リモートコントロールされるパソコンにはエージェントが必要です。

2 インターネット経由で家庭内 LAN や企業内 LAN・WAN のエージェントに接続する

インターネット経由で家庭内のLANや企業のLANやWANに接続する場合にも対応しています。エージェント側からの接続を行うことにより、ルーターを越える場合の難しいルーターの設定も不要で簡単に接続することができます。



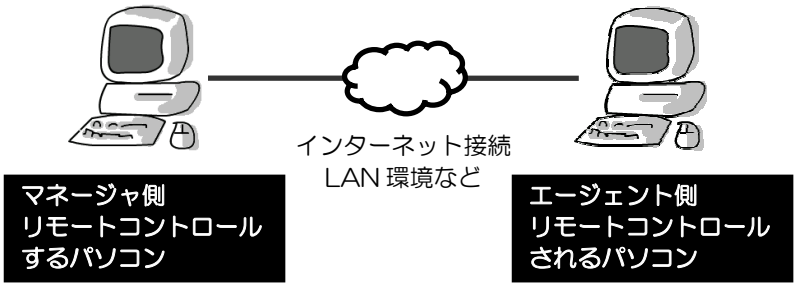
あなたはどの接続方法？

この接続方法をご利用になれるのは、次のタイプの方です。

- マネージャ側の接続がダイヤルアップによるプロバイダ経由でのインターネット接続で、エージェント側が LAN や WAN などルーターを越えてのインターネット接続
- マネージャ側の接続がブロードバンド（ケーブルテレビ、ADSL など）によるインターネット接続で、エージェント側が LAN や WAN などルーターを越えてのインターネット接続

3 IP アドレスを指定して接続する

接続先のコンピュータ名や IP アドレスを指定して接続します。



あなたはどの接続方法？

この接続方法をご利用になれるのは、次のタイプの方です。

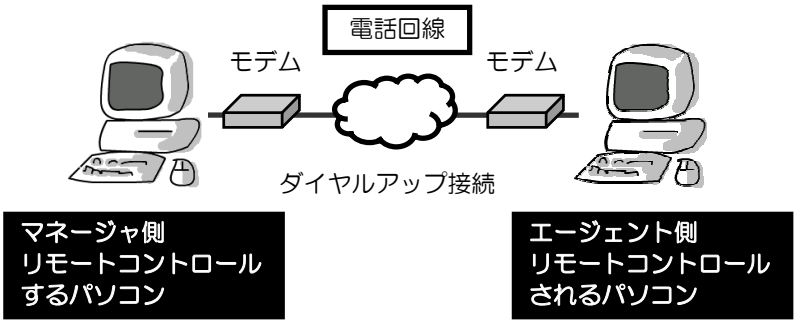
- ダイヤルアップによるプロバイダ経由でのインターネット接続
- ブロードバンド（ケーブルテレビ、ADSL など）による インターネット接続
- LAN などのネットワーク環境

注 意　IP アドレスを指定して接続する場合は、エージェント側のパソコンの IP アドレスを知っている必要があります。

参 照　エージェントの IP アドレスを確認する際の操作方法は、後述の「IP アドレスを確認するには」を参照してください。
TCP/IP および IP アドレスについての詳細や設定方法は、それらを記載している文献やマニュアルを参照してください。

4 電話回線を使用して直接接続する

相手側のパソコンに、モデムと電話回線を経由してダイヤルアップ接続する場合、接続先のコンピュータ名やIPアドレスを指定して接続します。



あなたはどの接続方法？

この接続方法をご利用になれるのは、次のタイプの方です。

・インターネットを利用せず、ダイヤルアップ接続で相手のパソコンに直接接続

注意

電話回線を使用して直接接続する場合は、ダイヤルアップサーバー(Windows98/ Me)、およびリモートアクセス(Windows NT/2000/XP)の設定で使用するネットワークプロトコルに「TCP/IP」が選択されていることが必要です。

Web コミュニケーションの準備

インターネット経由で接続する際、初回のみ、Web コミュニケーションの準備を行う必要があります。
Web コミュニケーションの初回起動時には、マネージャ側・エージェント側共に、ユーザーID を取得してください。
また、マネージャ側での Web コミュニケーションの初回起動時には、接続するエージェントを Web コミュニケーションに追加する必要があります。

Step1 ユーザーID を取得する P.40

※初回のみ、この操作を行ってください。

マネージャ側・エージェント側共に Web コミュニケーションから、Web コミュニケーションサーバーに接続してユーザーID を取得します。

Step2 Web コミュニケーションサーバーにログインする P.42

マネージャ側・エージェント側共に Web コミュニケーションサーバーにログインします。

Step3 接続するエージェントを追加する P.44

※初回またはエージェントを追加する場合に、この操作を行ってください。

マネージャ側で、Web コミュニケーションに接続するエージェントのユーザーID を追加します。

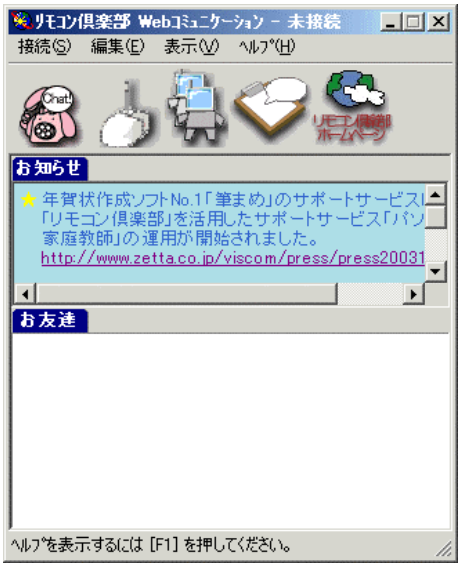
メモ

ユーザーID を取得し、接続するエージェントを追加した後は、すぐにインターネット経由で接続することが可能となります。
接続するエージェントの追加は、必要があった場合、いつでも追加することが可能です。

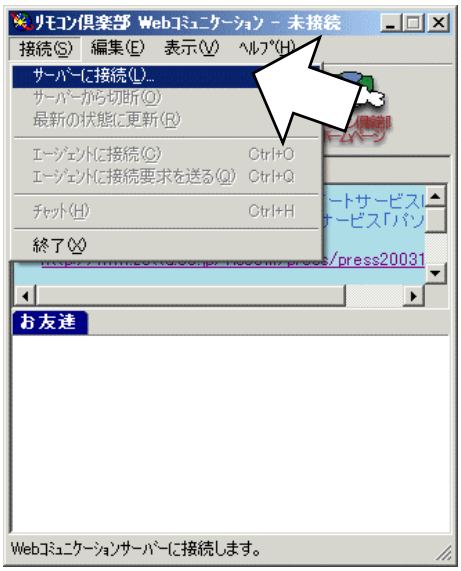
Step1 ユーザーIDを取得する

マネージャ側・エージェント側共にユーザーIDを取得します。

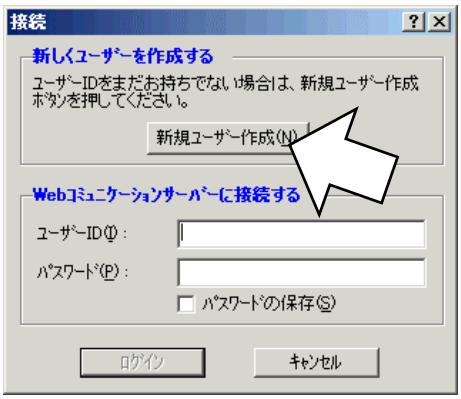
操作①
タスクバーの<スタート>ボタンをクリックし、メニューから[プログラム]-[リモコン倶楽部 Ver.5]-[Webコミュニケーション]コマンドを選択します。



操作②
[リモコン倶楽部 Webコミュニケーション]ウィンドウのメニューから[接続]-[サーバーに接続]コマンドを選択します。



操作③
〔接続〕ダイアログボックスの<新規ユーザー作成>ボタンをクリックします。



操作④
表示された Web ページの指示に従って操作を行い、ユーザーID を取得してください。
ユーザーID と登録したパスワードが接続の際に必要になります。大切な内容ですので、メモまたは印刷するなどして、忘れないようにしてください。

メモ
ユーザーID の取得の操作は、初回のみ行ってください。
Web コミュニケーションを利用するには、マネージャとエージェントの双方でそれぞれユーザーID が必要です。
Microsoft® Internet Explorer(Version 3.0 以降)の接続環境の設定によっては、Web コミュニケーションを起動すると、〔ダイヤルアップ接続〕ダイアログボックスが表示されることがあります。
ユーザーID は、英字の大文字小文字が区別されますので、正確に憶えてください。
取得したユーザーID は、[リモコン倶楽部 Web コミュニケーション]ウィンドウのメニューから[ヘルプ]-[お友達にメールを送る]コマンドを選択すると表示される Web コミュニケーションサーバーの Web ページから、メールにユーザーID を添付して送信することで、接続に必要なユーザーへ通知することができます。

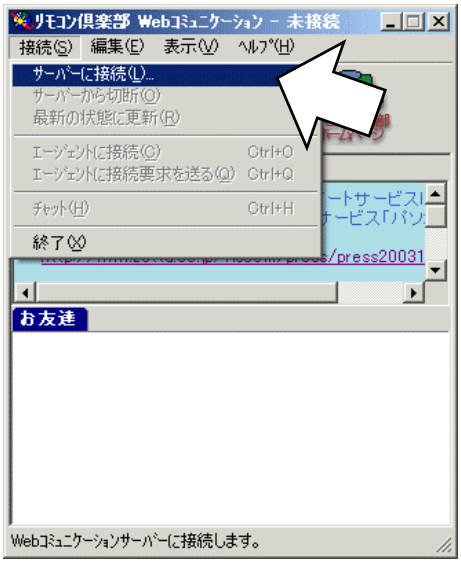
注意
取得したユーザーID およびパスワードを紛失した場合は、新規にユーザーID を取得してください。セキュリティ上、メールや電話によるユーザーID およびパスワードのお問い合わせにはお答えできませんので、ご注意ください。

参照
〔ダイヤルアップ接続〕ダイアログボックスの操作方法の詳細については、Windows のヘルプを参照してください。

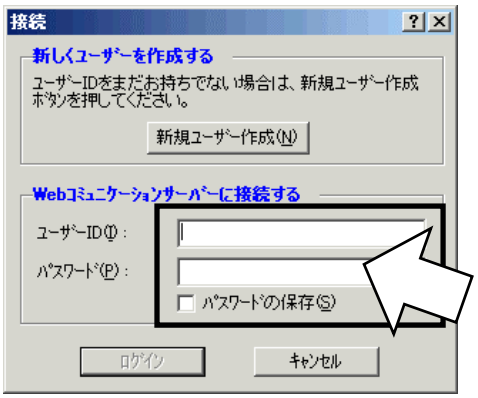
Step2 Web コミュニケーションサーバーにログインする

マネージャ側・エージェント側共に、Web コミュニケーション機能を利用するために、Web コミュニケーションサーバーにログインして接続します。

操作①
[リモコン倶楽部 Web コミュニケーション]ウィンドウのメニューから[接続]-[サーバーに接続]コマンドを選択します。

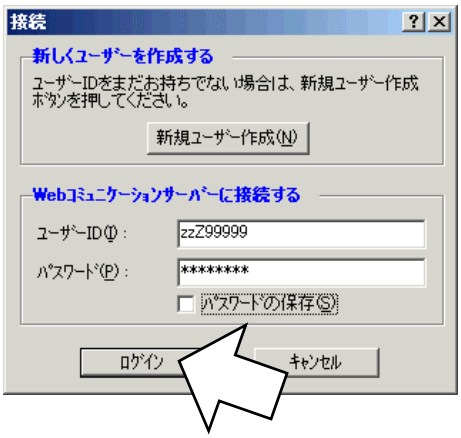


操作②
〔接続〕ダイアログボックスに取得したユーザーID とパスワードを入力します。
また、[パスワードの保存]チェックボックスをONにすると、次回Web コミュニケーション起動時に、ここで設定した内容で自動的にログインされます。



注意 ユーザーID は、Ver.5 で取得したものがご利用できます。その他のバージョンで取得したユーザーID は、ご利用できません。

操作③
〈ログイン〉ボタンをクリックします。

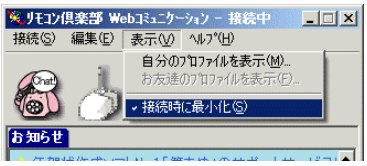


メモ

Webコミュニケーションサーバーにログインする際、〔接続〕ダイアログボックスの[パスワードの保存]チェックボックスをONにすると場合、次回Webコミュニケーションを起動した際に、前回の内容で自動的にログインすることができます。

[リモコン倶楽部Webコミュニケーション]ウィンドウを最小化すると、タスクトレイに収納されます。 アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから[ウィンドウを元に戻す]コマンドを選択すると[リモコン倶楽部 Web コミュニケーション]ウィンドウを表示することができます。

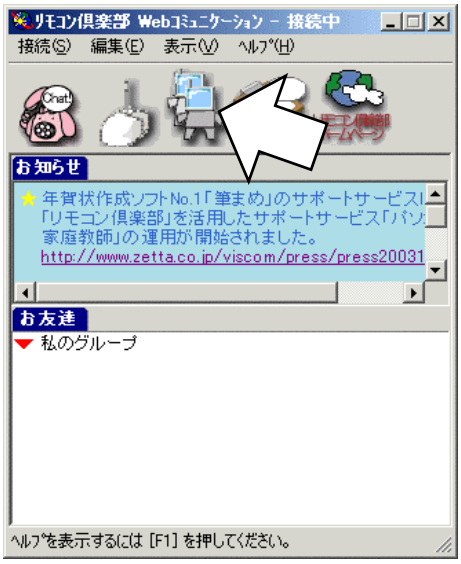
また、次のように設定していた場合、エージェントに接続すると、自動的にタスクトレイに収納されます。



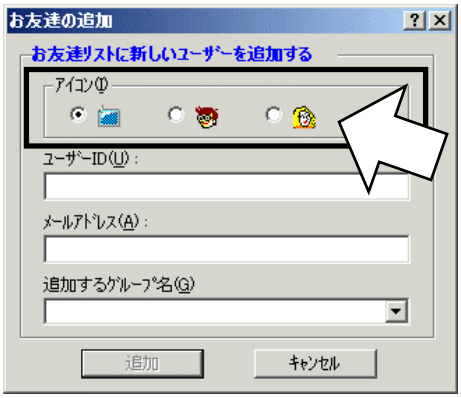
Step3 接続するエージェントを追加する

接続するエージェントを Web コミュニケーションに追加します。

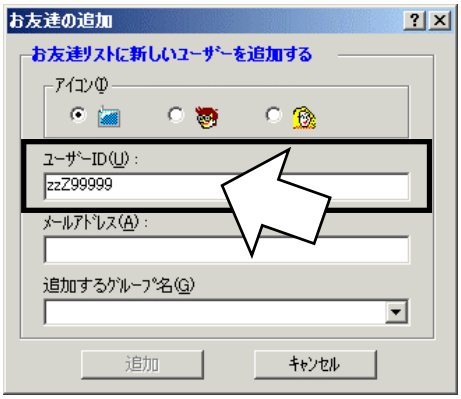
操作①
[リモコン倶楽部 Webコミュニケーション]ウィンドウのツールバーの ボタンをクリックするか、メニューから[編集]-[お友達の追加]コマンドを選択します。



操作②
お友達リストに表示されるアイコンは、お好みのアイコンを指定できます。
〔お友達の追加〕ダイアログボックスのいずれかのオプションボタンをクリックします。



操作③
〔お友達の追加〕ダイアログボックスの[ユーザーID]テキストボックスに、接続するお友達のユーザーID を入力します。



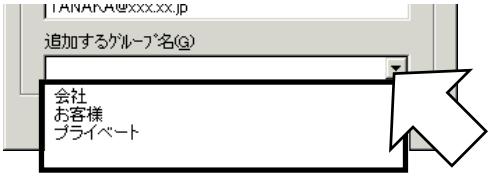
操作④
〔お友達の追加〕ダイアログボックスの[メールアドレス]テキストボックスに、接続するお友達のメールアドレスを入力します。

操作⑤
新規にグループ名を追加する場合は、〔お友達の追加〕ダイアログボックスの[追加するグループ名]コンボボックスにグループ名を直接入力します。

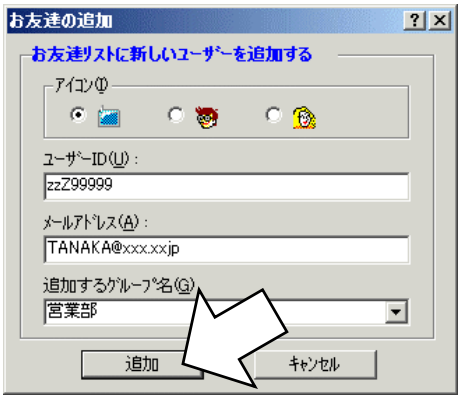
注 意

追加するお友達がユーザーID を取得する際に登録したメールアドレス以外のメールアドレスを設定した場合は、お友達を追加できませんので注意してください。ユーザーID は Ver.5 で取得したものがご利用できます。その他のバージョンで取得したユーザーID はご利用できません。

既にあるグループ名を指定する場合は、〔お友達の追加〕ダイアログボックスの[追加するグループ名]コンボボックスの ▼ ボタンをクリックすると表示されるドロップダウンリストから選択します。



操作⑥
〔お友達の追加〕ダイアログボックスの<追加>ボタンをクリックします。



操作⑦
[リモコン倶楽部 Webコミュニケーション]ウィンドウのお友達リストに、追加したエージェントの名前が表示されます。
接続可能なお友達は、太字で表示されます。

1 インターネット経由で接続する

Webコミュニケーションを利用してマネージャからエージェントに接続

Step1 Web コミュニケーションを起動する P.50

マネージャ側・エージェント側共にWeb コミュニケーションを起動します。

Step2 Web コミュニケーションサーバーにログインする P.51

マネージャ側・エージェント側共にWeb コミュニケーションサーバーにログインします。

Step3 エージェントに接続する P.53

マネージャ側の Web コミュニケーションから、エージェントに接続します。

● 接続する前に確認してください…

接続できない場合は、次のようなことが考えられます。

事前に確認しておきましょう。

インターネットを利用できる環境ですか？

ダイヤルアップによるプロバイダ経由でのインターネット利用の場合や、LAN などのネットワーク環境でのインターネット利用の場合も、あらかじめインターネットを利用できる環境にしてください。

マネージャとエージェントのバージョンは５ですか？

「リモコン倶楽部 Ver.5」は、マネージャ・エージェントともに、Ver.5 以外のリモコン倶楽部と接続することはできません。

接続先のパソコンのエージェントは起動されてますか？

マネージャとエージェントの両方から Web コミュニケーションサーバーに接続してユーザーID を取得し、Web コミュニケーションにログインしている必要があります（エージェントも Web コミュニケーションサーバーに接続する操作を行ってください）。
さらに、接続先のパソコンではエージェントが起動されている必要があります。

ポート番号は変更されていませんか？

リモコン倶楽部で使用するポート番号は、接続するマネージャとエージェントで同期を取る必要があります。
ポート番号は、必ずマネージャとエージェントで同じ値を設定してください。

エージェント側で接続許可キーが設定されていませんか？

エージェント側の接続環境の設定で、接続許可キーが設定されていた場合、その接続許可キーを知らないマネージャは接続できません。

Microsoft® Internet Explorer はセットアップされていますか？

Web コミュニケーションは、Microsoft® Internet Explorer Version 3.0 以降が正しくセットアップされていないと動作しません。

最新のプログラムを使用していますか？

何らかのプログラム上の問題により接続ができないことが考えられますので、マネージャ、エージェントプログラムは最新のバージョンでご利用ください。

ファイアーウォールソフトは導入されていますか？

ファイアーウォールソフトでリモコン倶楽部が使用するポート番号がブロックされている場合にも接続することができません。ファイアーウォールソフトでポート番号を通過できるような設定をお願いします。

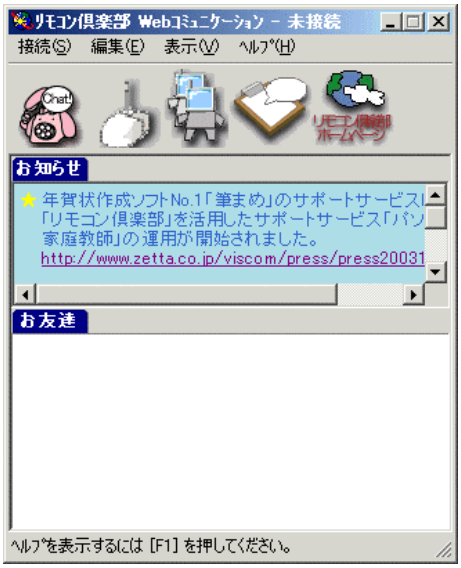
他のソフトでポート番号を使用していませんか？

同じポート番号を使用するソフトがインストールまたは使用していると、リモコン倶楽部が正常に動作しません。いずれかのソフトで使用するポート番号を変更し、再度お試しください。

Step1 Web コミュニケーションを起動する

マネージャ側・エージェント側共に Web コミュニケーションを起動します。

操作①
タスクバーの<スタート>ボタンをクリックし、メニューから[プログラム]-[リモコン倶楽部 Ver.5]-[Web コミュニケーション]コマンドを選択します。



メモ

[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウや[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウから起動することもできます。メニューから[ツール]-[Web コミュニケーション]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。
Microsoft® Internet Explorer (Version 3.0 以降)の接続環境の設定によっては、Web コミュニケーションを起動すると、〔ダイヤルアップ接続〕ダイアログボックスが表示されることがあります。

参照

〔ダイヤルアップ接続〕ダイアログボックスの操作方法の詳細については、Windows のヘルプを参照してください。

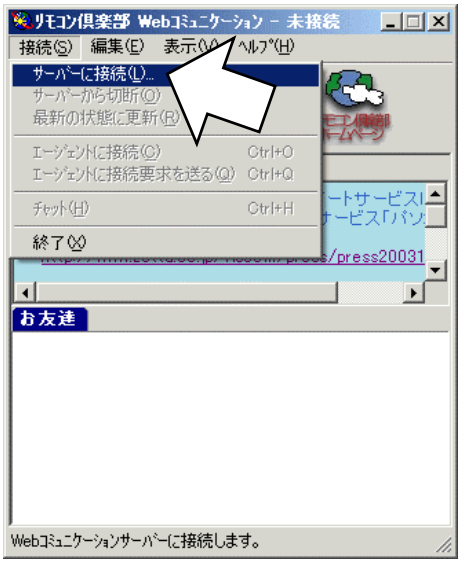
注意

「リモコン倶楽部 Web コミュニケーション Ver.5」は、マネージャ側・エージェント側ともに、Ver.5 以外の Web コミュニケーションと接続することはできません。

Step2 Web コミュニケーションサーバーにログインする

マネージャ側・エージェント側共に、Web コミュニケーション機能を利用するために、Web コミュニケーションサーバーにログインして接続します。

操作①
[リモコン倶楽部 Webコミュニケーション]ウィンドウのメニューから[接続]-[サーバーに接続]コマンドを選択します。



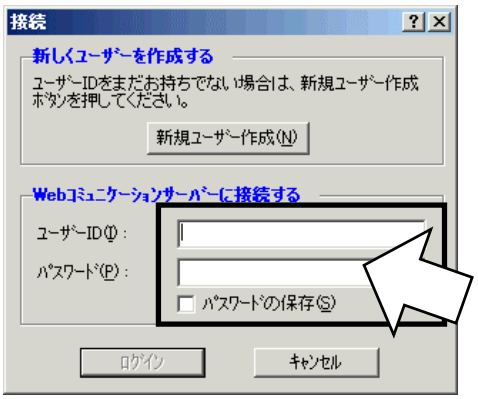
注 意

マネージャ側・エージェント側共に、あらかじめユーザーID を取得する必要があります。
ユーザーID は Ver.5 で取得したものがご利用できます。その他のバージョンで取得したユーザーID はご利用できません。

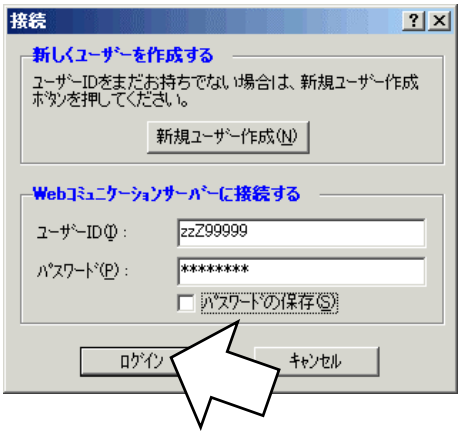
参 照

Web コミュニケーションのユーザーID を取得する際の操作方法は、前述の「Web コミュニケーションの準備」を参照してください。

操作②
〔接続〕ダイアログボックスにユーザーIDとパスワードを入力します。また、[パスワードの保存]チェックボックスをONにすると、次回Webコミュニケーション起動時に、ここで設定した内容で自動的にログインされます。



操作③
〈ログイン〉ボタンをクリックします。

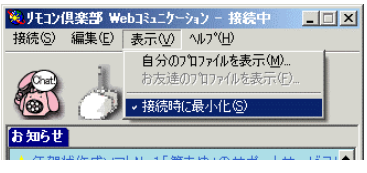


メモ

Web コミュニケーションサーバーにログインする際、前回ログイン時に〔接続〕ダイアログボックスの[パスワードの保存]チェックボックスを ON にしていた場合、Web コミュニケーションを起動すると、前回の内容で自動的にログインします。ただし、別のユーザーIDでWebコミュニケーションサーバーに接続する場合は、一度 Web コミュニケーションサーバーから切断し、〔接続〕ダイアログボックスを表示して、ユーザーIDとパスワードを再入力してください。

[リモコン倶楽部 Web コミュニケーション]ウィンドウを最小化すると、タスクトレイに収納されます。 アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから[ウィンドウを元に戻す]コマンドを選択すると[リモコン倶楽部 Web コミュニケーション]ウィンドウを表示することができます。

また、次のように設定していた場合、エージェントに接続すると、自動的にタスクトレイに収納されます。



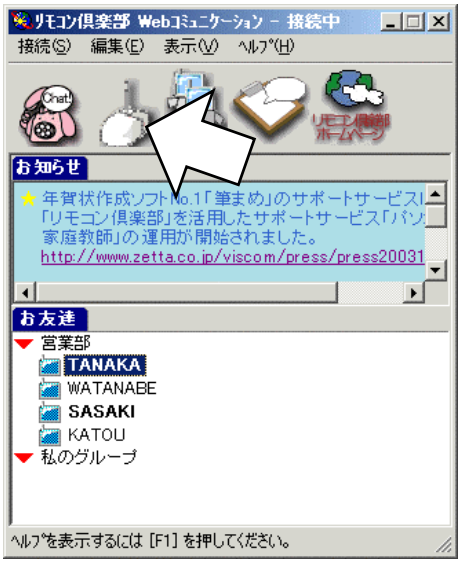
Step3 エージェントに接続する

マネージャ側の Web コミュニケーションから、エージェントに接続します。

操作①
[リモコン倶楽部 Webコミュニケーション]ウィンドウのお友達リストから、接続するお友達の名前を選択します。
接続可能なお友達は、太字で表示されます。

※ ただし、接続するには、接続側のパソコンでエージェントを起動している必要があります。

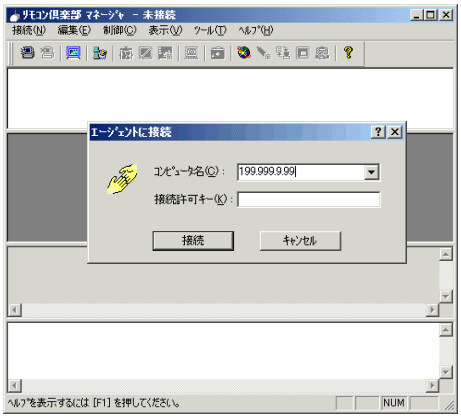
操作②
[リモコン倶楽部 Webコミュニケーション]ウィンドウのツールバーの ボタンをクリックするか、メニューから[接続]-[エージェントに接続]コマンドを選択します。
太字で表示されているお友達の名前をダブルクリックしても接続できます。



注意 マネージャ側では、あらかじめ接続するエージェントを Web コミュニケーションに追加する必要があります。

参照 接続するエージェントを Web コミュニケーションに追加する際の操作方法は、前述の「Web コミュニケーションの準備」を参照してください。

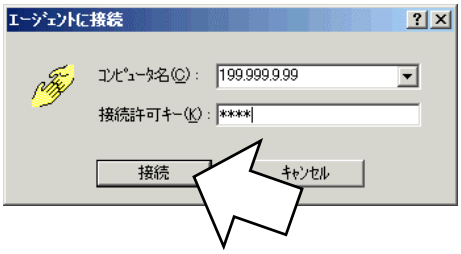
[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウが表示されます。



操作③
〔エージェントに接続〕ダイアログボックスの[コンピュータ名]コンボボックスに接続するコンピュータのIPアドレスが表示されています。

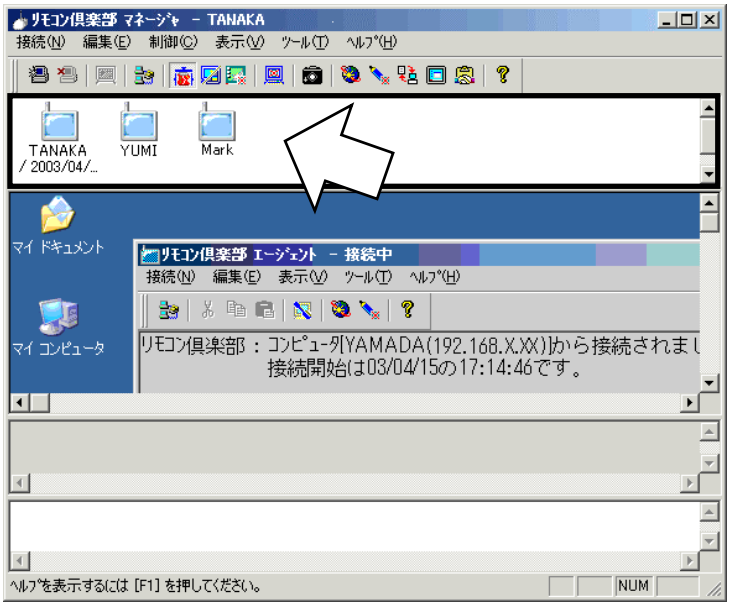
エージェント側に接続許可キーが設定されている場合は、[接続許可キー]テキストボックスに接続許可キーを入力します。

操作④
〔エージェントに接続〕ダイアログボックスの<接続>ボタンをクリックします。



● エージェントリストから接続する

マネージャ起動後は、エージェントリストからアイコンをダブルクリックすると、他のエージェントに接続することができます。



メモ

エージェントリストには、エージェントが起動され、かつエージェント側での接続環境でマネージャ側へ接続待ちを通知するように設定してあるエージェントが表示されます。

注意

エージェント側のローカル IP とグローバル IP が異なる場合や LAN カードを 2 枚使用している場合など、エージェントリストのアイコンをダブルクリックしても接続できない場合があります。

参照

エージェント側でマネージャ側へ接続待ちを通知するように設定する際の操作方法は、『第 6 章 リモートコントロール』の「接続待ち状態の通知方法を設定する」を参照してください。

2 インターネット経由で家庭内 LAN や企業内 LAN・WAN のエージェントに接続する

家庭内 LAN や企業の LAN・WAN など、接続先のエージェントのネットワークにルーターが設定されている場合、ルーターを越えてエージェントに接続

Step1 Web コミュニケーションを起動する P.59

マネージャ側・エージェント側共に Web コミュニケーションを起動します。

Step2 Web コミュニケーションサーバーにログインする P.60

マネージャ側・エージェント側共に Web コミュニケーションサーバーにログインします。

Step3 エージェントに接続要求を送る P.62

マネージャ側の Web コミュニケーションから、エージェントに接続要求を送り、接続します。

● 接続する前に確認してください…

接続できない場合は、次のようなことが考えられます。

事前に確認しておきましょう。

インターネットを利用できる環境ですか？

ダイヤルアップによるプロバイダ経由でのインターネット利用の場合や、LAN などのネットワーク環境でのインターネット利用の場合も、あらかじめインターネットを利用できる環境にしてください。

マネージャとエージェントのバージョンは５ですか？

「リモコン倶楽部 Ver.5」は、マネージャ・エージェントともに、Ver.5 以外のリモコン倶楽部と接続することはできません。

接続先のパソコンのエージェントは起動されてますか？

マネージャとエージェントの両方から Web コミュニケーションサーバーに接続してユーザーID を取得し、Web コミュニケーションにログインしている必要があります（エージェントも Web コミュニケーションサーバーに接続する操作を行ってください）。
さらに、接続先のパソコンではエージェントが起動されている必要があります。

ポート番号は変更されていませんか？

リモコン倶楽部で使用するポート番号は、接続するマネージャとエージェントで同期を取る必要があります。
ポート番号は、必ずマネージャとエージェントで同じ値を設定してください。

エージェント側で接続許可キーが設定されていませんか？

エージェント側の接続環境の設定で、接続許可キーが設定されていた場合、その接続許可キーを知らないマネージャは接続できません。

Microsoft® Internet Explorer はセットアップされていますか？

Web コミュニケーションは、Microsoft® Internet Explorer Version 3.0 以降が正しくセットアップされていないと動作しません。

最新のプログラムを使用していますか？

何らかのプログラム上の問題により接続ができないことが考えられますので、マネージャ、エージェントプログラムは最新のバージョンでご利用ください。

ファイアーウォールソフトは導入されていますか？

ファイアーウォールソフトでリモコン倶楽部が使用するポート番号がブロックされている場合にも接続することができません。ファイアーウォールソフトでポート番号を通過できるような設定をお願いします。

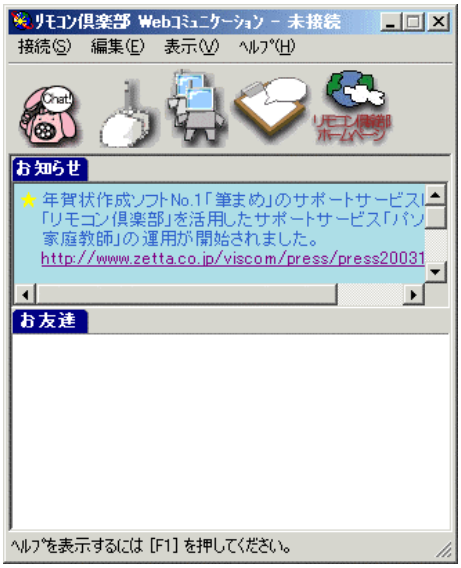
他のソフトでポート番号を使用していませんか？

同じポート番号を使用するソフトがインストールまたは使用していると、リモコン倶楽部が正常に動作しません。いずれかのソフトで使用するポート番号を変更し、再度お試しください。

Step1 Web コミュニケーションを起動する

マネージャ側・エージェント側共に Web コミュニケーションを起動します。

操作①
タスクバーの<スタート>ボタンをクリックし、メニューから[プログラム]-[リモコン倶楽部 Ver.5]-[Web コミュニケーション]コマンドを選択します。



メモ

[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウや[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウから起動することもできます。メニューから[ツール]-[Web コミュニケーション]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。
Microsoft® Internet Explorer (Version 3.0 以降)の接続環境の設定によっては、Web コミュニケーションを起動すると、〔ダイヤルアップ接続〕ダイアログボックスが表示されることがあります。

参照

〔ダイヤルアップ接続〕ダイアログボックスの操作方法の詳細については、Windows のヘルプを参照してください。

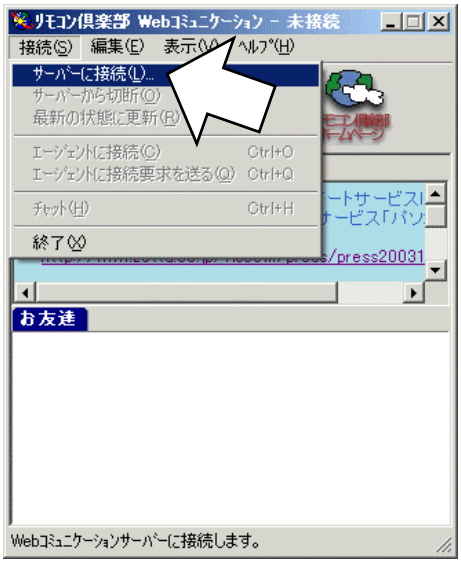
注意

「リモコン倶楽部 Web コミュニケーション Ver.5」は、マネージャ側・エージェント側ともに、Ver.5 以外の Web コミュニケーションと接続することはできません。

Step2 Web コミュニケーションサーバーにログインする

マネージャ側・エージェント側共に、Web コミュニケーション機能を利用するために、Web コミュニケーションサーバーにログインして接続します。

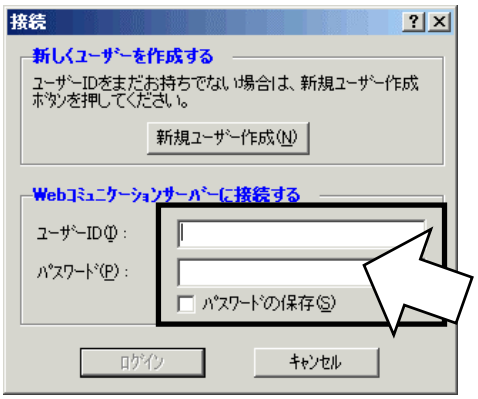
操作①
[リモコン倶楽部 Web コミュニケーション]ウィンドウのメニューから[接続]-[サーバーに接続]コマンドを選択します。



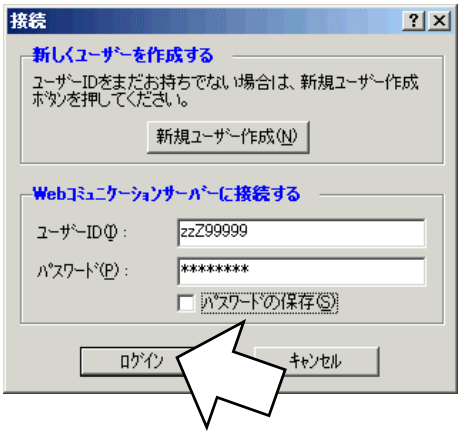
注意 マネージャ側・エージェント側共に、あらかじめユーザーID を取得する必要があります。
ユーザーID は Ver.5 で取得したものがご利用できます。その他のバージョンで取得したユーザーID はご利用できません。

参照 Web コミュニケーションのユーザーID を取得する際の操作方法は、前述の「Web コミュニケーションの準備」を参照してください。

操作②
〔接続〕ダイアログボックスにユーザーIDとパスワードを入力します。また、[パスワードの保存]チェックボックスをONにすると、次回Web コミュニケーション起動時に、ここで設定した内容で自動的にログインされます。



操作③
〈ログイン〉ボタンをクリックします。

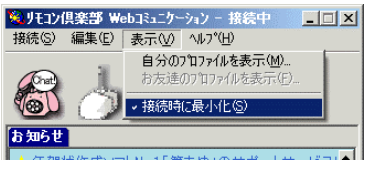


メモ

Web コミュニケーションサーバーにログインする際、前回ログイン時に〔接続〕ダイアログボックスの[パスワードの保存]チェックボックスを ON にしていた場合、Web コミュニケーションを起動すると、前回の内容で自動的にログインします。ただし、別のユーザーIDでWebコミュニケーションサーバーに接続する場合は、一度 Web コミュニケーションサーバーから切断し、〔接続〕ダイアログボックスを表示して、ユーザーIDとパスワードを再入力してください。

[リモコン倶楽部 Web コミュニケーション]ウィンドウを最小化すると、タスクトレイに収納されます。 アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから[ウィンドウを元に戻す]コマンドを選択すると[リモコン倶楽部 Web コミュニケーション]ウィンドウを表示することができます。

また、次のように設定していた場合、エージェントに接続すると、自動的にタスクトレイに収納されます。



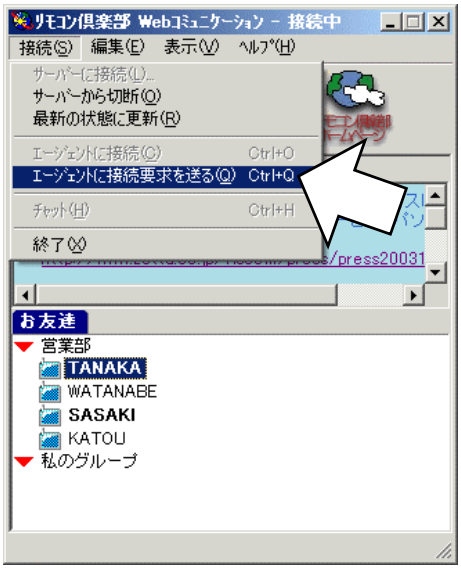
Step3 エージェントに接続要求を送る

マネージャ側で起動した Web コミュニケーションから、エージェントに接続要求を送り、接続します。

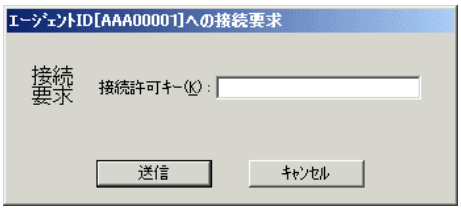
操作①
マネージャ側の[リモコン倶楽部 Web コミュニケーション]ウィンドウのお友達リストから、接続するお友達の名前を選択します。
接続可能なお友達は、太字で表示されます。

※ ただし、接続するには、接続側のパソコンでエージェントを起動している必要があります。

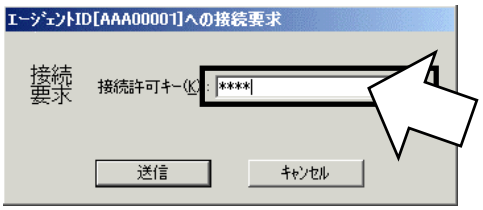
操作②
マネージャ側の[リモコン倶楽部 Web コミュニケーション]ウィンドウのメニューから[接続]-[エージェントに接続要求を送る]コマンドを選択します。



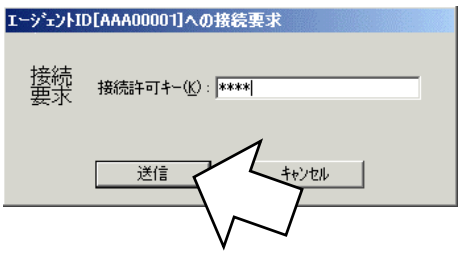
〔エージェント ID[ユーザーID]への接続要求〕ダイアログボックスが表示されます。



操作③
エージェント側に接続許可キーが設定されている場合は、[接続許可キー]テキストボックスに接続許可キーを入力します。



操作④
〔エージェント ID[ユーザーID]への接続要求〕ダイアログボックスの<送信>ボタンをクリックします。



メモ

[エージェントに接続要求を送る]コマンドを使用して接続した場合、最大 30 秒程度、接続時間を必要とする場合があります。

3 IP アドレスを指定して接続する

接続先エージェントのコンピュータ名や IP アドレスを指定してエージェントに接続

Step1 マネージャを起動する P.66

マネージャを起動します。

Step2 エージェントに接続する P.67

[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウから、コンピュータ名や IP アドレスを指定してエージェントに接続します。

● 接続する前に確認してください…

接続できない場合は、次のようなことが考えられます。

事前に確認しておきましょう。

インターネットを利用できる環境ですか？ または、LAN などのネットワーク環境ですか？

ダイヤルアップによるプロバイダ経由でのインターネット利用の場合や、LAN などのネットワーク環境でのインターネット利用の場合も、あらかじめインターネットを利用できる環境にしてください。

接続先のパソコンのコンピュータ名またはIPアドレスをご存知ですか？

エージェント側のパソコンのコンピュータ名またはIPアドレスを知っている必要があります。

エージェント側で接続許可キーが設定されていませんか？

エージェント側の接続環境の設定で、接続許可キーが設定されていた場合、その接続許可キーを知らないマネージャは接続できません。

ポート番号は変更されていませんか？

リモコン倶楽部で使用するポート番号は、接続するマネージャとエージェントで同期を取る必要があります。
ポート番号は、必ずマネージャとエージェントで同じ値を設定してください。

マネージャとエージェントのバージョンは５ですか？

「リモコン倶楽部 Ver.5」は、マネージャ・エージェントともに、Ver.5 以外のリモコン倶楽部と接続することはできません。

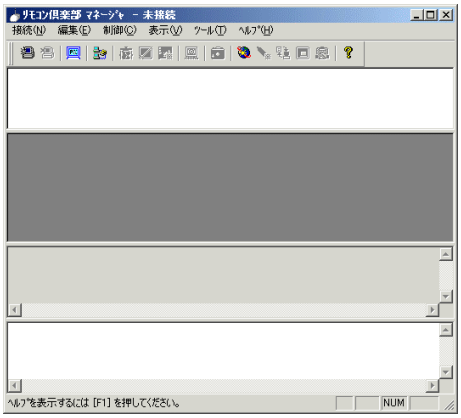
接続先のパソコンのエージェントは起動されていますか？

接続先のパソコンでは、エージェントが起動されている必要があります。

Step1 マネージャを起動する

マネージャを起動します。

操作①
マネージャを起動して、[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウを表示します。

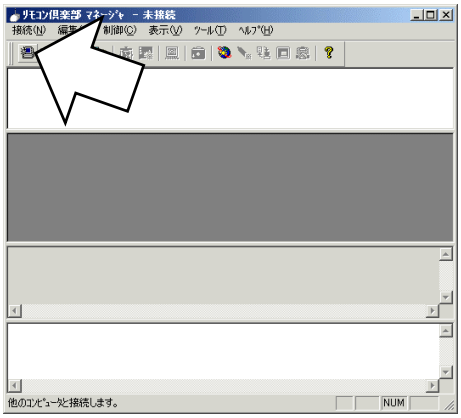


参照 [リモコン倶楽部 マネージャ]を起動する際の操作方法は、『第 3 章 起動と終了』の「マネージャの起動と終了」-「マネージャの起動」を参照してください。

Step2 エージェントに接続する

[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウから、コンピュータ名や IP アドレスを指定してエージェントに接続します。

操作①
[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのツールバーの ボタンをクリックするか、メニューから[接続]-[接続]コマンドを選択します。

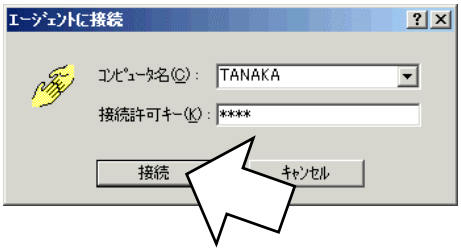


操作②
〔エージェントに接続〕ダイアログボックスの[コンピュータ名]コンボボックスに接続するコンピュータ名、または IP アドレスを入力します。

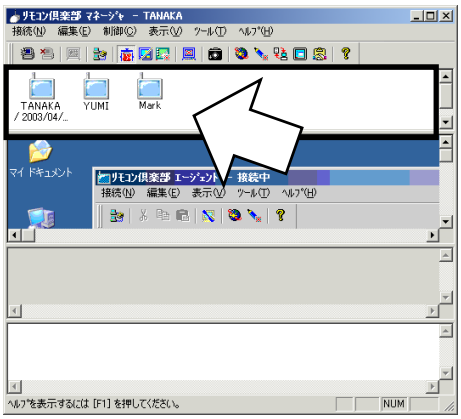
操作③
エージェント側で接続許可キーを設定している場合は、〔エージェントに接続〕ダイアログボックスの[接続許可キー]テキストボックスに接続許可キーを入力します。

参照 [リモコン倶楽部 エージェント]からエージェント側の IP アドレスを確認することができます。IP アドレスを確認する際の操作方法は、後述の「IP アドレスを確認するには」を参照してください。

操作④
〔エージェントに接続〕ダイアログボックスの〈接続〉ボタンをクリックします。



エージェントリストにアイコンが表示されている場合は、このアイコンをダブルクリックしてもエージェントに接続することができます。



メモ

エージェント側が Windows 98/Me または Windows NT/2000/XP からログオフされていた場合、リモコン倶楽部のサービスにより、マネージャ側からログオンすることができます。

注意

エージェント側のローカル IP とグローバル IP が異なる場合や LAN カードを 2 枚使用している場合など、エージェントリストのアイコンをダブルクリックしても接続できない場合があります。

4 電話回線を使用して直接接続する

接続側のパソコンとモデムと電話回線を経由しダイヤルアップ接続できる場合、接続先のコンピュータ名やIPアドレスを指定してエージェントに接続

Step1 マネージャを起動する P.72

マネージャを起動します。

Step2 ダイヤルアップサーバーに接続する P.73

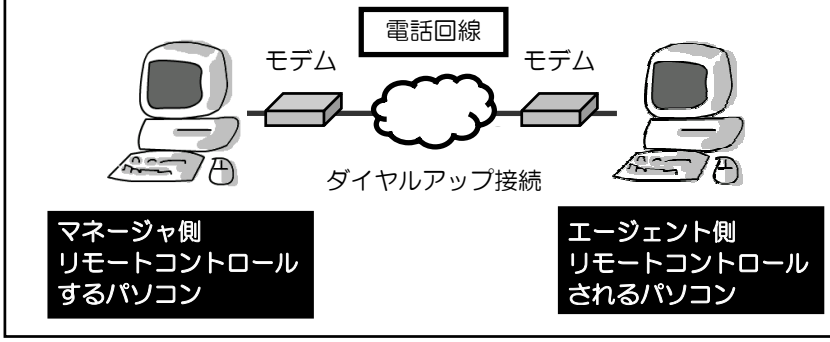
※ エージェントからダイヤルアップサーバーに接続する場合は、「マネージャ」を「エージェント」に読み替えて操作してください。

ダイヤルアップサーバーに接続します。

Step3 エージェントに接続する P.74

[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウから、コンピュータ名やIPアドレスを指定してエージェントに接続します。

ダイヤルアップ接続する際の着信側と発信側のパソコンは、マネージャまたはエージェントのいずれでもかまいません。



● 接続する前に確認してください…

接続できない場合は、次のようなことが考えられます。
事前に確認しておきましょう。

※ ダイヤルアップによるプロバイダ経由でインターネットをご利用の方は、前述の「インターネット経由で接続する」か「インターネット経由で家庭内 LAN のエージェントに接続する」か「IP アドレスを指定して接続する」方法で、エージェントに接続してください。

相互のパソコンは、モデムを使用できる環境ですか？
相互のパソコンは、ダイヤルアップサーバーの設定がされていますか？

リモートアクセスとは、パソコンからモデムと電話回線を利用してデータ通信することをいいます。
この機能を利用するには、相互のパソコンにダイヤルアップサーバーの設定が必要になります。

接続先のパソコンのコンピュータ名または IP アドレスをご存知ですか？

エージェント側のパソコンのコンピュータ名またはIPアドレスを知っている必要があります。

エージェント側で接続許可キーが設定されていませんか？

エージェント側の接続環境の設定で、接続許可キーが設定されていた場合、その接続許可キーを知らないマネージャは接続できません。

ポート番号は変更されていませんか？

リモコン倶楽部で使用するポート番号は、接続するマネージャとエージェントで同期を取る必要があります。
ポート番号は、必ずマネージャとエージェントで同じ値を設定してください。

マネージャとエージェントのバージョンは５ですか？

「リモコン倶楽部 Ver.5」は、マネージャ・エージェントともに、Ver.5以外のリモコン倶楽部と接続することはできません。

接続先のパソコンのエージェントは起動されていますか？

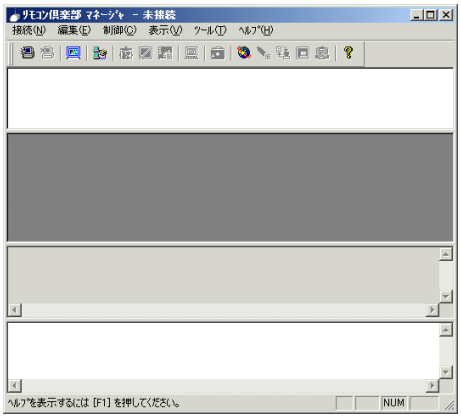
接続先のパソコンでは、エージェントが起動されている必要があります。

☞ 参照 電話回線を使用して直接接続ができなかった場合は、『付録』の「トラブルシューティング」を参照し、お使いのパソコンの設定内容を確認してください。

Step1 マネージャを起動する

マネージャを起動します。

操作①
マネージャを起動して、[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウを表示します。

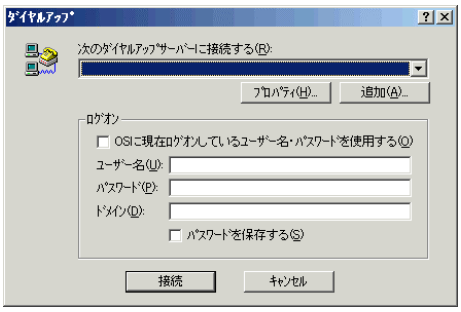


参照 [リモコン倶楽部 マネージャ]を起動する際の操作方法は、『第 3 章 起動と終了』の「マネージャの起動と終了」-「マネージャの起動」を参照してください。

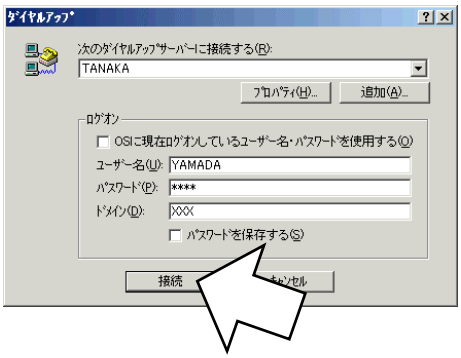
Step2 ダイヤルアップサーバーに接続する

エージェント側のダイヤルアップサーバーに接続します。

操作①
[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのツールバーの ボタンをクリックするか、メニューの[接続]-[ダイヤルアップ]コマンドを選択します。
〔ダイヤルアップ〕ダイアログボックスが表示されますので、Windowsのダイヤルアップ接続を行います。



操作②
エージェント側のコンピュータの接続先を選択し、<接続>ボタンをクリックします。



メモ

Windows NT/2000/XP のドメインを構成、またはこれに参加しているサーバー以外のサーバーを呼び出す場合は、ドメインの指定は必要ありません。
また、[OS に現在ログオンしているユーザー名・パスワードを使用する]チェックボックスを ON にした場合、リモートネットワークにログオンする際のユーザー名、パスワード、ドメイン名が、現在の OS ログオン時の設定と同一である必要があります。

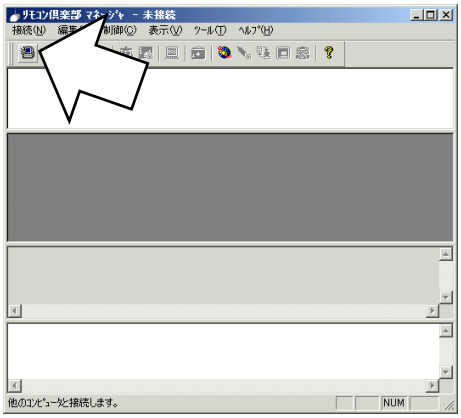
参照

ダイヤルアップサーバーに接続する際の操作方法は、Windows のヘルプやそれらを記載している文献などを参照してください。

Step3 エージェントに接続する

[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウから、コンピュータ名やIP アドレスを指定してエージェントに接続します。

操作①
[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのツールバーの ボタンをクリックするか、メニューから[接続]-[接続]コマンドを選択します。

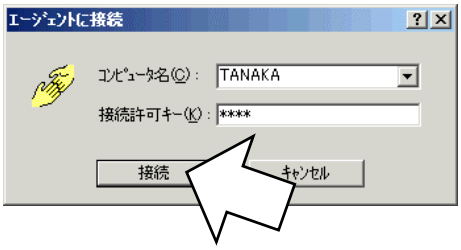


操作②
〔エージェントに接続〕ダイアログボックスの[コンピュータ名]コンボボックスに接続するコンピュータ名、または IP アドレスを入力します。

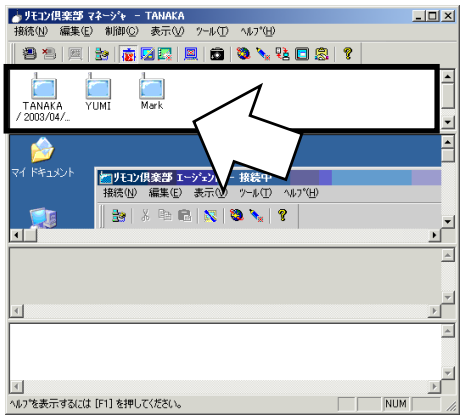
操作③
エージェント側で接続許可キーを設定している場合は、〔エージェントに接続〕ダイアログボックスの[接続許可キー]テキストボックスに接続許可キーを入力します。

参照 [リモコン倶楽部 エージェント]からエージェント側の IP アドレスを確認することができます。IP アドレスを確認する際の操作方法は、後述の「IP アドレスを確認するには」を参照してください。

操作④
〔エージェントに接続〕ダイアログボックスの<接続>ボタンをクリックします。



エージェントリストにアイコンが表示されている場合は、このアイコンをダブルクリックしてもエージェントに接続することができます。



メモ

エージェント側が Windows 98/Me または Windows NT/2000/XP からログオフされていた場合、リモコン倶楽部のサービスにより、マネージャ側からログオンすることができます。

注意

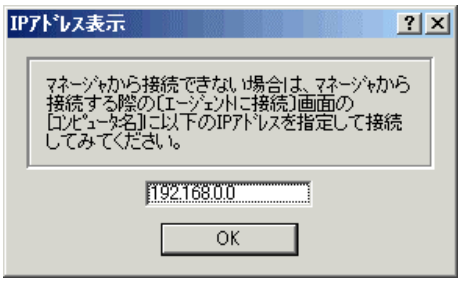
エージェント側のローカル IP とグローバル IP が異なる場合や LAN カードを 2 枚使用している場合など、エージェントリストのアイコンをダブルクリックしても接続できない場合があります。

IP アドレスを確認するには

リモコン倶楽部の接続ができなかった場合、エージェント側で次の操作を行って、エージェント側の IP アドレスを確認し、マネージャ側で接続を行う際のコンピュータ名としてエージェント側の IP アドレスを入力するよう連絡してください。

既に Windows が起動され、エージェントが起動されていることを前提とします。

操作①
[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウのメニューから[ツール]-[IP アドレスの表示]コマンドを選択します。
〔IP アドレス表示〕ダイアログボックスが表示されますので、エージェント側のコンピュータの IP アドレスを確認し、<OK>ボタンをクリックします。



メモ
IPアドレスが複数設定してある場合は、リストボックスにスクロールバーが表示されます。
なお、弊社のホームページ「IPアドレス通知 On Web」でも、IPアドレスの確認および通知ができます。[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウのメニューから[ツール]-[IPアドレスの通知 On Web]コマンドを選択します。表示されたWebページの指示に従って操作してください。

参照
[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウを起動する際の操作方法は、『第3章 起動と終了』の「エージェントの起動と終了」-「エージェントの起動」を参照してください。

エージェントの切断

インターネット経由で接続していた場合の切断

Web コミュニケーションを利用して接続したエージェントの切断

Step1 エージェントを切断する P.78

接続したエージェントを切断します。

Step2 Web コミュニケーションから切断する P.79

※ ダイヤルアップ接続によるプロバイダ経由でのインターネットを利用していて、インターネットでの接続を終了する場合は、ダイヤルアップ接続を切断します。

Web コミュニケーションサーバーを利用しない場合は、Web コミュニケーションサーバーから切断します。

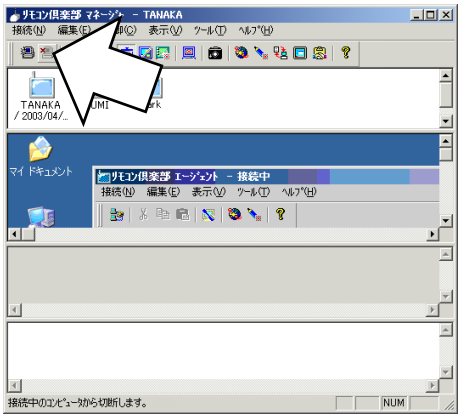
Step3 Web コミュニケーションを終了する P.80

[Web コミュニケーション]ウィンドウを使用しない場合は、Web コミュニケーションを終了します。

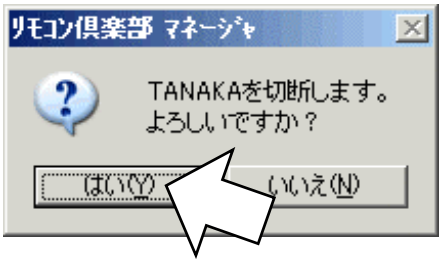
Step1 エージェントを切断する

接続したエージェントをマネージャから切断します。

操作①
[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのツールバーの ボタンをクリックするか、メニューから[接続]-[切断]コマンドを選択します。



操作②
メッセージが表示されますので、<はい>ボタンをクリックします。

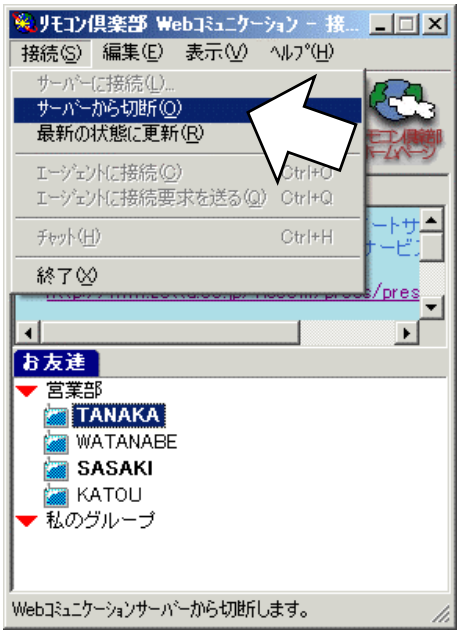


Step2 Web コミュニケーションサーバーから切断する

Web コミュニケーションサーバーを利用しない場合は、Web コミュニケーションサーバーから切断します。
切断した場合は、エージェントに接続したり、お友達との接続状況をリストから確認することができません。

操作①
[リモコン倶楽部 Web コミュニケーション]ウィンドウを最小化している場合は、タスクトレイの アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから[ウィンドウを元に戻す]コマンドを選択します。

操作②
[リモコン倶楽部 Webコミュニケーション]ウィンドウのメニューから、[接続]-[サーバーから切断]コマンドを選択します。



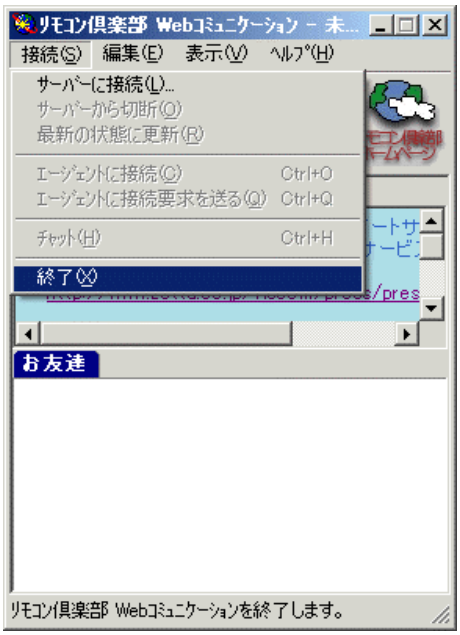
メモ
ダイヤルアップ接続によるプロバイダ経由でのインターネットを利用していて、インターネットでの接続を終了する場合は、ダイヤルアップ接続を切断してください。

参照
ダイヤルアップ接続を切断する際の操作方法は、Windows のヘルプやそれらを記載している文献などを参照してください。

Step3 Web コミュニケーションを終了する

[リモコン倶楽部 Web コミュニケーション]ウィンドウを使用しない場合は、Web コミュニケーションを終了します。

操作①
[リモコン倶楽部 Web コミュニケーション]ウィンドウのメニューの[接続]-[終了]コマンドを選択するか、画面右上の ✕ ボタンをクリックします。



インターネット経由で家庭内 LAN や企業内 LAN・WAN のエージェントに接続していた場合の切断

Step1～Step3 の各操作については、「インターネット経由で継続していた場合の切断」と同じ操作になります。

Step1 **エージェントを切断する** P.78

接続したエージェントを切断します。

Step2 **Web コミュニケーションから切断する** P.79

※ ダイヤルアップ接続によるプロバイダ経由でのインターネットを利用していて、インターネットでの接続を終了する場合は、ダイヤルアップ接続を切断します。

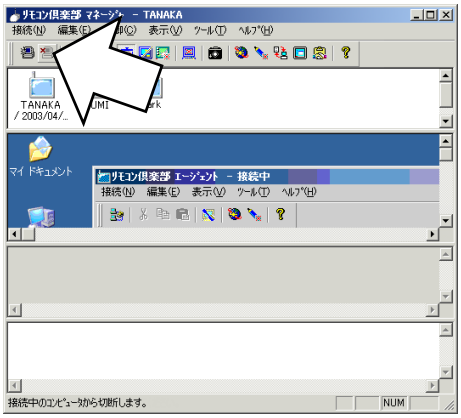
Web コミュニケーションサーバーを利用しない場合は、Web コミュニケーションサーバーから切断します。

Step3 **Web コミュニケーションを終了する** P.80

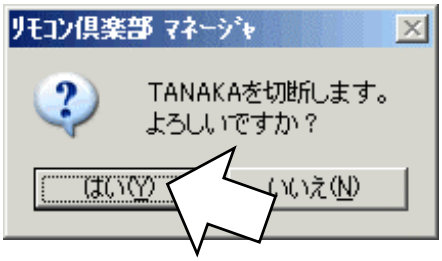
[Web コミュニケーション]ウィンドウを使用しない場合は、Web コミュニケーションを終了します。

IPアドレスを指定して接続していた場合の切断

操作①
[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのツールバーの ボタンをクリックするか、メニューから[接続]-[切断]コマンドを選択します。



操作②
メッセージが表示されますので、<はい>ボタンをクリックします。



メモ
ダイヤルアップ接続によるプロバイダ経由でのインターネットを利用していて、インターネットでの接続を終了する場合は、ダイヤルアップ接続を切断してください。

電話回線を使用して直接接続していた場合の切断

Step1 **エージェントを切断する** P.84

接続したエージェントを切断します。

Step2 **ダイヤルアップサーバーから切断する** P.85

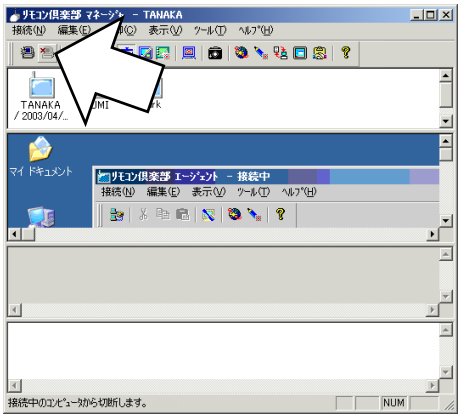
※ エージェント側がダイヤルアップサーバーから切断する場合は、「マネージャ」を「エージェント」に読み替えて操作してください。

ダイヤルアップサーバーを利用しない場合は、ダイヤルアップサーバーから切断し、電話回線を切断します。

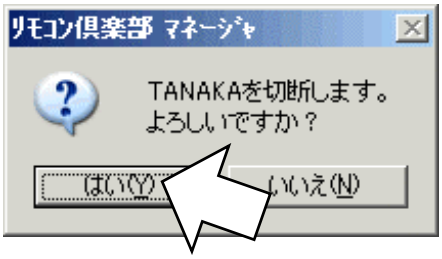
Step1 エージェントを切断する

接続したエージェントをマネージャから切断します。

操作①
[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのツールバーの ボタンをクリックするか、メニューから[接続]-[切断]コマンドを選択します。



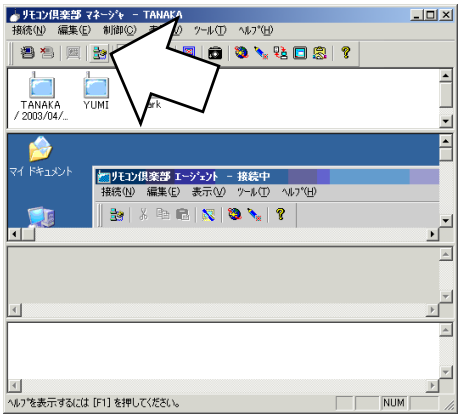
操作②
メッセージが表示されますので、<はい>ボタンをクリックします。



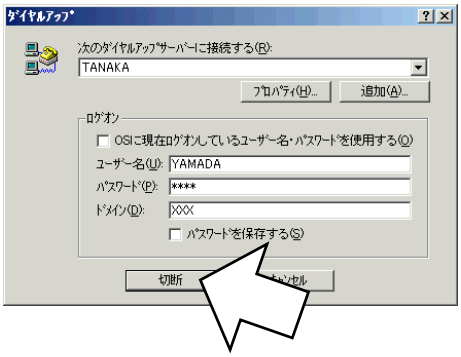
Step2 ダイヤルアップサーバーから切断する

ダイヤルアップサーバーを利用しない場合は、ダイヤルアップサーバーから切断し、電話回線を切断します。

操作①
[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのツールバーの ボタンをクリックするか、メニューの[接続]-[ダイヤルアップ]コマンドを選択します。



操作②
〔ダイヤルアップ〕ダイアログボックスの<切断>ボタンをクリックします。



メモ
エージェント側がダイヤルアップサーバーから切断する場合は、「マネージャ」を「エージェント」に読み替えて操作してください。

参照
ダイヤルアップ接続を切断する際の操作方法は、Windows のヘルプやそれらを記載している文献などを参照してください。

リモコン倶楽部

第５章　環境設定

「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスとメンテナンスツール

Windows に「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスを登録しスタートアップの種類を自動に設定することにより、Windows が立ち上がる前（ログオンより先）に「リモコン倶楽部 エージェント」に接続してリモートコントロールを行うことができます。
また、接続したエージェント側のパソコンが Windows にログオンしていなくても、マネージャ側から Windows にログオンすることができます。
これらのサービスの設定は、メンテナンスツールから行います。
ここでは、既に Windows が起動していることを前提に、メンテナンスツールの操作方法を説明します。
なお、Windows 98/Me に関しては、本来は Windows NT/2000/XP のサービスと同じ形で動作しているものではありませんが、便宜上サービスという呼称で統一しています。

メンテナンスツールの操作

エージェント側で、メンテナンスツールから次の操作を行います。

メンテナンスツールの初期設定の手順

Step1 メンテナンスツールを起動する P.90

エージェント側でメンテナンスツールを起動します。

Step2 メンテナンスツールを設定する P.91

- サービスを登録し、サービスを開始する
- エージェント側の接続環境を設定する
- ポート番号を設定する

Step3 メンテナンスツールを終了する P.98

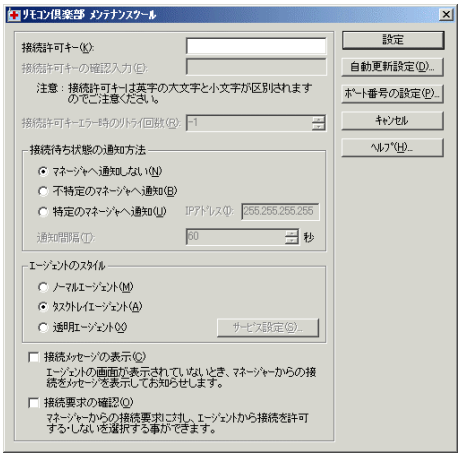
メンテナンスツールを終了します。

メンテナンスツールの初期設定

Step1 メンテナンスツールを起動する

エージェント側でメンテナンスツールを起動します。

操作①
タスクバーの<スタート>ボタンをクリックし、メニューから[プログラム]-[リモコン倶楽部 Ver.5]-[メンテナンスツール]コマンドを選択します。
〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスが表示されます。

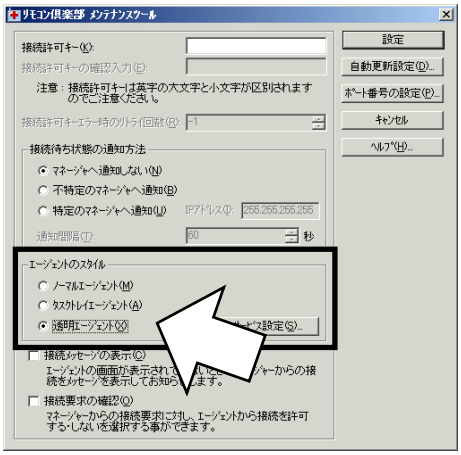


Step2 メンテナンスツールを設定する

● サービスを登録し、サービスを開始する

Windows に「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスを登録し、サービスを開始します。

操作①
[エージェントのスタイル]グループボックスから、[透明エージェント]オプションボタンを選択します。

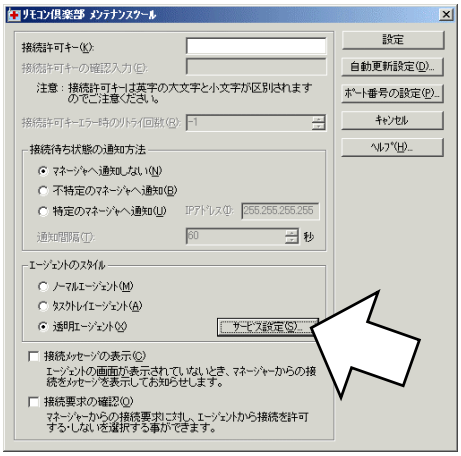


メモ　ここで設定した内容は、エージェントの〔接続環境の設定〕ダイアログボックスにも反映されます。

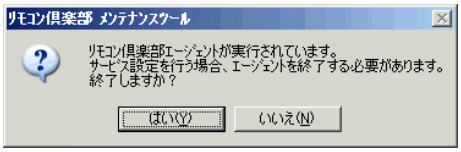
注意　サービスの設定は、エージェントのスタイルが[透明エージェント]の場合のみ行うことができます。

参照　エージェントのスタイルを設定する際の詳細は、『第 6 章 リモートコントロール』の「エージェントのスタイルを設定する」を参照してください。

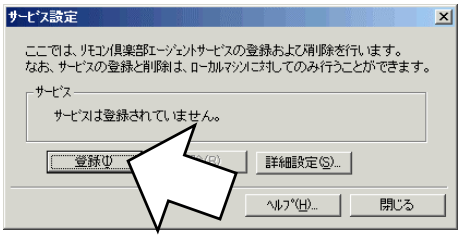
操作②
〈サービス設定〉ボタンをクリックします。



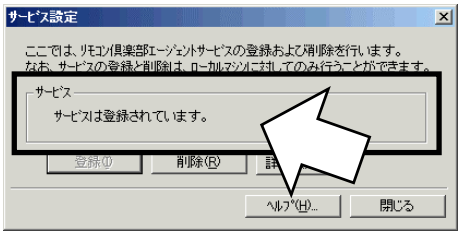
既にエージェントが実行されている場合は、次のメッセージが表示されます。
〈はい〉ボタンをクリックします。



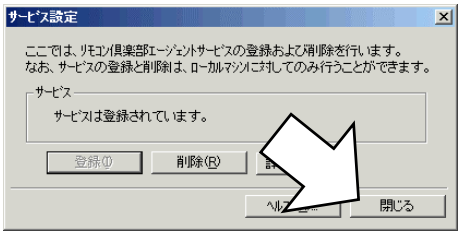
操作③
〔サービス設定〕ダイアログボックスが表示されます。
〈登録〉ボタンをクリックします。



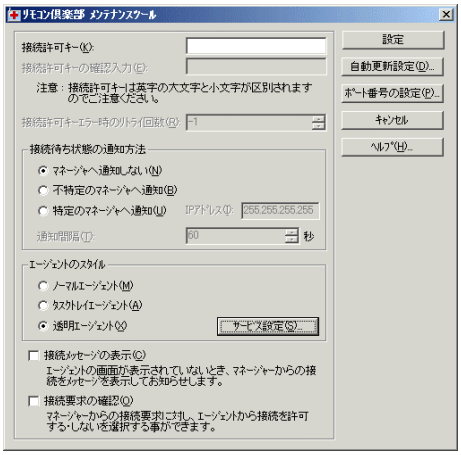
操作④
サービスが登録されると、[サービス]グループボックスに次のようなメッセージが表示れ、同時にサービスが開始されます。



操作⑤
〔サービス設定〕ダイアログボックスの<閉じる>ボタンをクリックします。



操作⑥
〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスに戻ります。



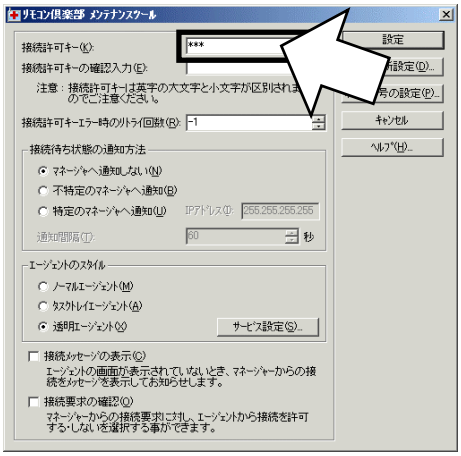
メモ　サービスが登録されると、自動的にサービスが開始されます。サービス登録時のスタートアップは「自動」になります。登録し開始されているサービスは、手動で停止することも可能です。

参照　サービスを手動で停止する際の詳細は、後述の「サービスを手動で停止する」を参照してください。
スタートアップを設定する際の詳細は、後述の「スタートアップを設定する」を参照してください。

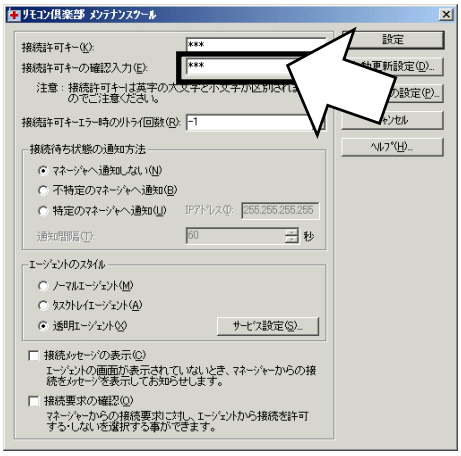
● エージェント側の接続環境を設定する

エージェント側の接続環境を設定します。

操作①
[接続許可キー]テキストボックスに、接続許可キーを入力します。



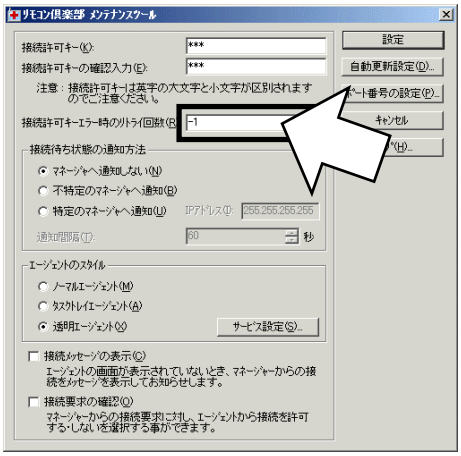
操作②
[接続許可キーの確認入力]テキストボックスに、[接続許可キー]テキストボックスで入力した接続許可キーを入力します。



メモ

接続許可キーは、半角 16 文字までの英数字を入力することができ、英字の大文字小文字が区別されます。
接続許可キーを変更した場合は、<設定>ボタンをクリックすると、〔旧接続許可キーの確認〕ダイアログボックスが表示されます。変更前の接続許可キーを入力し<OK>ボタンをクリックします。一度も設定したことがない場合は、空白のまま<OK>ボタンをクリックします。

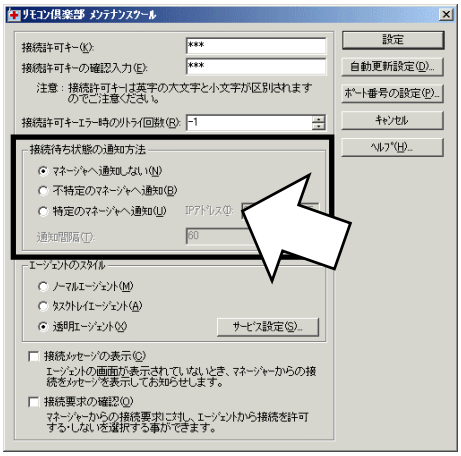
操作③
[接続許可キーエラー時のリトライ回数]テキストボックスに、リトライ回数を入力します。



メモ

「接続許可キーエラー時のリトライ回数」の初期値は、「-1」となっています。リトライ回数を「-1」と設定した場合、エラー時のリトライ回数は制限されません。「0」と設定した場合は、一度でもエラーになると、エージェントに接続することができません。
なお、接続許可キーエラー時のリトライ回数を設定すると、不正な接続許可キーを指定して接続してきたマネージャに対して、接続をロックします。この場合、一旦エージェントを終了して再起動すると、ロックが解除され、マネージャ側は接続することができるようになります。
また、ここで設定した内容は、〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスにも反映されます。
接続許可キーエラー時のリトライ回数は、「接続許可キー」を指定することにより、設定することができます。

操作④
[接続待ち状態の通知方法]グループボックスから、オプションボタンを選択します。



❑ [マネージャへ通知しない]オプションボタン

エージェントを起動して接続可能な状態であることをマネージャに通知しませんので、マネージャ側のエージェントリストにエージェントのアイコンが表示されません。マネージャがエージェントに接続するには、エージェントが起動しているかを確認の上、〔エージェントに接続〕ダイアログボックスからコンピュータ名または IP アドレスを入力し、必要であれば接続許可キーを入力すると接続することができます。

❑ [不特定のマネージャへ通知]オプションボタン

エージェントを起動して接続可能な状態であることを不特定のマネージャに通知します。不特定のマネージャ側のエージェントリストにエージェントのアイコンが表示されます。[通知間隔]テキストボックスに、秒単位でマネージャに通知する間隔を入力します。

❑ [特定のマネージャへ通知]オプションボタン

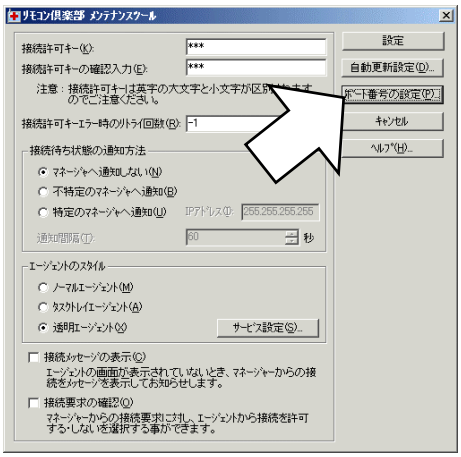
エージェントを起動して接続可能な状態であることを特定のマネージャに通知します。特定のマネージャ側のエージェントリストにエージェントのアイコンが表示されます。このオプションボタンを選択した場合は、[IP アドレス]テキストボックスにマネージャ側のパソコンの IP アドレスを入力します。[通知間隔]テキストボックスに、秒単位でマネージャに通知する間隔を入力します。

メモ ここで設定した内容は、エージェントの〔接続環境の設定〕ダイアログボックスにも反映されます。

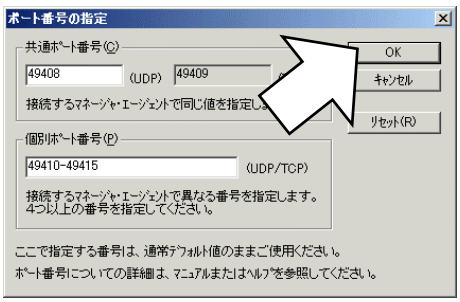
● ポート番号を設定する

エージェント側のポート番号を設定します。

操作①
〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスの<ポート番号の設定>ボタンをクリックします。



操作②
〔ポート番号の指定〕ダイアログボックスが表示されます。
ポート番号を設定し、<OK>ボタンをクリックします。



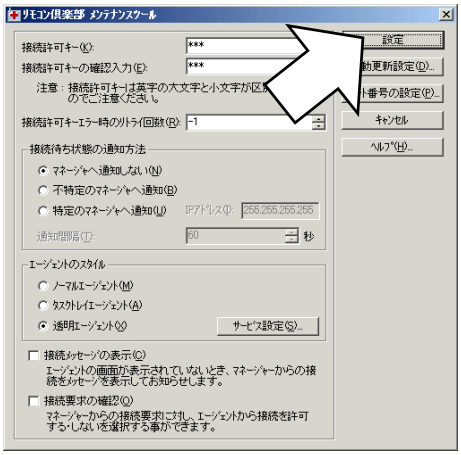
注 意　ご使用の環境に合わせて、ポート番号を変更して設定することができますが、指定するポート番号は、接続するマネージャとエージェントで同期を取る必要があります。

参 照　ポート番号を設定する際の操作方法は、後述の「ポート番号を設定する」を参照してください。

Step3 メンテナンスツールを終了する

メンテナンスツールを終了します。

操作①
〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスの<設定>ボタンをクリックします。

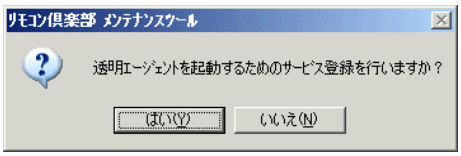


操作②
既に設定してある接続許可キーを変更した場合は、次の画面が表示されますので、変更前の接続許可キーを入力し、<OK>ボタンをクリックします。
設定したことがない場合は、空白のまま<OK>ボタンをクリックします。

注意 〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスの<キャンセル>ボタンおよび画面右上の ✕ ボタンをクリックすると、設定した内容が保存されずにメンテナンスツールが終了されますので、設定した内容を保存する場合は、<設定>ボタンをクリックしてください。

操作③
設定を変更した場合は、次のようなメッセージが表示されますので、〈OK〉ボタンをクリックします。
〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスが終了されます。

[エージェントのスタイル]グループボックスから[透明エージェント]を選択し、サービスの設定を行わなかった場合は、次のようなメッセージが表示されますので、〈はい〉ボタンをクリックし、サービスの設定を行います。



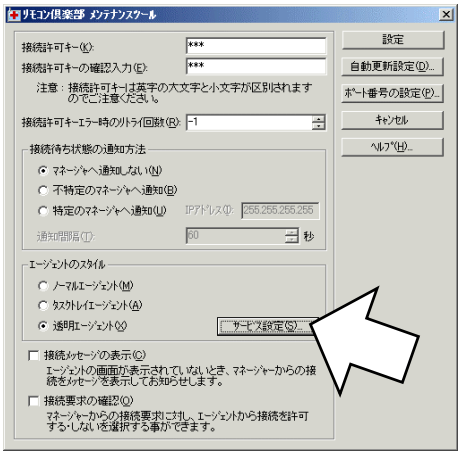
注 意
サービスが登録してある場合に、エージェントのスタイルの設定を[透明エージェント]から他のスタイルに変更すると、サービスは削除されます。
スタイルの設定を[透明エージェント]以外のスタイルから[透明エージェント]に切り替えた場合は、再度サービスを登録および開始してください。

参 照
サービスの設定を行う際の操作方法は、前述の「Step2 サービスを登録し、サービスを開始する」を参照してください。

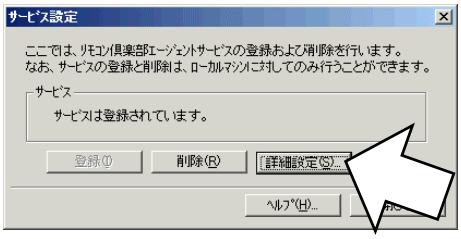
サービスを手動で停止する

エージェントのスタイルが[透明エージェント]でサービスが登録されており、既にメンテナンスツールが起動していることが前提となります。

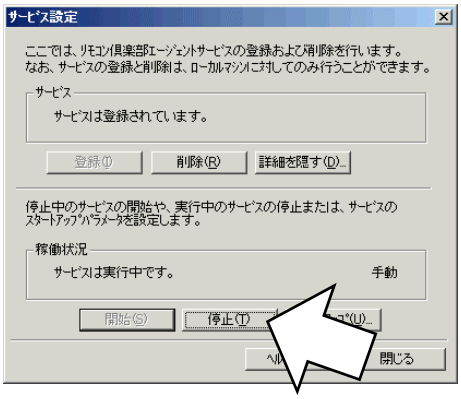
操作①
〈サービス設定〉ボタンをクリックします。



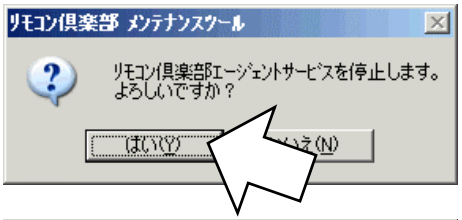
操作②
〈詳細設定〉ボタンをクリックします。



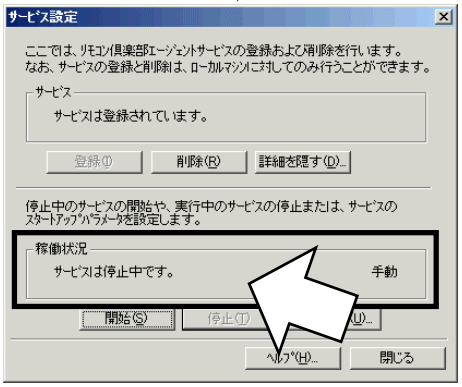
操作③
〔サービス設定〕ダイアログボックスの〈停止〉ボタンをクリックします。



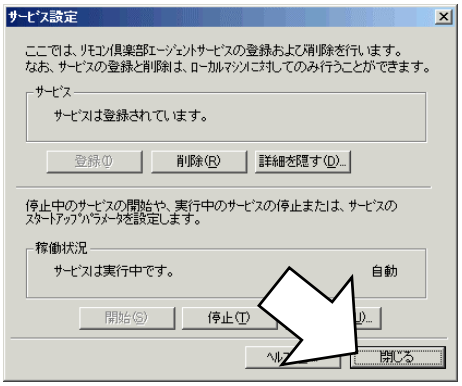
操作④
次のようなメッセージが表示されますので、<はい>ボタンをクリックします。



操作⑤
サービスが停止されると、[稼動状況]グループボックスに次のようなメッセージが表示されます。



操作⑥
〔サービス設定〕ダイアログボックスの<閉じる>ボタンをクリックします。〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスに戻ります。

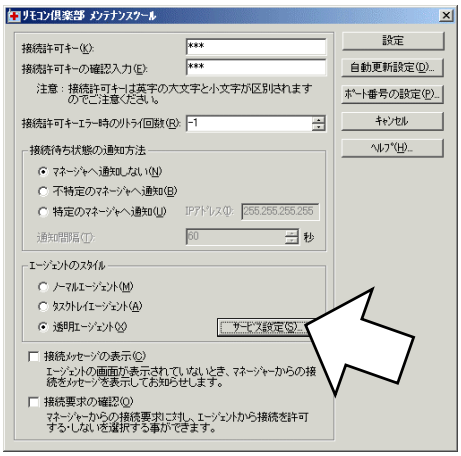


参照 サービスを手動で開始する際の操作方法は、後述の「サービスを手動で開始する」を参照してください。

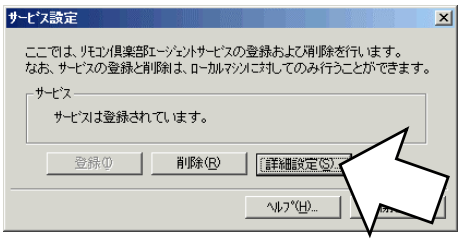
サービスを手動で開始する

エージェントのスタイルが[透明エージェント]でサービスが登録されており、既にメンテナンスツールが起動していることが前提となります。

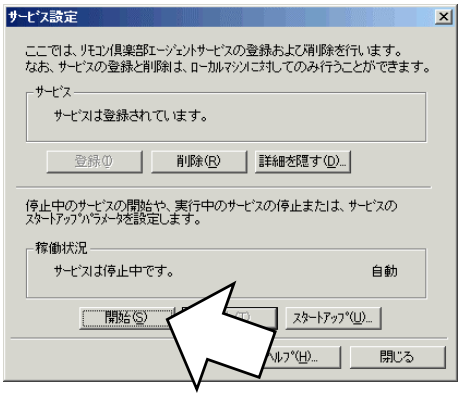
操作①
<サービス設定>ボタンをクリックします。



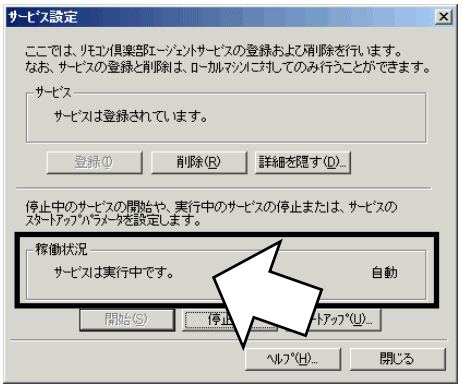
操作②
<詳細設定>ボタンをクリックします。



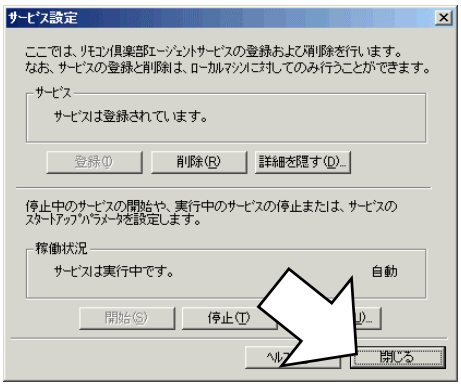
操作③
<開始>ボタンをクリックします。



操作④
サービスが開始されると、[稼動状況]グループボックスに次のようなメッセージが表示されます。



操作⑤
〔サービス設定〕ダイアログボックスの<閉じる>ボタンをクリックします。
〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスに戻ります。

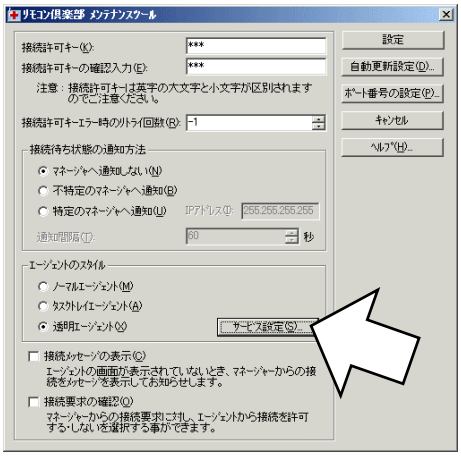


参照 サービスを手動で停止する際の操作方法は、前述の「サービスを手動で停止する」を参照してください。

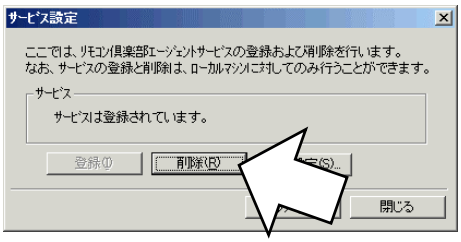
サービスを削除する

エージェントのスタイルが[透明エージェント]でサービスが登録されており、既にメンテナンスツールが起動していることが前提となります。

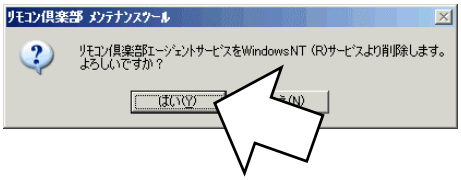
操作①
〈サービス設定〉ボタンをクリックします。



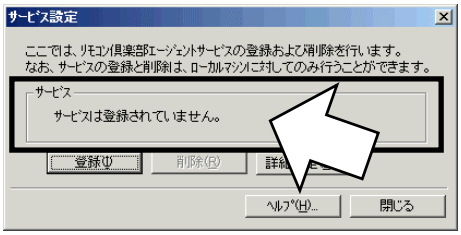
操作②
〔サービス設定〕ダイアログボックスの〈削除〉ボタンをクリックします。



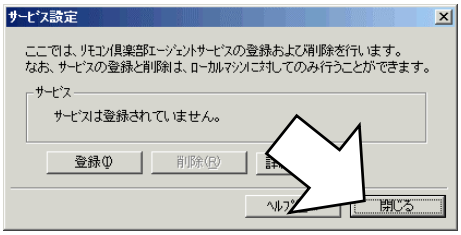
操作③
次のようなメッセージが表示されますので、〈はい〉ボタンをクリックします。



操作④
サービスが削除されると、[サービス]グループボックスに次のようなメッセージが表示されます。



操作⑤
〔サービス設定〕ダイアログボックスの<閉じる>ボタンをクリックします。
〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスに戻ります。



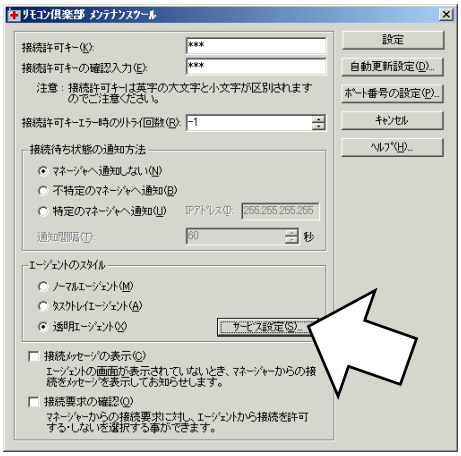
メモ

エージェントのサービスが開始されている状態の場合でも、サービスを削除するとサービスは停止します。

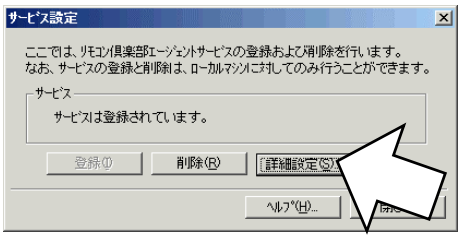
スタートアップを設定する

Windows NT/2000/XP の場合は、「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスのスタートアップの種類を設定することができます（Windows 98/Me の場合は、スタートアップの設定はできません）。
エージェントのスタイルが[透明エージェント]でサービスが登録されており、既にメンテナンスツールが起動していることが前提となります。

操作①
〈サービス設定〉ボタンをクリックします。



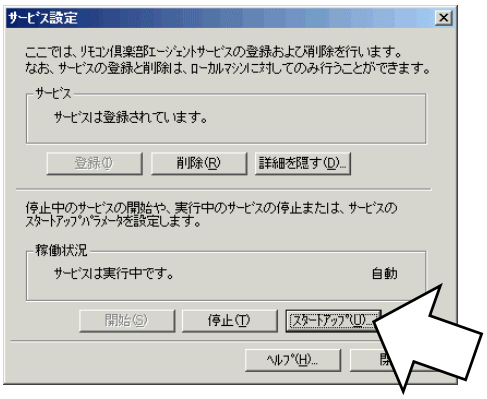
操作②
〈詳細設定〉ボタンをクリックします。



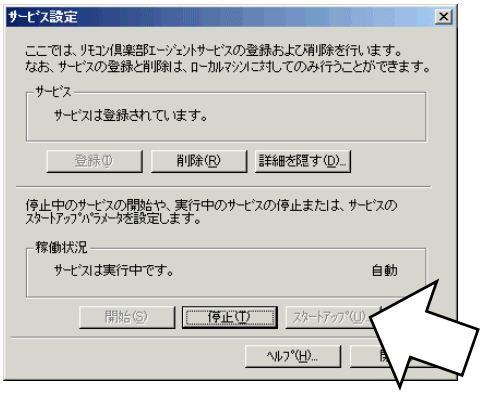
メモ

Windows 98/Me の場合は、サービスを登録し開始すると、OS の起動時に自動的に「リモコン倶楽部 エージェント」が起動され、「リモコン倶楽部 エージェント」を運用することができます。

操作③
〈スタートアップ〉ボタンをクリックします。



Windows 98/Me の場合は、〈スタートアップ〉ボタンが淡色表示され、スタートアップの設定を行うことはできません。



操作④
〔スタートアップの設定〕ダイアログボックスが表示されます。
いずれかのオプションボタンを選択します。

❑ スタートアップの種類が[自動]の場合

Windows NT/2000/XP が起動された際、自動的に「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスが開始されます。
Windows NT/2000/XP 起動時から、マネージャと接続してご利用することができます。

❑ スタートアップの種類が[手動]の場合

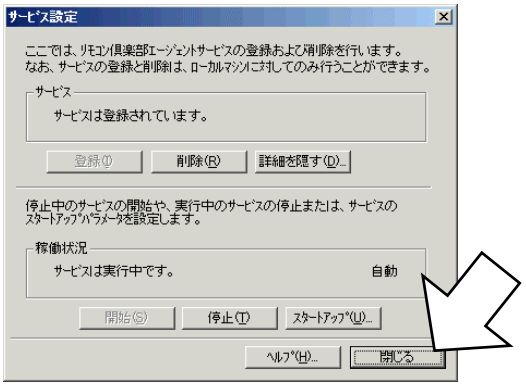
Windows NT/2000/XP が起動された際、「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスは停止されています。
「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスを手動で開始することにより、「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスが開始されます。

❑ スタートアップの種類が[無効]の場合

「リモコン倶楽部 エージェント」のサービスを開始できないように設定します。
スタートアップの種類を自動または手動に設定するまで、マネージャと接続してご利用することはできません。

操作⑤
<OK>ボタンをクリックします。

操作⑥
〔サービス設定〕ダイアログボックスの<閉じる>ボタンをクリックします。
〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスに戻ります。

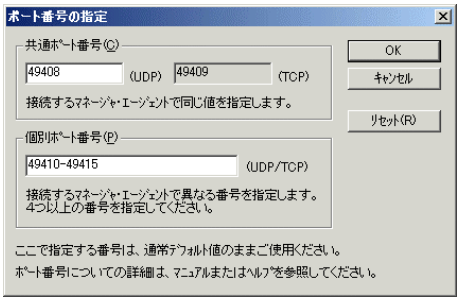


ポート番号を設定する

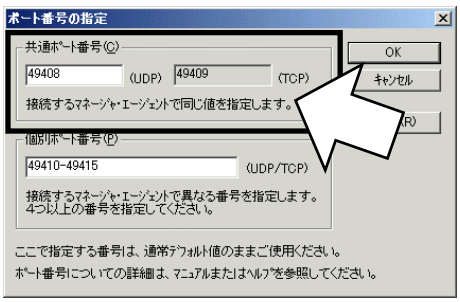
インターネット接続環境でリモコン倶楽部が使用するポート番号を、ご使用の環境に合せて変更して設定することができます。指定するポート番号は、接続するマネージャとエージェントで同期を取る必要があります。共通ポート番号は、必ずマネージャとエージェントで同じ値を設定してください。

● マネージャ側の操作

操作①
[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから、[制御]-[ポート番号の設定]コマンドを選択します。
〔ポート番号の指定〕ダイアログボックスが表示されます。



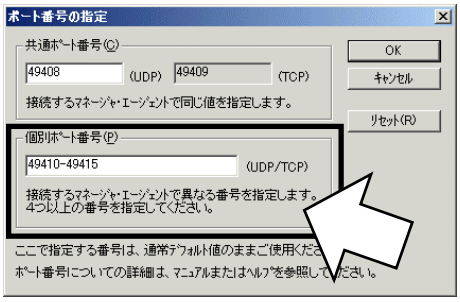
操作②
[共通ポート番号]グループボックスの左側のテキストボックスに、マネージャとエージェントで共通のポート番号を入力します。
右側のテキストボックスには、左側に入力した番号の続きの番号が、自動的に設定されます。



■ 共通ポート番号には連続する 2 つの値が必要です。ここでは先頭の値を指定します。

例） 49408，49409 を指定する場合、49408 のみを指定します。

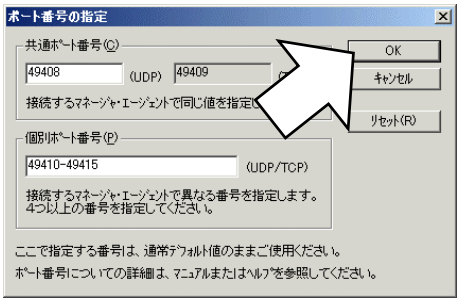
操作③
[個別ポート番号]グループボックスのテキストボックスに、マネージャとエージェントで異なるポート番号を入力します。



■ 個別ポート番号には、マネージャとエージェントの両方で重複しないでポート番号を使用できるように値を指定します。

例） マネージャ側で 49410, 49411, 49412, 49413 の４つのポート番号を使用する場合、エージェント側は、これと一致しないように 49414, 49415, 49416, 49417 と指定します。
なお、個別ポート番号は、４つ以上ならいくつでも指定することができます。また、マネージャとエージェント両方の設定を、49410-49417 と設定することで、マネージャとエージェントの各々に４つずつのポート番号を割り当てることができます。

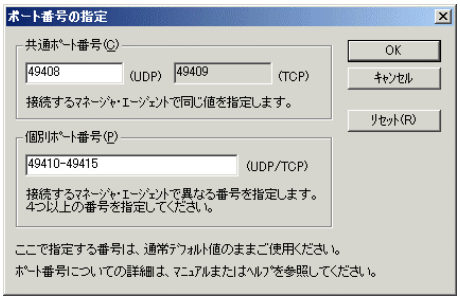
操作④
設定を有効にするには、<OK>ボタンをクリックします。
再起動を促すメッセージが表示されますので、<OK>ボタンをクリックします。



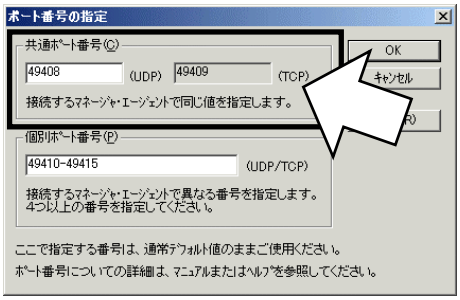
■ <リセット>ボタンをクリックすると、ポート番号が既定値に戻ります。

● エージェント側の操作

操作①
[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウのメニューから、[ツール]- [ポート番号の設定]コマンドを選択します。
〔ポート番号の指定〕ダイアログボックスが表示されます。



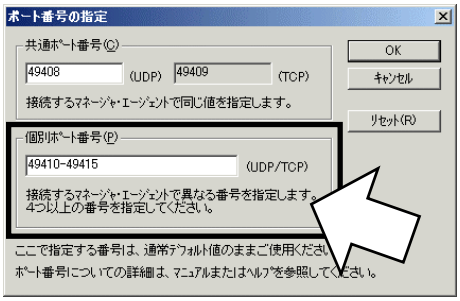
操作②
[共通ポート番号]グループボックスの左側のテキストボックスに、マネージャとエージェントで共通のポート番号を入力します。
右側のテキストボックスには、左側に入力した番号の続きの番号が、自動的に設定されます。



■ 共通ポート番号には連続する 2 つの値が必要です。ここでは先頭の値を指定します。

例） 49408，49409 を指定する場合、49408 のみを指定します。

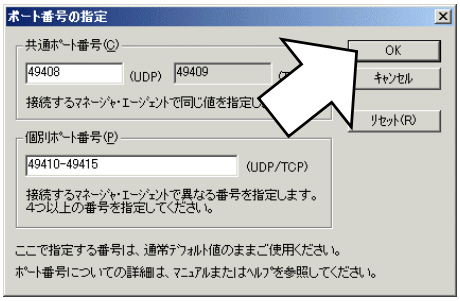
操作③
[個別ポート番号]グループボックスのテキストボックスに、マネージャとエージェントで異なるポート番号を入力します。



■ 個別ポート番号には、マネージャとエージェントの両方で重複しないでポート番号を使用できるように値を指定します。

例） マネージャ側で 49410, 49411, 49412, 49413 の 4 つのポート番号を使用する場合、エージェント側は、これと一致しないように 49414, 49415, 49416, 49417 と指定します。
なお、個別ポート番号は、4 つ以上ならいくつでも指定することができます。また、マネージャとエージェント両方の設定を、49410-49417 と設定することで、マネージャとエージェントの各々に 4 つずつのポート番号を割り当てることができます。

操作④
設定を有効にするには、<OK>ボタンをクリックします。
再起動を促すメッセージが表示されますので、<OK>ボタンをクリックします。



■ <リセット>ボタンをクリックすると、ポート番号が既定値に戻ります。

メモ

インターネット接続環境で、お使いの機器にポート番号の設定が必要な場合に、この操作を行って確認し、ポート番号を指定してください。
なお、通常は、ポート番号を変更する必要はありません。初期値のままでご使用ください。
ポート番号には、半角数値、カンマ(,)、ハイフン(-)が使用できます。ポート番号は、カンマ(,)で区切って指定するか、範囲で指定するか、これらの組み合わせで指定してください。

例） カンマ区切りで指定　　49410,49411,49412,49413
　　範囲で指定　　49410-49413
　　組み合わせで指定　　49410,49413-49415

また、ポート番号として指定できる数値の範囲は、224 から 65535 までです。これ以外の範囲の数値は入力することができません。
Windows のコマンドプロンプト画面で[netstat -a]コマンドを入力すると、現在使用中のポート番号を確認することができます。

注意

共通ポート番号は、接続するマネージャとエージェントで同期を取る必要がありますので、必ずマネージャとエージェントで同じ値を設定してください。

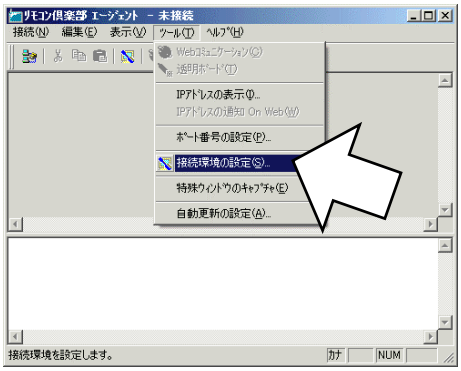
参照

お使いの機器にポート番号の設定が必要かどうかは、それらの機器のマニュアルを参照してください。
ポート番号についての詳細は、それらを記載しているマニュアルや文献を参照してください。
Windows のコマンドプロンプト画面の操作方法については、Windows のマニュアルやヘルプを参照してください。

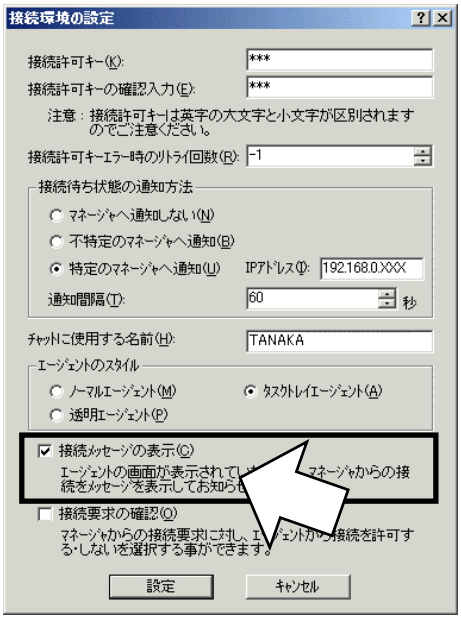
マネージャからの接続時にメッセージを表示する

エージェントのスタイルが[タスクトレイエージェント]または[透明エージェント]の場合のみ、マネージャからの接続時にメッセージを表示することができます。

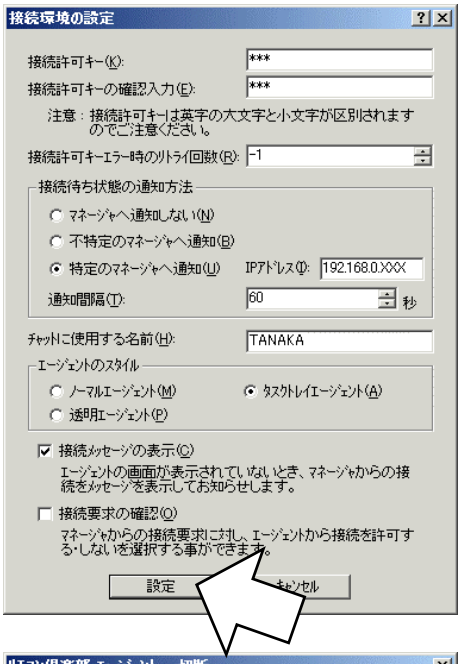
操作①
[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウのメニューから、[ツール]-[接続環境の設定]コマンドを選択します。
〔接続環境の設定〕ダイアログボックスが表示されます。



操作②
[接続メッセージの表示]チェックボックスを ON にします。



操作③
〔接続環境の設定〕ダイアログボックスの<設定>ボタンをクリックします。



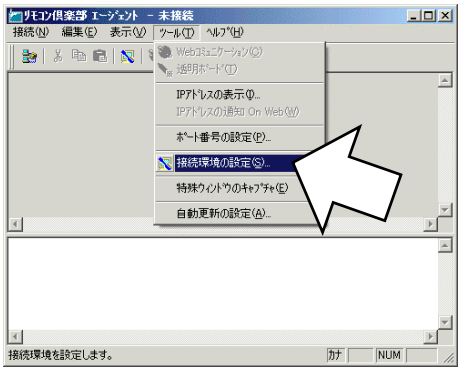
マネージャ側からの接続時に、エージェント側では次のような画面が表示されます。
<OK>ボタンをクリックします。

メモ
設定を有効にするには、一度エージェントを再起動してください。
ここで設定した内容は、〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスにも反映されます。

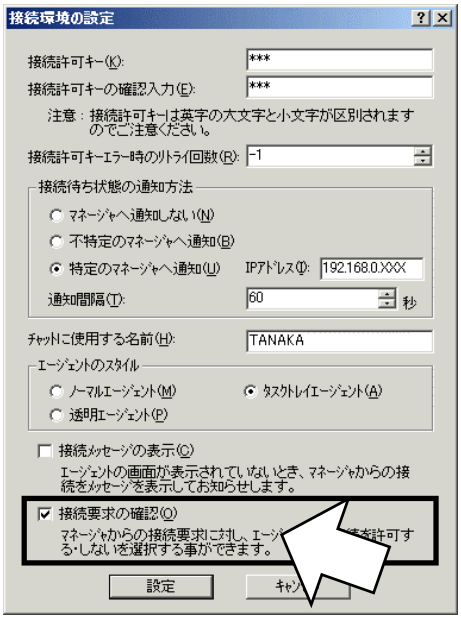
注意
〔接続環境の設定〕ダイアログボックスの<キャンセル>ボタンおよび画面右上の ボタンをクリックすると、設定した内容が保存されずに接続環境の設定が終了されますので、設定した内容を保存する場合は、<設定>ボタンをクリックしてください。
ルーターを越えてマネージャとエージェントが接続されている場合は、マネージャからの接続時にメッセージを表示するように設定しても適用されません。

マネージャからの接続要求のメッセージを表示する

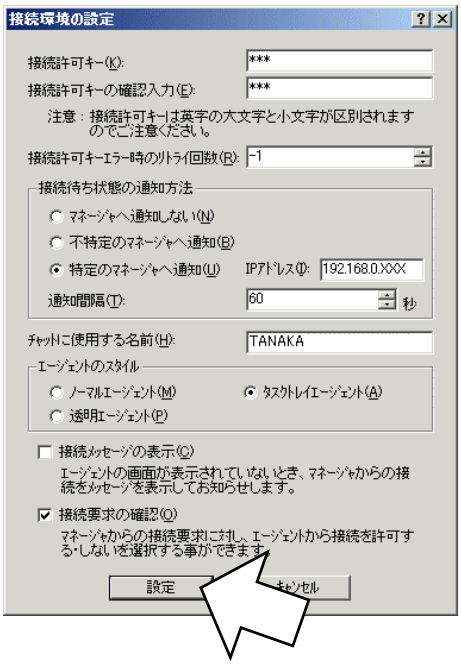
操作①
[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウのメニューから、[ツール]-[接続環境の設定]コマンドを選択します。
〔接続環境の設定〕ダイアログボックスが表示されます。



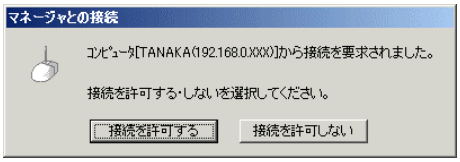
操作②
[接続要求の確認]チェックボックスをONにします。



操作③
〔接続環境の設定〕ダイアログボックスの<設定>ボタンをクリックします。



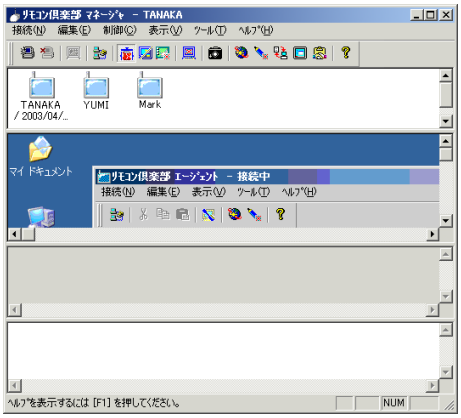
マネージャ側からの接続時に、エージェント側では次のような画面が表示されます。



接続時に、マネージャ側では次のような画面が表示されます。

注意　ルーターを越えてマネージャとエージェントが接続されている場合は、マネージャからの接続要求のメッセージを表示するように設定しても適用されません。

エージェント側で〈接続を許可する〉ボタンがクリックされると、エージェントと接続されます。



エージェント側で〈接続を許可しない〉ボタンがクリックされると、マネージャ側では次のような画面が表示され、接続できません。

メモ

設定を有効にするには、一度エージェントを再起動してください。
エージェント側で接続要求のメッセージを表示することで、マネージャからの接続要求を許可する・しないを選択することができます。
ここで設定した内容は、〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスにも反映されます。
エージェント起動時のスタイルが透明エージェントでログオフされている状態では、〔マネージャとの接続〕ダイアログボックスが表示されるタイミングが違います。Windows NT/2000/XP の場合はログオン後に表示されますが、Windows 98/Me の場合はログオン前に表示されます。

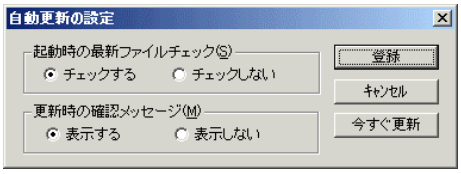
注意

〔接続環境の設定〕ダイアログボックスの〈キャンセル〉ボタンおよび画面右上の ボタンをクリックすると、設定した内容が保存されずに接続環境の設定が終了されますので、設定した内容を保存する場合は、〈設定〉ボタンをクリックしてください。

アップデートモジュールの更新方法を設定する

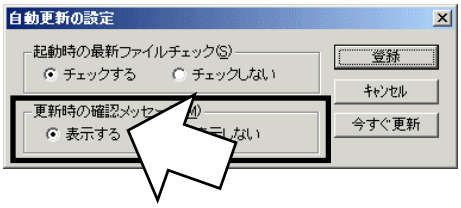
マネージャ/エージェントの起動時に自動更新を実行する

操作①
[リモコン倶楽部 マネージャ/エージェント]ウィンドウのメニューから、[ツール]-[自動更新の設定]コマンドを選択します。
〔自動更新の設定〕ダイアログボックスが表示されます。

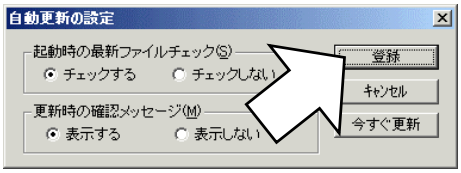


操作②
[起動時の最新ファイルチェック]グループボックスの[チェックする]オプションボタンを選択します。

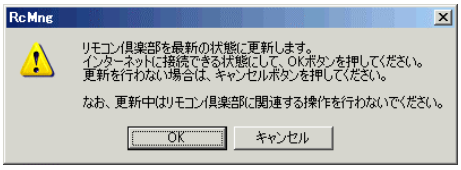
操作③
マネージャ/エージェントの起動時に確認メッセージを表示する場合は、[更新時の確認メッセージ]グループボックスの[表示する]オプションボタンを選択します。



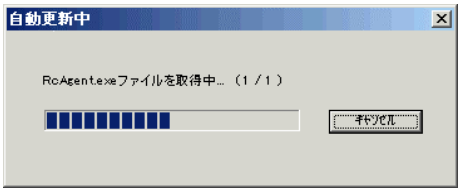
操作④
<登録>ボタンをクリックします。



リモコン倶楽部マネージャ/エージェントを起動すると、次のようなメッセージが表示されますので<OK>ボタンをクリックします。



更新するファイルがあった場合は、自動更新が開始され、次のような画面が表示されます。



パソコンの再起動が必要な場合は、再起動を促すメッセージが表示されます。

更新するファイルがなく、ご使用のリモコン倶楽部のモジュールが最新の状態の場合は、次のようなメッセージが表示されます。

メモ

メンテナンスツールを起動して、〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスの<自動更新>ボタンをクリックすると表示される〔自動更新の設定〕ダイアログボックスからも自動更新の設定を行うことができます。

注意

リモコン倶楽部のアップデートモジュールの更新は、ご使用のパソコンにインストールされているリモコン倶楽部のすべてのファイルを対象に行います。そのため、既にエージェントが起動されている状態でマネージャを起動し、自動更新を行う際、エージェントが更新の対象と認識された場合は一旦エージェントが終了され、更新完了後にエージェントが再起動されます。また、同様に既にマネージャが起動されている状態でエージェントを起動し、自動更新を行う際、マネージャが更新の対象と認識された場合は一旦マネージャが終了され、更新完了後にマネージャが再起動されます。

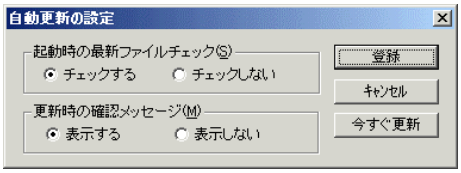
なお、エージェントのスタイルが[透明エージェント]の場合、エージェントの起動時に更新するかどうかのメッセージは表示されません。更新するファイルがあった場合は、自動的に更新されます。

参照

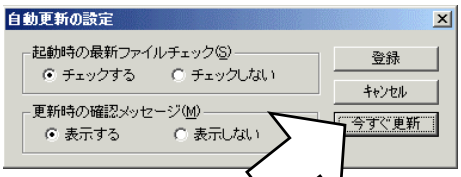
メンテナンスツールを起動する際の操作方法は、前述の「メンテナンスツールの操作」を参照してください。

自動更新を今すぐ実行する

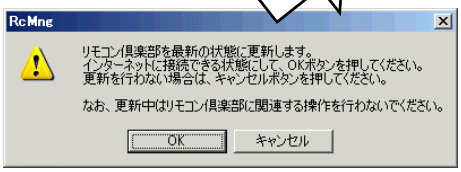
操作①
[リモコン倶楽部 マネージャ/エージェント]ウィンドウのメニューから、[ツール]-[自動更新の設定]コマンドを選択します。
〔自動更新の設定〕ダイアログボックスが表示されます。



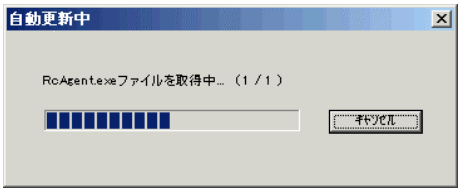
操作②
<今すぐ更新>ボタンをクリックします。



[更新時の確認メッセージ]グループボックスの[表示する]オプションボタンが選択されている場合は、更新時に次のようなメッセージが表示されます。



更新するファイルがあった場合は、自動更新が開始され、次のような画面が表示されます。



パソコンの再起動が必要な場合は、再起動を促すメッセージが表示されます。

更新するファイルがなく、ご使用のリモコン倶楽部のモジュールが最新の状態の場合は、次のようなメッセージが表示されます。

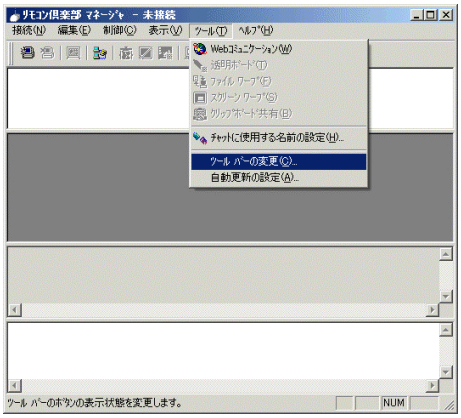
メモ
メンテナンスツールを起動して、〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスの<自動更新>ボタンをクリックすると表示される〔自動更新の設定〕ダイアログボックスからも今すぐ自動更新を実行することができます。

参照
メンテナンスツールを起動する際の操作方法は、前述の「メンテナンスツールの操作」を参照してください。

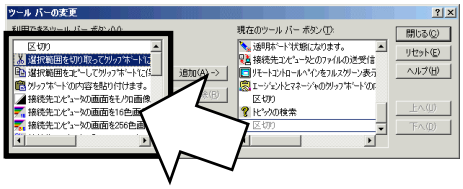
ツールバーをカスタマイズする

● ツールバーのボタンの追加

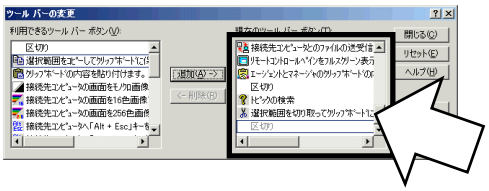
操作①
[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[ツール]-[ツールバーの変更]コマンドを選択します。
〔ツールバーの変更〕ダイアログボックスが表示されます。



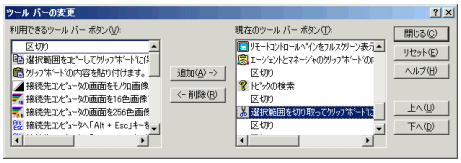
操作②
[利用できるツールバーボタン]リストボックスから、追加したいボタンまたは区切りを選択し、<追加>ボタンをクリックします。



[現在のツールバーボタン]リストボックスに選択したボタンまたは区切りが移動します。
<リセット>ボタンで元の状態に戻ります。



操作③
移動したボタンまたは区切りを選択し、<上へ>ボタンまたは<下へ>ボタンをクリックして、ボタンの表示位置を指定します。



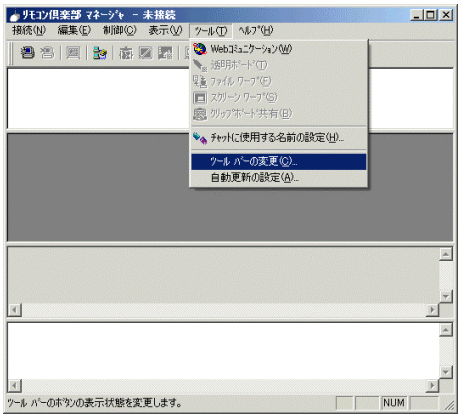
操作④
〈閉じる〉ボタンをクリックします。
選択したボタンまたは区切りが
ツールバーに表示されます。

メモ

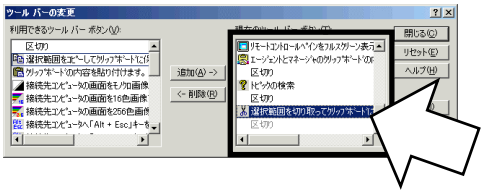
ツールバーのボタンの変更は、[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのみ可能です。

● ツールバーのボタンの削除

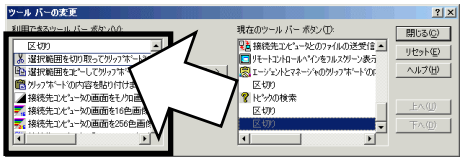
操作①
[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[ツール]-[ツールバーの変更]コマンドを選択します。
〔ツールバーの変更〕ダイアログボックスが表示されます。



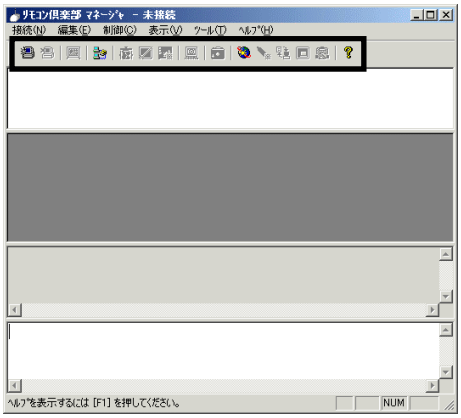
操作②
[現在のツールバーボタン]リストボックスから、削除したいボタンまたは区切りを選択し、<削除>ボタンをクリックします。



[利用できるツールバーボタン]リストボックスに選択したボタンまたは区切りが移動します。
<リセット>ボタンで元の状態に戻ります。



操作③
<閉じる>ボタンをクリックします。
選択したボタンまたは区切りがツールバーから削除されます。



メモ

ツールバーのボタンの変更は、[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのみ可能です。

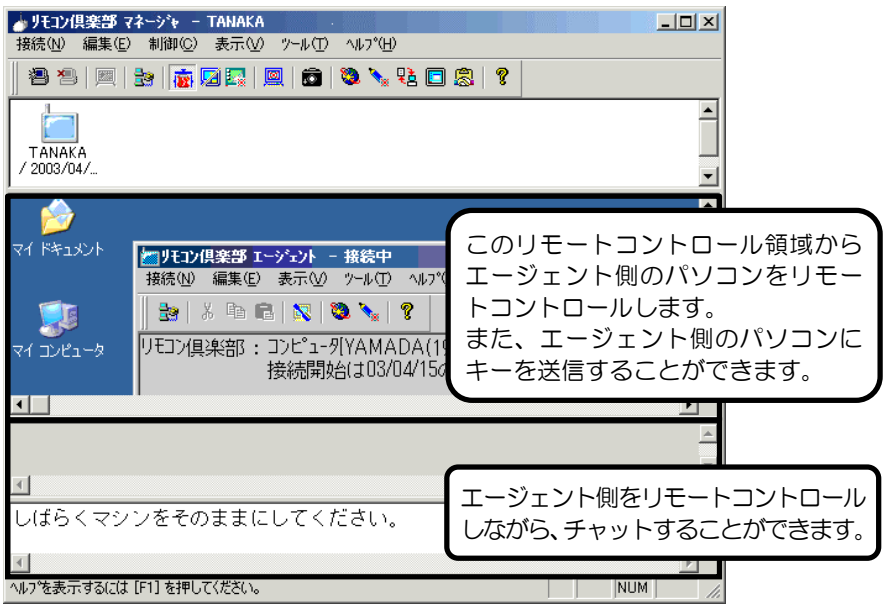
リモコン倶楽部

第6章 リモートコントロール

リモートコントロールする

リモートコントロールの概要

[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのリモートコントロール領域で、マウスによる操作を行ったり、キーボードからキー操作を行い、エージェント側のパソコンを操作することができます。



メモ

エージェント側のパソコン上でエージェントが起動されており、マネージャと接続されていなければ、リモートコントロールすることはできません。
キーボードによるキー操作を行う場合は、エージェント側の日本語入力システムを ON にし、マネージャ側が OFF になっていることを確認してください。
エージェント側で、[MS-DOS プロンプト]ウィンドウをフルスクリーン表示した状態でリモートコントロール操作すると、正常に動作しません。

注意

エージェント起動時のスタイルが[透明エージェント]の場合は、チャットすることはできません。

参照

[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウや[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウを起動する際の操作方法は、『第 3 章 起動と終了』を参照してください。
マネージャとエージェントを接続する際の操作方法は、『第 4 章 接続と切断』を参照してください。
エージェント起動時のスタイルを設定する際の操作方法は、後述の「エージェントのスタイルを設定する」を参照してください。

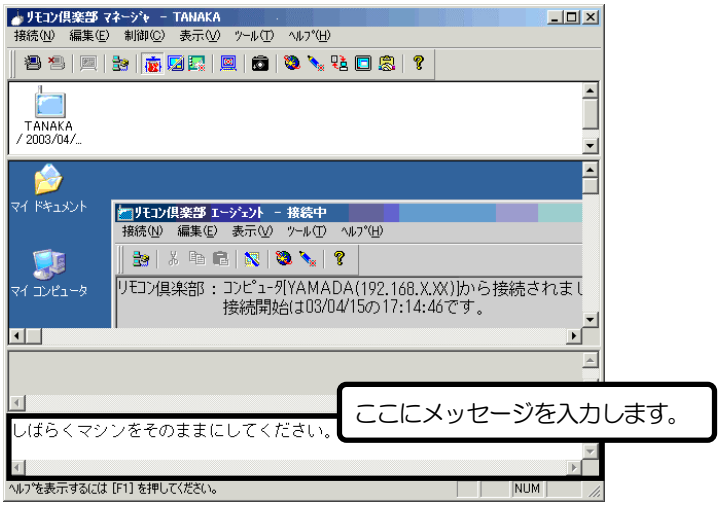
チャットする

メッセージを送信する場合

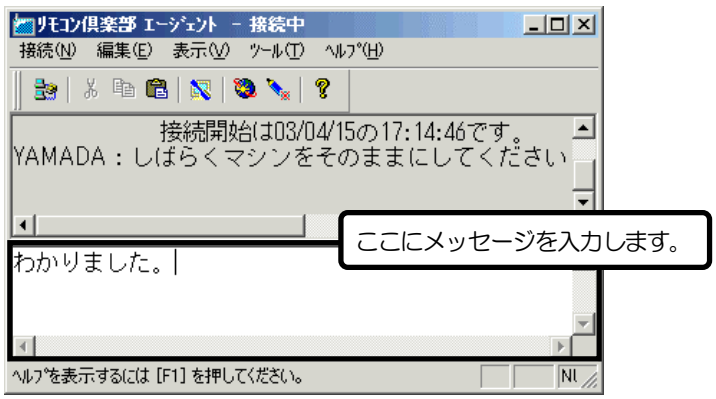
1　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウ、または[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウのチャット領域の下方部をクリックして、アクティブにします。

2　メッセージを入力し、Enterキーを押します。

● マネージャ側



● エージェント側

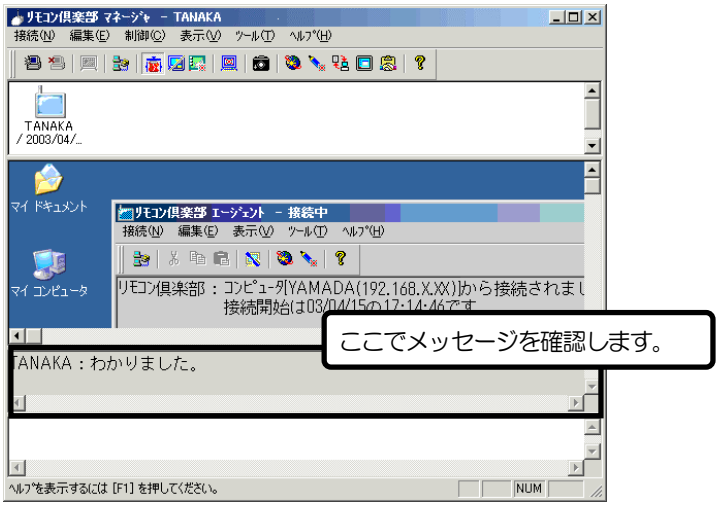


注 意　エージェント起動時のスタイルが[透明エージェント]の場合は、チャットすることはできません。

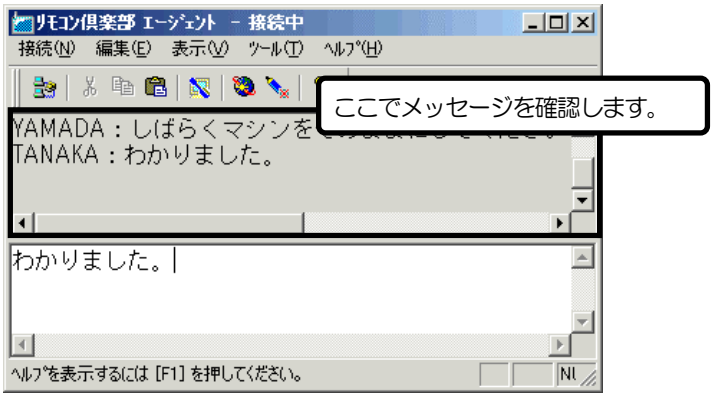
送受信したメッセージを確認する

チャット領域の上方部に、チャットに使用する名前と送受信したメッセージが表示されます。

● マネージャ側



● エージェント側



メッセージを編集する

チャット領域に入力したメッセージ（文字列）は、元に戻す、切り取り、コピー、貼り付けの機能を使って編集することができます。また、チャット領域の上方部に受信したメッセージをコピーすることもできます。

1　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウ、または[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウのチャット領域をクリックしアクティブにしてから、[編集]メニューの次のコマンドを選択するか、ツールバーから次のボタンをクリックします。

コマンド	/	ボタン	説明
元に戻す	/	―	チャット領域で入力した文字列、または元に戻す、切り取り、コピー、貼り付けの操作を元に戻します。
切り取り	/		チャット領域で選択した文字列を切り取って、クリップボードにコピーします。
コピー	/		チャット領域で選択した文字列をクリップボードにコピーします。
貼り付け	/		ポイントした場所にクリップボードの内容を貼り付けます。

メモ　これらのコマンドは、チャット領域で右クリックして表示されるポップアップメニューから選択することもできます。

参照　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのツールバーに目的のボタンがない場合は、『第５章 環境設定』の「ツールバーをカスタマイズする」を参照してください。

チャットに使用する名前を設定する

●マネージャ側の名前を変更する場合

チャットに使用する名前は任意に変更できますので、エージェント側に分かりやすい名前を使ってチャットすることができます。

1　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[ツール]-[チャットに使用する名前の設定]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。

2　〔チャットに使用する名前の設定〕ダイアログボックスが表示されますので、[チャットに使用する名前]テキストボックスに、チャットに使用する名前を入力します。

3　<OK>ボタンをクリックするか、Enter キーを押します。

●エージェント側の名前を変更する場合

チャットに使用する名前は任意に変更できますので、マネージャ側に分かりやすい名前を使ってチャットすることができます。

1　[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウのメニューから[ツール]-[接続環境の設定]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。

2　〔接続環境の設定〕ダイアログボックスが表示されますので、[チャットに使用する名前]テキストボックスに、チャットに使用する名前を入力します。

3　<設定>ボタンをクリックするか、Enter キーを押します。

4　確認メッセージが表示されますので、<OK>ボタンをクリックするか、Enter キーを押します。

メモ　エージェント側での設定を有効にするには、エージェントを再起動してください。チャットに使用する名前は、半角 16 文字(全角 8 文字)以内の名前を入力してください。

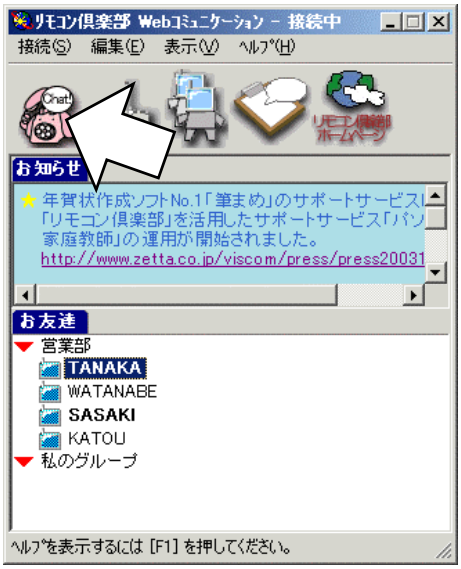
参照　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのツールバーに目的のボタンがない場合は、『第 5 章 環境設定』の「ツールバーをカスタマイズする」を参照してください。

オンリーチャットでチャットする

お互いにWebコミュニケーションを起動して、Webコミュニケーションサーバーに接続していた場合、オンリーチャットでチャットすることができます。

操作①
[リモコン倶楽部 Webコミュニケーション]ウィンドウのお友達リストから、チャットするお友達の名前を選択します。
チャット可能なお友達は、太字で表示されます。

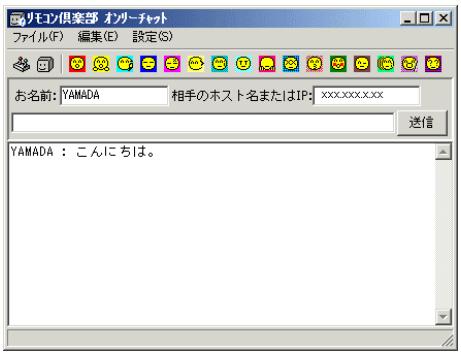
操作②
[リモコン倶楽部 Webコミュニケーション]ウィンドウのツールバーの ボタンをクリックするか、メニューから[接続]-[チャット]コマンドを選択します。



操作③
[リモコン倶楽部 オンリーチャット]ウィンドウが表示されます。

操作④
テキストボックスに文字を入力して〈送信〉ボタンをクリックします。

操作⑤
接続先でも[リモコン倶楽部 オンリーチャット]ウィンドウが表示され、メッセージが受信されます。



メモ

[相手のホスト名または IP]テキストボックスには、操作①で選択したお友達の IP アドレスが表示されます。

注意

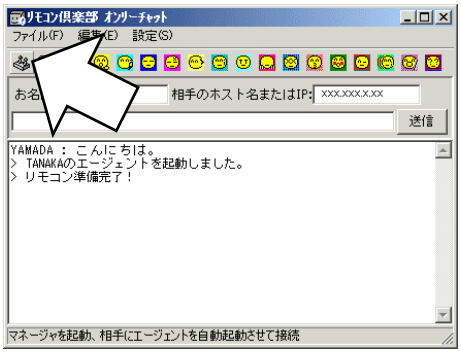
[相手のホスト名または IP]テキストボックスの内容を変更して、別のお友達とチャットすることも可能ですが、グローバル IP アドレスを所有しており、接続が可能なお友達に限ります。
ルータを介してマネージャとエージェントを接続した場合は、オンリーチャットを利用することはできません。

オンリーチャットでは、次のような便利な機能があります。

●接続先のエージェントを自動起動して接続する

マネージャと接続先のエージェントを自動起動し、エージェントに接続することができます。

操作①
[リモコン倶楽部 オンリーチャット]ウィンドウのツールバーのボタンをクリックするか、メニューから[ファイル]-[リモコンする]コマンドを選択します。



●接続先のマネージャを自動起動して接続待機する

エージェントと接続先のマネージャを自動起動し、接続待機することができます。

操作①
[リモコン倶楽部 オンリーチャット]ウィンドウのツールバーのボタンをクリックするか、メニューから[ファイル]-[リモコンされる]コマンドを選択します。

注意

ルータを介してマネージャとエージェントを接続した場合は、自動起動することはできません。

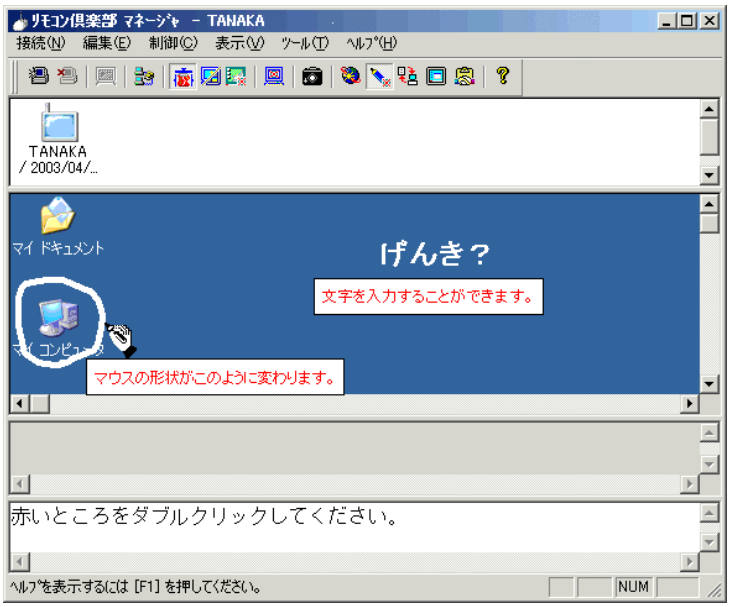
透明ボードを使って描画する

エージェント側のデスクトップ上にマウスで自由に描画したり、文字を入力することができます。

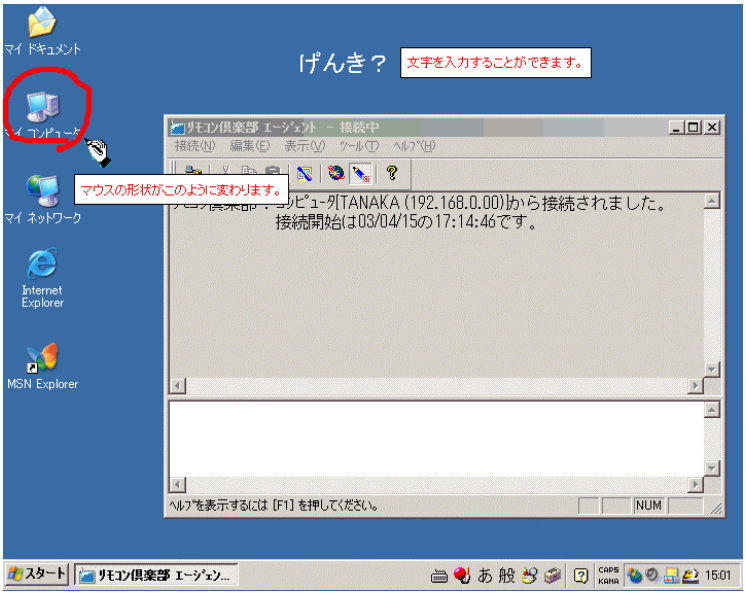
1　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウ、または[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウのメニューから、[ツール]-[透明ボード]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。

2　マウスの形状が変更され、双方で透明ボードを使ってエージェント側のデスクトップ上に描画することができるようになります。

● マネージャ側



● エージェント側



■ 文字を書く場合

マネージャ側はリモートコントロール領域で、エージェント側はデスクトップ上で右クリックして表示されるポップアップメニューから、[文字を書く]コマンドを選択します。文字を入力する位置でクリックするとカーソルが表示されますので、キーボードから入力します。

■ 線を描く場合

マネージャ側はリモートコントロール領域で、エージェント側はデスクトップ上で右クリックして表示されるポップアップメニューから、[線を引く]コマンドを選択します。マウスを左クリックしながらドラッグして線を入力します。

■ 線の太さを変更する場合

マネージャ側はリモートコントロール領域で、エージェント側はデスクトップ上で右クリックして表示されるポップアップメニューから、[線の太さ]コマンドを選択し、サブメニューから目的の線の太さのコマンドを選択します。

■ 文字の大きさを変更する場合

マネージャ側はリモートコントロール領域で、エージェント側はデスクトップ上で右クリックして表示されるポップアップメニューから、[文字の大きさ]コマンドを選択し、サブメニューから目的の文字の大きさのコマンドを選択します。

■ 線や文字の色を変更する場合

マネージャ側はリモートコントロール領域で、エージェント側はデスクトップ上で右クリックして表示されるポップアップメニューから、[色]コマンドを選択し、サブメニューから目的の色のコマンドを選択します。

■ 透明ボードをクリアにする場合

マネージャ側はリモートコントロール領域で、エージェント側はデスクトップ上で右クリックして表示されるポップアップメニューから、[クリア]コマンドを選択します。

■ 透明ボードを終了する場合

❑ マネージャ側

[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから、[ツール]-[透明ボード]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。または、リモートコントロール領域で右クリックして表示されるポップアップメニューから、[終了]コマンドを選択します。

❑ エージェント側

デスクトップ上で右クリックして表示されるポップアップメニューから、[終了]コマンドを選択します。

キーを送信する

エージェント側へのログオン（透明エージェントで Windows NT/2000/XP の場合のみ）や、パソコンのロックの解除、ウィンドウの切り替えやウィンドウのスクリーンショットなどのキー操作で接続先のパソコンをリモートコントロールしたい場合は、キー送信することによって操作を行うことができます。

1　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[制御]-[キー送信]コマンドを選択し、サブメニューから目的のショートカットキーのコマンドを選択します。または、ツールバーから目的のボタンをクリックします。

コマンド	/	ボタン	説明
Alt+Esc キー	/		タスクバーのタスクを切り替えます。
Alt+Tab キー	/		次のウィンドウに切り替えます。
ウィンドウズキー	/		タスクバーのスタートメニューを開きます。
全画面コピー	/		接続先パソコンの画面全体をスクリーンショットし、接続先パソコンのクリップボードにコピーします。
アクティブウィンドウ画面コピー	/		接続先パソコンのアクティブなウィンドウのみをスクリーンショットし、接続先パソコンのクリップボードにコピーします。
IME の On/Off	/		日本語入力システムのON/OFF を切り替えます。
Ctrl+Alt+Del キー	/		Ctrl+Alt+Del のキー送信を行います。

注 意　キーボードによるキー操作を行う場合は、マネージャ側の日本語入力システムが OFF になっていることを確認してください。

参 照　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのツールバーに目的のボタンがない場合は、『第５章 環境設定』の「ツールバーをカスタマイズする」を参照してください。

画像転送を一時停止する

画像転送を一時的に停止することができます。ファイルワープを使って、マネージャ側とエージェント側のパソコンとの間でファイルやフォルダを送受信する場合に、画像転送を一時停止することにより処理を向上することができます。また、接続したままでリモコン倶楽部以外のアプリケーションを使う場合にも便利です。

1　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[制御]-[画像転送の一時停止]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。

メモ

コマンド名の左側やツールバーの ボタンが押されている場合は、エージェント側からの画像転送が一時的に停止されます。もう一度、このコマンドを選択するか ボタンをクリックすると解除されます。

注意

画像転送を一時的に停止した場合、[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウからエージェント側のパソコンをリモートコントロールすることはできません。

最新の画面を表示する

[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのリモートコントロール領域に表示されるエージェント側の画面表示が遅い場合や表示が不鮮明な場合に、エージェント側の最新の画面を表示することができます。

1　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[表示]-[最新の画面を表示]コマンドを選択します。

メモ　画像転送が一時停止されている場合は、このコマンドを選択することができません。

リモートコントロール領域を画面全体に表示する

リモートコントロール領域に表示されているエージェント側のパソコンの画像を、マネージャ側の画面全体に表示（スクリーンワープ機能）することができます。
エージェント側のパソコンの画像を画面全体に表示することにより、自分のパソコンを操作するかのように、エージェント側のパソコンをリモートコントロールすることができます。

1　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[ツール]-[スクリーンワープ]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。

●画面全体表示を解除する場合

リモートコントロール領域を画面全体に表示すると、次のツールバーが画面に表示されます。このツールバーのボタンをクリックすると、リモートコントロール領域の画面全体表示を解除して、元の画面表示状態に戻すことができます。

メモ

リモートコントロール領域を画面全体に表示した場合は、チャット、ファイルワープ機能を使用することができなくなります。
なお、透明ボードを使用する場合は、画面全体表示にする前に、メニューから[ツール]-[透明ボード]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。

閲覧モードで表示する

エージェント側のパソコンの画像を参照したい場合などに、閲覧モードでエージェント側のパソコンの画像を表示することができます。閲覧モードで表示することにより、マネージャ側での不用意な操作がエージェント側に送信されることなく閲覧することができます。

1　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[制御]-[閲覧モード]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。

メモ

コマンド名の左側やツールバーの ボタンが押されている場合は、閲覧モードでエージェント側のパソコンから画像が表示されます。もう一度、このコマンドを選択するか ボタンをクリックすると解除されます。

注意

閲覧モードでは、リモートコントロール、チャット、透明ボード、ファイルワープ機能を使用することができなくなります。

クリップボードの内容を同一にする

マネージャ側とエージェント側でクリップボードの内容を共通にすることができます。

1　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[ツール]-[クリップボード共有]コマンドを選択するか、ツールバーから ボタンをクリックします。

メモ　共有できるクリップボードのデータ内容は、文字列などのテキストデータに限られます。

転送品質を変更する

エージェント側の送信画像の色数が少ないほど、エージェント側からのデータ転送量を減らす事ができるため、リモートコントロール速度を高速化することができます。

1　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[制御]-[転送品質]コマンドを選択し、サブメニューから目的の色数のコマンドを選択します。または、ツールバーから目的の色数のボタンをクリックします。

コマンド	/ ボタン	説明
モノクロ	/	エージェント側の画像が 2 色で転送されます。画面イメージの転送が最もスピードアップします。
16 色	/	エージェント側の画像が 16 色で転送されます。
256 色	/	エージェント側の画像が256色で転送されます。
マネージャに合わせる	/	マネージャの色設定に合わせて転送されます。マネージャがフルカラーの時はフルカラーで転送されます。

メモ　エージェント側のパソコンのディスプレイを 16 色に設定している場合は、256 色に変更することができません。

参照　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのツールバーに目的のボタンがない場合は、『第５章 環境設定』の「ツールバーをカスタマイズする」を参照してください。ご使用の利用回線が低速のため、リモコン倶楽部がスムーズに操作できない場合は、『付録』の「トラブルシューティング」を参照してください。

送信画像を圧縮する

エージェント側の画像を圧縮して送信させることにより、エージェントから送信される画像のデータ転送量を減らす事ができるため、リモートコントロール速度を高速化することができます。

1　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[制御]-[送信画像の圧縮]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。

メモ

コマンド名の左側やツールバーの ボタンが押されている場合は、エージェント側の画像が圧縮されて送信されます。もう一度、このコマンドを選択するか ボタンをクリックすると解除されます。

参照

ご使用の利用回線が低速のため、リモコン倶楽部がスムーズに操作できない場合は、『付録』の「トラブルシューティング」を参照してください。

画面色数を設定する

リモートコントロール接続時に、マネージャ側およびエージェント側のパソコンの画面色数を自動的に 256 色に変更することで、転送される色情報を制御しリモートコントロール速度を高速化することができます。

1　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[制御]-[画面色数の設定]コマンドを選択します。

2　〔画面色数の設定〕ダイアログボックスが表示されますので、マネージャ側の画面色数を 256 色に変更する場合は[マネージャ側]チェックボックスを ON に、エージェント側の画面色数を 256 色に変更する場合は[エージェント側]チェックボックスを ON にします。

3　<OK>ボタンをクリックするか、Enter キーを押します。

メモ　リモートコントロールを切断した場合、画面の色数は設定前の状態に戻ります。

注意　Windows XP をご利用の場合は、画面色数の設定を行っても適用されません。

壁紙を無効にする

エージェント側のパソコンのデスクトップに表示されている壁紙を無効にすることにより、エージェント側からのデータ転送量を減らす事ができるため、リモートコントロール速度を高速化することができます。

1　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[制御]-[壁紙無効]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。

メモ

コマンド名の左側やツールバーの ボタンが押されている場合は、エージェント側のパソコンの壁紙が無効になって送信されます。もう一度、このコマンドを選択するか ボタンをクリックすると解除されます。

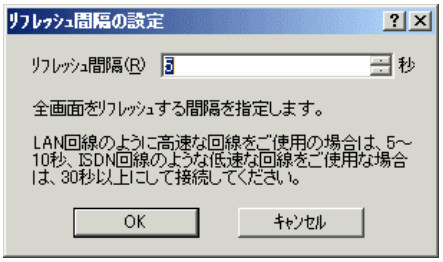
参照

ご使用の利用回線が低速のため、リモコン倶楽部がスムーズに操作できない場合は、『付録』の「トラブルシューティング」を参照してください。

リフレッシュ間隔を設定する

エージェント側から送信された画面の一部がくずれたり、残像が残った場合、それをリフレッシュするための間隔を設定します。
リフレッシュする間隔の値を大きくすると、転送するデータ量を減らす事ができるため、リモートコントロール速度を高速化することができます。

1　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[制御]-[リフレッシュ間隔の設定]コマンドを選択します。
2　〔リフレッシュ間隔の設定〕ダイアログボックスが表示されますので、[リフレッシュ間隔]テキストボックスに、リフレッシュする間隔を秒単位で入力します。
リフレッシュ間隔が設定できる値は5～60秒の間になります。



3　<OK>ボタンをクリックするか、Enterキーを押します。

メモ
設定を有効にするには、マネージャを再起動してください。
LAN 回線のように高速な回線をご使用の場合は 5～10 秒、ISDN 回線のような低速の回線をご使用の場合は、30 秒以上にして接続してください。
なお、リフレッシュ間隔が設定できる値は、5～60 秒の間になります。

参照
ご使用の利用回線が低速のため、リモコン倶楽部がスムーズに操作できない場合は、『付録』の「トラブルシューティング」を参照してください。

表示倍率を変更する

[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのリモートコントロール領域に表示するエージェント側の画像を、目的に合わせて任意の表示倍率に変更することができます。

1 [リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[表示]-[ズーム]コマンドを選択し、サブメニューから目的の表示倍率のコマンドを選択します。または、ツールバーの目的の表示倍率ボタンをクリックします。

コマンド	/	ボタン	説明
50%	/		表示倍率 50%で表示します。
75%	/		表示倍率 75%で表示します。
100%	/		表示倍率 100%で表示します。
150%	/		表示倍率 150%で表示します。
200%	/		表示倍率 200%で表示します。
ウィンドウサイズに合わせる	/		リモートコントロール領域に合わせて、エージェント側の画面全体を表示します。

☞ 参照 [リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのツールバーに目的のボタンがない場合は、『第5章 環境設定』の「ツールバーをカスタマイズする」を参照してください。

接続許可キーを設定する

接続許可キーを設定することにより、接続許可キーを知らないマネージャはエージェント側のパソコンに接続することができません。

1　[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウのメニューから[ツール]-[接続環境の設定]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。

2　〔接続環境の設定〕ダイアログボックスが表示されますので、[接続許可キー]テキストボックスに、接続許可キーを入力します。

3　[接続許可キーの確認入力]テキストボックスに、[接続許可キー]テキストボックスで入力した接続許可キーを再入力します。

4　<設定>ボタンをクリックするか、Enter キーを押します。

5　〔旧接続許可キーの確認〕ダイアログボックスが表示されますので、変更前の接続許可キーを入力し、<OK>ボタンをクリックします。
接続許可キーを設定していなかった場合は、テキストボックスを空白のまま<OK>ボタンをクリックします。

メモ

設定を有効にするには、エージェントを再起動してください。
接続許可キーは、半角 16 文字までの英数字を入力することができ、英字の大文字小文字が区別されます。
なお、接続許可キーエラー時のリトライ回数を設定すると、不正な接続許可キーを指定して接続してきたマネージャに対して、接続をロックします。この場合、一旦エージェントを終了して再起動すると、ロックが解除され、マネージャ側は接続することができるようになります。
また、ここで設定した内容は、〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスにも反映されます。

接続許可キーエラー時のリトライ回数を設定する際の操作方法は、後述の「接続許可キーエラー時のリトライ回数を設定する」を参照してください。

接続許可キーエラー時のリトライ回数を設定する

接続許可キーが設定されている場合、接続許可キーエラー時のリトライ回数を設定すると、リトライ回数以上の不正な接続許可キーを指定して接続してきたマネージャに対して接続をロックします。これにより、不正アクセスを防止することができます。

1　[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウのメニューから[ツール]-[接続環境の設定]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。

2　〔接続環境の設定〕ダイアログボックスが表示されますので、[接続許可キーエラー時のリトライ回数]テキストボックスに、リトライ回数を入力します。

3　<設定>ボタンをクリックするか、Enter キーを押します。

4　確認メッセージが表示されますので、<OK>ボタンをクリックするか、Enter キーを押します。

メモ

設定を有効にするには、エージェントを再起動してください。
「接続許可キーエラー時のリトライ回数」の初期値は、「-1」となっています。リトライ回数を「-1」と設定した場合、エラー時のリトライ回数は制限されません。「0」と設定した場合は、一度でもエラーになると、エージェントに接続することができません。
なお、接続許可キーエラー時のリトライ回数を設定すると、不正な接続許可キーを指定して接続してきたマネージャに対して、接続をロックします。この場合、一旦エージェントを終了して再起動すると、ロックが解除され、マネージャ側は接続することができるようになります。
また、ここで設定した内容は、〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスにも反映されます。
接続許可キーエラー時のリトライ回数は、「接続許可キー」を指定することにより、設定することができます。

参照

接続許可キーを指定する際の操作方法は、前述の「接続許可キーを設定する」を参照してください。

接続待ち情報を受信しないを設定する

エージェントからの接続状態の通知を受信するか受信しないかを設定することができます。
受信するように設定した場合は、エージェントリストに接続可能なエージェントのアイコンが表示されます。受信しないように設定した場合は、エージェントからの接続状態の通知を受信しませんので、エージェントリストには表示されません。

1　[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[表示]-[エージェントリスト]-[接続待ち情報を受信しない]コマンドを選択します。

メモ
コマンド名に(✓)マークが表示されている場合は、エージェントからの接続状態の通知は受信されません。もう一度このコマンドを選択すると、エージェントからの接続状態の通知を受信することができます。
エージェントのアイコンは、エージェントが起動されていて、かつエージェント側で接続待ち状態の通知方法を設定することによりエージェントリストに表示されます。マネージャに通知しないよう設定されている場合は、エージェントリストにアイコンは表示されません。

注意
マネージャがエージェント側の接続状態を受信するには、インターネットや電話回線、LAN などに、マネージャ側とエージェント側の相互のパソコンが接続されている必要があります。
また、マネージャとエージェントでポート番号の同期が取れている必要がありますので、確認してください。

参照
エージェント側で接続待ち状態の通知方法の設定を行う際の操作方法は、後述の「接続待ち状態の通知方法を設定する」を参照してください。
マネージャとエージェントでそれぞれポート番号を設定する際の操作方法は、『第 5 章 環境設定』の「ポート番号を設定する」を参照してください。
ポート番号についての詳細は、それらを記載しているマニュアルや文献を参照してください。

接続待ち状態の通知方法を設定する

接続待ち状態の通知方法を設定することにより、エージェントを起動して接続可能な状態であることをマネージャに通知することができます。

この通知を受け取ったマネージャ側のエージェントリストには、通知したエージェントのアイコンが表示され、マネージャはこのエージェントのアイコンを選択するだけで簡単に接続できます。

1　[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウのメニューから[ツール]-[接続環境の設定]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。

2　〔接続環境の設定〕ダイアログボックスが表示されますので、[接続待ち状態の通知方法]グループボックスから、いずれかのオプションボタンを選択します。

- ❑ [マネージャへ通知しない]オプションボタン

  エージェントを起動して接続可能な状態であることをマネージャに通知しません。
  マネージャ側のエージェントリストにエージェントのアイコンが表示されませんので、マネージャがエージェントに接続するには、エージェントが起動しているかを確認の上、〔エージェントに接続〕ダイアログボックスからコンピュータ名または IP アドレスを入力し、必要であれば接続許可キーを入力すると接続することができます。

- ❑ [不特定のマネージャへ通知]オプションボタン

  エージェントを起動して接続可能な状態であることを不特定のマネージャに通知します。不特定のマネージャ側のエージェントリストにエージェントのアイコンが表示されます。
  [通知間隔]テキストボックスに、秒単位でマネージャに通知する間隔を入力します。

- ❑ [特定のマネージャへ通知]オプションボタン

  エージェントを起動して接続可能な状態であることを特定のマネージャに通知します。特定のマネージャ側のエージェントリストにエージェントのアイコンが表示されます。

  このオプションボタンを選択した場合は、[IP アドレス]テキストボックスにマネージャ側のパソコンの IP アドレスを入力します。
  [通知間隔]テキストボックスに、秒単位でマネージャに通知する間隔を入力します。

３　〈設定〉ボタンをクリックするか、Enterキーを押します。

４　確認メッセージが表示されますので、〈OK〉ボタンをクリックするか、Enterキーを押します。

メモ

設定を有効にするには、エージェントを再起動してください。
マネージャから接続されたエージェントは、エージェントの接続環境の設定に関わらず、マネージャ側のエージェントリストに表示されます。
なお、エージェントを終了した場合は、マネージャ側のエージェントリストの内容が自動更新されます。
また、マネージャ側で接続状態の通知を受信しないよう設定してある場合は、通知したエージェントのアイコンは表示されません。
また、ここで設定した内容は、〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスにも反映されます。

注意

エージェントがマネージャ側に接続状態を通知するには、インターネットや電話回線、LAN などに、マネージャ側とエージェント側の相互のパソコンが接続されている必要があります。
また、マネージャとエージェントでポート番号の同期が取れている必要がありますので、確認してください。

参照

マネージャ側で接続状態の通知を受信しないよう設定を行う際の操作方法は、前述の「接続待ち情報を受信しないを設定する」を参照してください。
マネージャとエージェントでそれぞれポート番号を設定する際の操作方法は、『第 5 章 環境設定』の「ポート番号を設定する」を参照してください。
ポート番号についての詳細は、それらを記載しているマニュアルや文献を参照してください。

エージェントのスタイルを設定する

エージェントの起動時のスタイル（表示方法）を設定することができます。

1　[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウのメニューから[ツール]-[接続環境の設定]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。

2　〔接続環境の設定〕ダイアログボックスが表示されますので、[エージェントのスタイル]グループボックスから、オプションボタンを選択します。

- ❑ [ノーマルエージェント]オプションボタン

  通常のエージェントとして起動します。

- ❑ [タスクトレイエージェント]オプションボタン

  エージェントを起動すると、エージェントはアイコン化されタスクトレイに格納されます。

- ❑ [透明エージェント]オプションボタン

  エージェントを起動してもウィンドウやタスクトレイには表示されません。エージェントを起動していることを相手に意識させずにコントロールしたり閲覧することができます。
  また、このエージェントの場合のみ、ログオフを行ってもエージェントは動作し続け、リモートコントロールを行うことができます。

3　<設定>ボタンをクリックするか、Enterキーを押します。

4　確認メッセージが表示されますので、<OK>ボタンをクリックするか、Enterキーを押します。

メモ　設定を有効にするには、エージェントを再起動してください。
また、ここで設定した内容は、〔リモコン倶楽部 メンテナンスツール〕ダイアログボックスにも反映されます。
なお、エージェントのスタイルを[透明エージェント]で起動するには、メンテナンスツールよりサービスの設定を行う必要があります。

注意　エージェント起動時のスタイルが[透明エージェント]の場合は、マネージャはエージェントとチャットすることはできません。また、[リモコン倶楽部 エージェント]ウィンドウからエージェントを操作することはできません。

参照　メンテナンスツールよりサービスの設定を行う際の操作方法は、『第 5 章 環境設定』の「メンテナンスツールの操作」を参照してください。

リモコン倶楽部

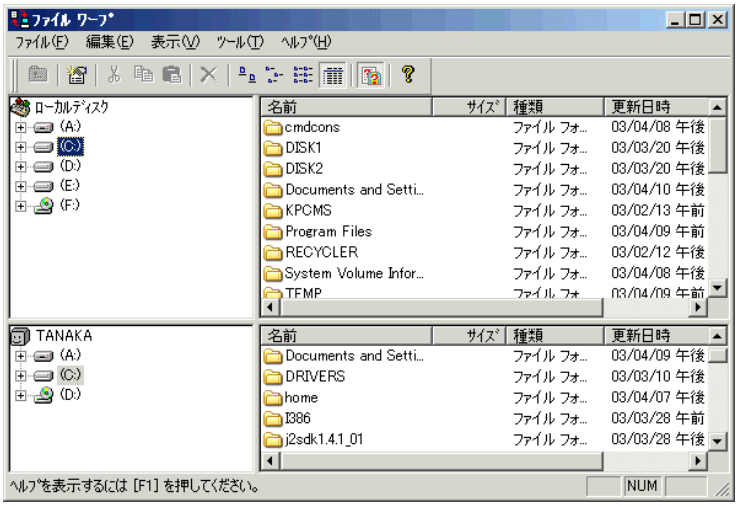
第７章 ファイルの送受信

ファイルワープの概要

ファイルワープを起動すると表示される[ファイル ワープ]ウィンドウに、マネージャ側とエージェント側のパソコンのフォルダの階層構造が表示されます。

[ファイル ワープ]ウィンドウを使用して、ファイルやフォルダのコピー、切り取り、貼り付けなどエクスプローラと同様の操作で、マネージャ側やエージェント側のパソコンのファイルやフォルダを簡単に操作（送受信）することができます。

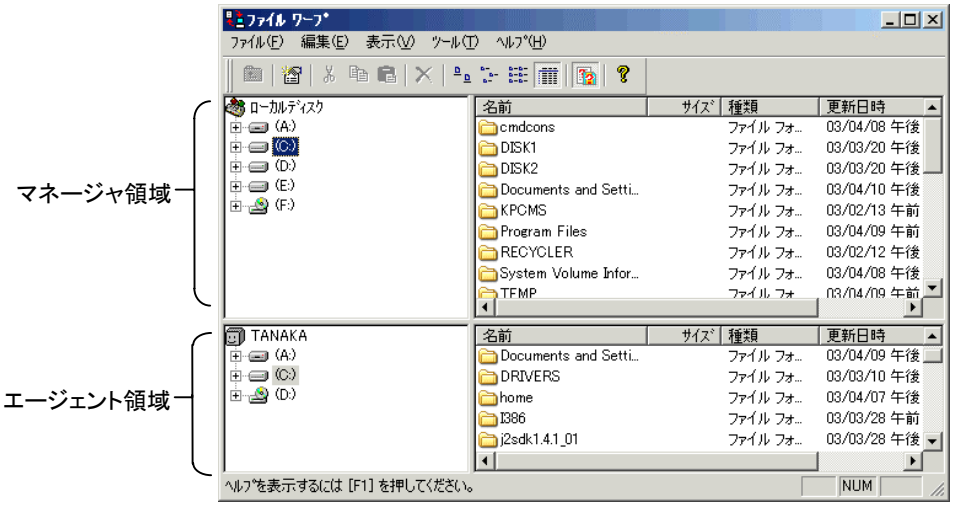
また、[ファイル ワープ]ウィンドウでは、表示されたマネージャ側とエージェント側のパソコンのフォルダの階層構造を参照したり、フォルダに格納されているファイル名を表示したり、アイコンの表示方法の選択などを行うことができます。



ファイルワープの起動と終了

ファイルワープを起動する

[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[ツール]-[ファイルワープ]コマンドを選択するか、ツールバーから ボタンをクリックします。



ファイルワープを終了する

[ファイル ワープ]ウィンドウのメニューから[ファイル]-[終了]コマンドを選択するか、画面右上の ボタンをクリックします。

■ マネージャの終了や、エージェントを切断した場合、ファイルワープも終了されます。

注 意

閲覧モードでマネージャがエージェントに接続している場合は、ファイルワープを行うことはできません。

ファイルやフォルダを操作する

[ファイル ワープ]ウィンドウのマネージャ領域やエージェント領域から、ファイルやフォルダを操作することにより、マネージャ側やエージェント側のパソコンの中のファイルやフォルダを操作することができます。

● フォルダの階層構造を表示する場合

1つ上の階層のフォルダに戻るには、ツールバーの ボタンをクリックするか、または BackSpace キーを押します。
フォルダ名に表示されている記号（＋、－）をクリックすると、フォルダの下のフォルダを表示したり、折りたたむことができます。
左側の上下のボックスには、パソコンの中の全てのフォルダが表示されます。
右側の上下のボックスには、左側のボックスで開いているフォルダが表示されます。

● 最新の情報に更新する場合

パソコンの最新の情報を表示するには、メニューから[表示]-[最新の情報に更新]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。
マネージャ側のパソコンの最新の情報を表示する場合は、メニューから[表示]-[ローカルディスクを最新の情報に更新]コマンドを選択するか、マネージャ領域で右クリックして表示されるポップアップメニューの[最新の情報に更新]コマンドを選択します。
エージェント側のパソコンの最新の情報を表示する場合は、メニューから[表示]-[リモートディスクを最新の情報に更新]コマンドを選択するか、エージェント領域で右クリックして表示されるポップアップメニューの[最新の情報に更新]コマンドを選択します。

● ファイルやフォルダを選択する場合

連続しているフォルダやファイルを選択する場合は、Shiftキーを押しながら目的のファイルやフォルダをクリックします。
連続していないフォルダやファイルを選択する場合は、Ctrlキーを押しながら目的のファイルやフォルダをクリックします。
また、[編集]メニューには次のような便利なコマンドがあります。

コマンド	/	ボタン	説明
すべて選択	/	―	カーソルが置かれ開いているフォルダ内のファイルやフォルダを全て選択します。
選択切り替え	/	―	カーソルが置かれ開いているフォルダ内で選択しているファイルやフォルダと、選択していないファイルやフォルダを切り替えます。

● ファイルやフォルダの表示方法を変更する場合

右側の上下のボックスに表示されているファイルやフォルダの表示方法は、次の[表示]メニューのコマンドやツールバーのボタンを使って変更することができます。

コマンド	/	ボタン	説明
大きいアイコン	/		大きいアイコンで表示します。
小さいアイコン	/		小さいアイコンで表示します。
一覧	/		ファイル名、またはフォルダ名で表示します。
詳細	/		ドキュメント情報を含む項目が一覧表示されます。

また、ファイルやフォルダを並べ替える場合は、[ツール]-[アイコンの整列]メニューのコマンドを使って変更することができます。
一度目にコマンドを選択した場合は昇順に、同じコマンドを再度選択すると降順に並べ替えることができます。

コマンド	/	ボタン	説明
名前順	/	―	名前順に並べ替えます。
種類順	/	―	種類順に並べ替えます。
サイズ順	/	―	サイズ順に並べ替えます。
日付順	/	―	日付順に並べ替えます。

● フォルダを新規作成する場合

1　フォルダを新規に作成する場所を選択します。

2　[ファイルワープ]ウィンドウのメニューから[ファイル]-[フォルダの新規作成]コマンドを選択するか、右クリックして表示されるポップアップメニューの[フォルダの新規作成]コマンドを選択します。

● フォルダやファイルを削除する場合

1　削除するファイルやフォルダを選択します。

2　[ファイルワープ]ウィンドウのメニューから[ファイル]-[削除]コマンドを選択するか、右クリックして表示されるポップアップメニューの[削除]コマンドの選択、または、Delキーで削除ができます。

■ ローカルディスクのファイルやフォルダを削除した場合は、ローカルディスクのごみ箱に入ります。エージェント側のファイルやフォルダを削除した場合は、ごみ箱に入らずに直接削除されます。

● ファイルやフォルダの名前を変更する場合

1　名前を変更するファイルやフォルダを選択します。

2　[ファイルワープ]ウィンドウのメニューから[ファイル]-[名前の変更]コマンドを選択するか、右クリックして表示されるポップアップメニューの[名前の変更]コマンドを選択します。

3　変更する名前を入力し、Enterキーを押します。

● フォルダやファイルを切り取り/コピー/貼り付ける場合

[ファイル ワープ]ウィンドウでは、[編集]メニューまたは右クリックして表示されるポップアップメニューの[切り取り]、[コピー]、[貼り付け]コマンドを使って、接続先のパソコンとの間でファイルやフォルダを送受信することができます。

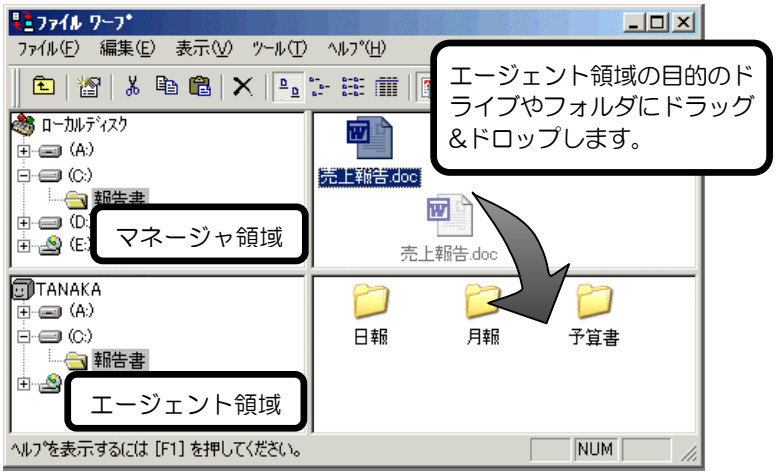
コマンド	/	ボタン	説明
切り取り	/		選択したファイルやフォルダを切り取ります。切り取られたファイルやフォルダは、[貼り付け]コマンドを使って、接続先のパソコンの任意の場所に送信することができます。
コピー	/		選択したファイルやフォルダをコピーします。コピーされたファイルやフォルダは、[貼り付け]コマンドを使って、接続先のパソコンの任意の場所に送信することができます。
貼り付け	/		[切り取り]、[コピー]コマンドでコピーされたファイルやフォルダを、カーソルのある場所に貼り付けます。接続先のパソコンに貼り付けた場合は、ファイルやフォルダが送信されて、カーソルがある場所にコピーされます。

ファイルを送受信する

エージェント側にファイルやフォルダを送信する

1　マネージャ領域から、エージェント側に送信する目的のファイルやフォルダを選択します。

2　ファイルやフォルダを受信する際のコピー先として、エージェント領域のドライブやフォルダに、選択したファイルやフォルダをドラッグ&ドロップします。

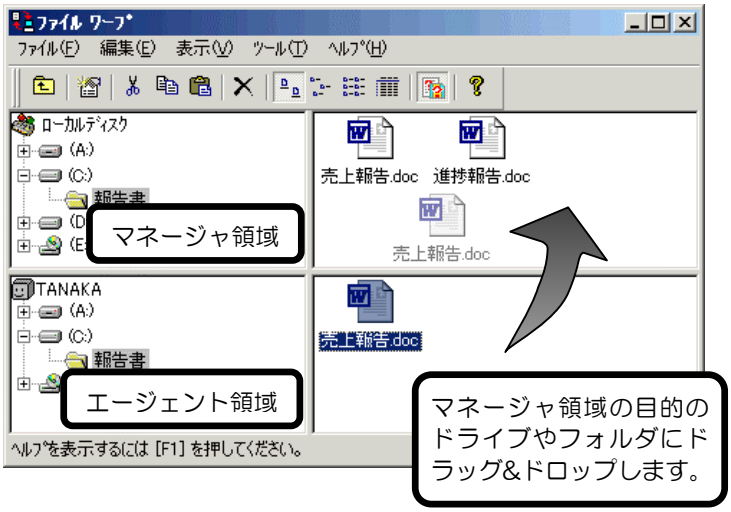


注 意　閲覧モードでマネージャがエージェントに接続している場合は、ファイルワープを行うことはできません。

エージェント側のファイルやフォルダを受信する

１　エージェント領域から、マネージャ側に送信する目的のファイルやフォルダを選択します。

２　ファイルやフォルダを受信する際のコピー先として、マネージャ領域のドライブやフォルダに、選択したファイルやフォルダをドラッグ&ドロップします。



注 意　閲覧モードでマネージャがエージェントに接続している場合は、ファイルワープを行うことはできません。

ファイルを送受信する際の注意および制限事項

■ [ファイル ワープ]ウィンドウにパソコンの最新状態を表示するには、[表示]メニューから次のコマンドを選択してください。

コマンド	/ ボタン	説明
最新の情報に更新	/ ー	マネージャ側とエージェント側のパソコンの最新の情報を表示します。
ローカルディスクを最新の情報に更新	/ ー	マネージャ側のパソコンの最新の情報を表示します。
リモートディスクを最新の情報に更新	/ ー	エージェント側のパソコンの最新の情報を表示します。

■ [編集]メニューの[切り取り]、[コピー]、[貼り付け]コマンドやツールバーのボタンを使って、接続先のパソコンとの間でファイルやフォルダを送受信することができます。マウスの右ボタンをクリックすると表示されるポップアップメニューから選択することもできます。

■ ドラッグ&ドロップによる送信を行った場合、送信元のファイルが移動削除されることはありません。

■ ネットワークドライブは表示されません。

■ フォルダを送信した場合、指定したフォルダの階層下のサブフォルダも含めて送信されます。

■ ファイルやフォルダを送信した際に、エージェント側に既に同じフォルダ名やファイル名が存在する場合は、ファイルを上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。上書きする場合は、〈はい〉ボタンを、全てのファイルを上書きする場合は〈すべて上書き〉ボタンをクリックします。ファイルを上書きしない場合は〈いいえ〉ボタンを、全てのファイルの上書きをスキップする場合は〈すべてスキップ〉ボタンをクリックします。〈キャンセル〉ボタンをクリックすると、処理が中止されます。

■ エージェント側にファイルを送信したりファイルやフォルダを変更した場合、エージェント側にはメッセージの表示はされませんので、エージェントとチャットして伝達することをお勧めします。

■ ローカルディスクのファイルやフォルダを削除した場合は、ローカルディスクのごみ箱に入ります。エージェント側のパソコンのファイルやフォルダを削除した場合は、ごみ箱に入らずに直接削除されます。

■ データを暗号化し圧縮して送信する場合は、メニューから[ツール]-[送受信データの暗号化]コマンドを選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。送受信データの暗号化は、リモコン倶楽部の独自方式により、データが暗号化されると同時に圧縮されて送信されます。データを暗号化し圧縮することにより、ファイルやフォルダの送信処理を早くすることができます。なお、コマンド名の左側やツールバーの ボタンが押されている場合は、データが暗号化され圧縮されて送信されます。もう一度、このコマンドを選択するか ボタンをクリックすると、暗号化および圧縮されずに送信されます。

リモコン倶楽部

付　録

トラブルシューティング

マネージャとエージェントが接続できなかった場合、または接続中に何らかのトラブルが発生しリモートコントロールできなくなった場合は、次の操作を行って対処してください。
また、記載されている以外のトラブルについては、弊社ホームページ（http://www.zetta.co.jp/viscom/rc/rc_faq.htm）を参照してください。

Q1. エージェント側のコンピュータで「リモコン倶楽部 エージェント」を起動しているが、マネージャ側のコンピュータが接続できなかった。

A1. エージェントの接続環境の設定で、接続許可キーが設定されていた場合、接続許可キーを知らないマネージャは接続することができません。エージェントに問い合わせてください。

A2. A1. 以外の場合は、エージェント側のコンピュータの「リモコン倶楽部 エージェント」を一旦終了し、再起動します。マネージャ側は、エージェント側が「リモコン倶楽部 エージェント」を再起動したのを確認の上、再接続してください。

A3. 相互のコンピュータがインターネットや電話回線、LAN などのネットワークを使用して接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、相互のコンピュータを接続してから、次の操作を行ってください。

※ 電話回線を使用して直接接続する際に必要な設定については、後述の「Q3.電話回線による直接接続ができなかった。」を参照してください。

- ❑ **エージェント側の操作**

  エージェント側のコンピュータの「リモコン倶楽部 エージェント」を一旦終了し、再起動します。

- ❑ **マネージャ側の操作**

  マネージャ側のコンピュータの「リモコン倶楽部 マネージャ」を一旦終了し、再起動し、エージェントに接続します。

Q2. Q1 の対処方法の操作を行っても接続できなかった。

A1.　通常、コンピュータ名を指定してエージェントに接続しますが、コンピュータ名の代わりに接続先のコンピュータの IP アドレスを指定して接続します。

※ ダイヤルアップによるプロバイダ経由でのインターネット接続や、電話回線による直接接続の場合は、接続した状態で次の操作を行ってください。

❑ エージェント側の操作

1. [リモコン倶楽部　エージェント]ウィンドウのメニューから[ツール]-[IP アドレスの表示]コマンドを選択します。〔IP アドレス表示〕ダイアログボックスが表示されます。
2. エージェント側のコンピュータで現在設定されている IP アドレスがリストボックスに表示されます。内容を確認したら、〈OK〉ボタンをクリックします。

※ IP アドレスが複数設定してある場合は、リストボックスにスクロールバーが表示されます。

3. IP アドレスをマネージャ側に連絡します。

❑ マネージャ側の操作

1. [リモコン倶楽部　マネージャ]ウィンドウのメニューから[接続]-[接続]コマンドを選択します。〔エージェントに接続〕ダイアログボックスが表示されます。
2. [コンピュータ名]テキストボックスに、接続するコンピュータの IP アドレスを入力します。
3. 接続するエージェントに「接続許可キー」が設定されている場合は、[接続許可キー]テキストボックスに、エージェントで設定されている「接続許可キー」を入力します。
4. 〈接続〉ボタンをクリックします。

Q3. エージェント側のコンピュータでキーが入力できなくなったり、マウスの操作ができなくなった。

A. マネージャとエージェントの接続中に、マネージャ側のキーボードから Ctrl ＋ Alt ＋ Del キーを押すと、エージェント側のキーボード操作やマウスでの操作ができなくなる場合があります。次の操作を行って解除してください。

- ❑ エージェント側の操作

  エージェント側のキーボードから Ctrl ＋ Alt キーを押します。

- ❑ マネージャ側の操作

  マネージャ側から操作でエージェント側のコンピュータの Ctrl ＋ Alt キーを押します。

Q4. リモートコントロールを行っている最中に何らかの原因で操作できなくなった。

A. 次の操作を行って接続し直します。

- ❑ エージェント側の操作

  エージェント側のコンピュータの「リモコン倶楽部 エージェント」を一旦終了し再起動します。

- ❑ マネージャ側の操作

  マネージャ側のコンピュータの「リモコン倶楽部 マネージャ」を一旦終了し再起動します。
  エージェントに接続します。

Q5. 使用回線が低速回線なので、「リモコン倶楽部」がスムーズに操作できない。

A. 次の操作を行うことにより、受信するデータ量を減少させ「リモコン倶楽部」をスムーズに操作することができます。

- ❑ リフレッシュ間隔の設定（P.148 参照）
- ❑ 転送品質の設定（P.144 参照）
- ❑ 送信画像の圧縮（P.145 参照）
- ❑ 壁紙の無効（P.147 参照）

Q6. 電話回線による直接接続ができなかった。

A1. 着信側のコンピュータにリモートアクセスサービス(Windows NT/2000/XP の場合)か、ダイヤルアップサーバー(Windows 98/Me の場合)がセットアップされているかを確認し、ダイヤルアップサーバーとして着信するよう次の操作を行ってください。
また、リモートコントロールを行う双方のコンピュータにTCP/IP が設定され、IP アドレスが設定されているか確認してください。

※ ダイヤルアップ接続する際の着信側と発信側のコンピュータは、マネージャまたはエージェントのいずれでもかまいません。

※ 電話回線による直接接続を行う場合、リモートアクセスサービスおよびダイヤルアップサーバーの設定で使用するネットワークプロトコルに「TCP/IP」が選択されていることが必要です。

※ リモートアクセスサービスの詳細な設定方法については、Windows NT/2000/XP のマニュアルやヘルプを、ダイヤルアップサーバーの詳細な設定方法については、Windows 98/Me および Microsoft® Plus!のマニュアルやヘルプを参照してください。

※ IP アドレスは、双方の設定が重複しないようにしてください。

※ TCP/IP、IP アドレスに関する詳細な内容については、それらを記述している文献などを参照してください。

❑ Windows 98/Me の場合

OS が Windows 98/Me でダイヤルアップ接続ができなかった場合は、次の確認項目を確認し、再度ダイヤルアップ接続を行ってください。

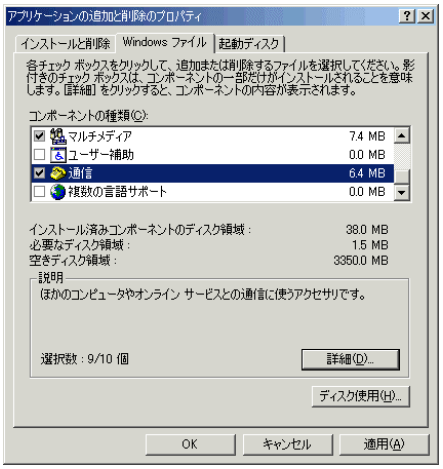
※ お使いのコンピュータの OS 環境により、以下の説明と実際に表示される画面や操作が異なる場合があります。
その際の詳細な操作方法については、Windows のマニュアルやヘルプを参照してください。

確認項目 1

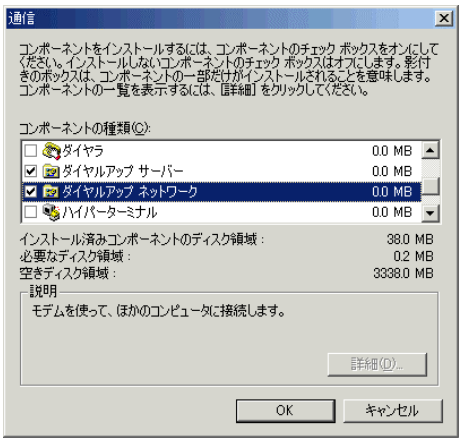
ダイヤルアップネットワークのセットアップ
（発信側・着信側共に必要です。）

[スタート]メニューから[プログラム]-[アクセサリ]を選択します。
このとき、「ダイヤルアップネットワーク」が表示されていない場合、ダイヤルアップネットワークのセットアップが必要です。
次の操作に従って、ダイヤルアップネットワークをセットアップしてください。

1.[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]コマンドを選択します。
2. [アプリケーションの追加と削除]アイコンを選択します。
3. 〔アプリケーションの追加と削除のプロパティ〕ダイアログボックスの[Windows ファイル]タブをクリックし、[コンポーネントの種類]リストボックスの[通信]チェックボックスを ON にし、<詳細>ボタンをクリックします。



4. 〔通信〕ダイアログボックスの[ダイヤルアップネットワーク]チェックボックスを ON にし、<OK>ボタンをクリックします。



5. 〔アプリケーションの追加と削除のプロパティ〕ダイアログボックスの〈OK〉ボタンをクリックします。

6.画面の指示に従って操作を行い、コンピュータを再起動します。

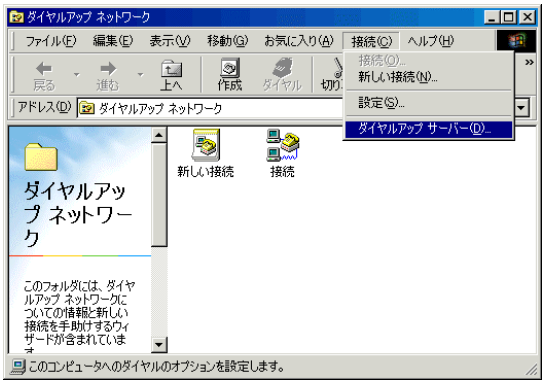
確認項目 2

ダイヤルアップサーバーの設定

（着信側に必要です。）

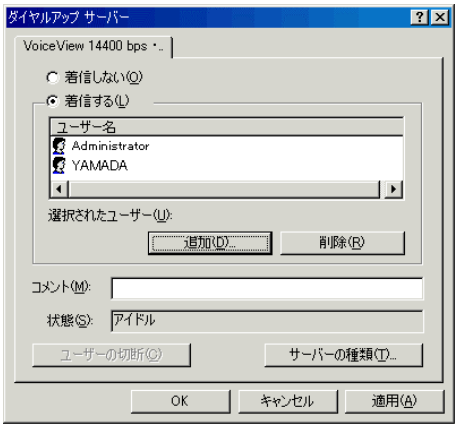
OS が Windows 98/Me の場合は、前述の確認項目 1 の 4.の操作で[ダイヤルアップ ネットワーク]チェックボックスを[ダイヤルアップ サーバー]チェックボックスに読み替えてダイヤルアップサーバーをセットアップしてください。
ダイヤルアップサーバーをセットアップ後、次の操作に従って、ダイヤルアップサーバーの設定を行ってください。

1. ダイヤルアップネットワークを起動します。
2. [接続]メニューから、[ダイヤルアップサーバー]コマンドを選択します。

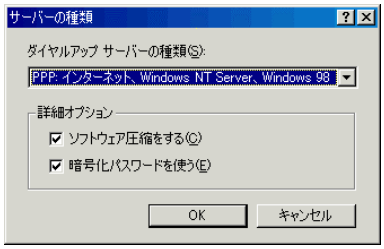


※ コマンドが表示されない場合は、ダイヤルアップサーバーがセットアップされていません。

3. 〔ダイヤルアップサーバー〕ダイアログボックスの[着信する]オプションボタンをクリックし、<サーバーの種類>ボタンをクリックします。



4. 〔サーバーの種類〕ダイアログボックスの[サーバーの種類]コンボボックスから[PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98]を選択し、<OK>ボタンをクリックします。



※ Windows Me の場合は、[ダイヤルアップサーバーの種類]コンボボックスから[PPP:インターネット、Windows2000/NT、Windows Me]を選択します。

5. 〔ダイヤルアップサーバー〕ダイアログボックスの<OK>ボタンをクリックします。

確認項目 3

TCP/IP プロトコルおよび IP アドレスの設定

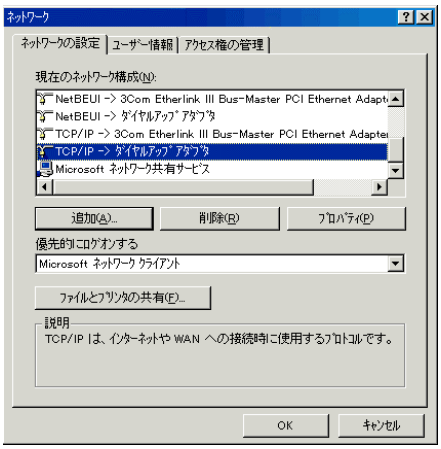
（発信側・着信側共に必要です。）

次の操作に従って、TCP/IP プロトコルおよび IP アドレスの設定を行ってください。

※ Windows Me の場合は、[ダイヤルアップ アダプタ]のプロパティの設定を行う必要はありません。

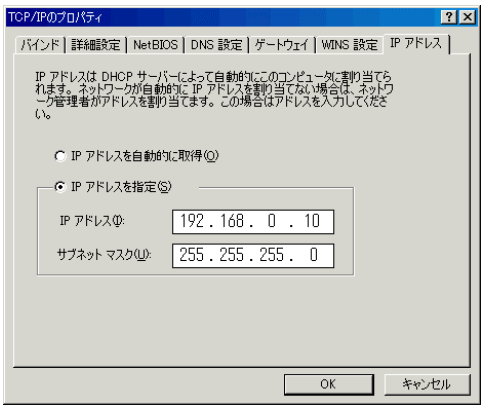
発信側と着信側の設定

1. デスクトップの[マイコンピュータ]-[コントロールパネル]-[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
2. 〔ネットワーク〕ダイアログボックスの[ネットワークの設定]タブを選択し、[現在のネットワーク構成]リストボックスから[TCP/IP->ダイヤルアップアダプタ]を選択し、<プロパティ>ボタンをクリックします。



3.〔TCP/IP のプロパティ〕ダイアログボックスの[IP アドレス]タブを選択し、[IP アドレスを指定]オプションボタンをクリックし、IP アドレスを指定してください(着信側と発信側に[192. 168. 0. 1]～[192. 168. 0. 254]の中から一意の番号を指定してください)。

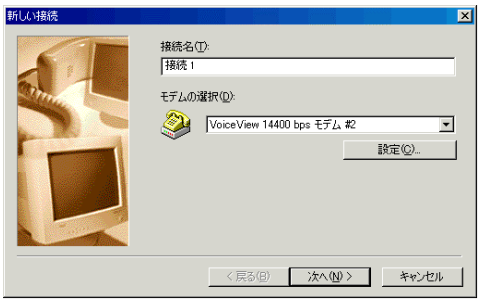
例: 発信側の IP アドレス　　[192. 168. 0. 10]
　　着信側の IP アドレス　　[192. 168. 0. 11]



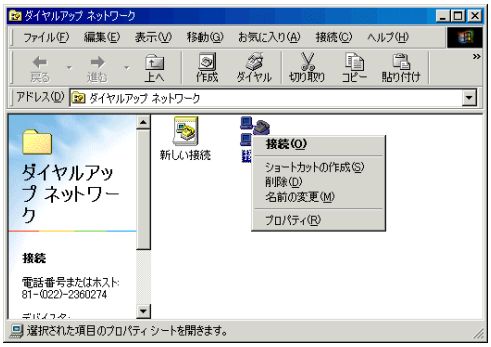
※ インターネット利用時には、[IP アドレスを自動的に取得]オプションボタンを選択し直してください。

発信側の設定

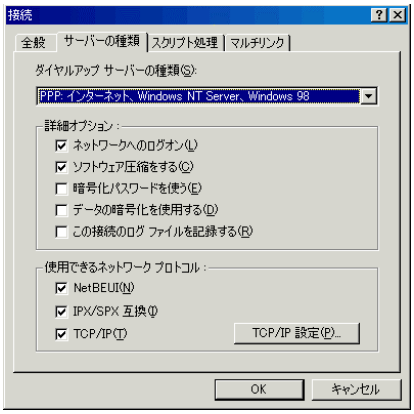
1. ダイヤルアップネットワークを起動します。
2. [新しい接続]アイコンをダブルクリックし、ウィザードの指示に従ってサーバー接続用のアイコンを作成します。



3. 作成したサーバー接続用のアイコン上で右クリックし、[プロパティ]を選択します。

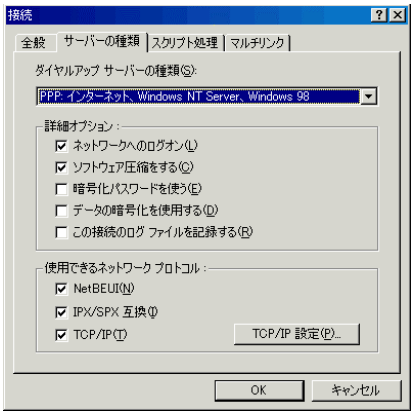


4. 〔接続〕ダイアログボックスの[サーバーの種類]タブをクリックします。



※ Windows Me の場合は、〔接続〕ダイアログボックスの[ネットワーク]タブを選択して表示された画面から設定を行います。

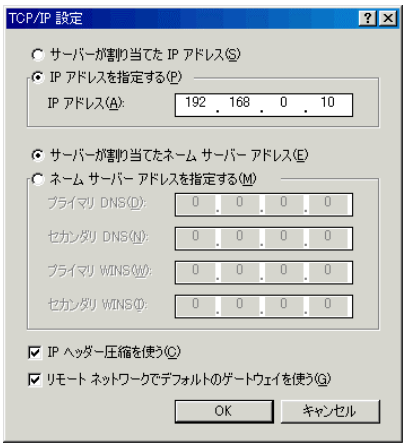
5. [サーバーの種類]タブの[ダイヤルアップサーバーの種類]コンボボックスから[PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98]を選択します。



※ Windows Me の場合は、[ダイヤルアップサーバーの種類]コンボボックスから[PPP:インターネット、Windows2000/NT、Windows Me]を選択します。

6. [使用できるネットワークプロトコル]グループボックスから[TCP/IP]チェックボックスを ON にし、<TCP/IP 設定>ボタンをクリックします。

7. 〔TCP/IP 設定〕ダイアログボックスから[IP アドレスを指定]オプションボタンをクリックし、発信側と着信側の設定で設定した IP アドレスと同一の番号を設定します(下図にある IP アドレスは一例です)。



着信側の設定

1. ダイヤルアップネットワークを起動します。
2. メニューバーの[接続]から、[ダイヤルアップサーバー]を起動します。
3. 〔ダイヤルアップサーバー〕ダイアログボックスの[着信する]オプションボタンをクリックし、<OK>ボタンをクリックします。

※ Windows Me の場合は、〔ダイヤルアップサーバー〕ダイアログボックスの[着信する]オプションボタンをクリックし、<適用>ボタンをクリックします。
着信待機状態になり、タスクトレイに以下のようなアイコンが表示されます。

以上の設定が終了した後、再度、ダイヤルアップネットワークを起動し、エージェントのコンピュータに接続します。着信したら、マネージャ側で[リモコン倶楽部 マネージャ]ウィンドウのメニューから[接続]-[接続]コマンドを選択し、エージェントの IP アドレスを入力して接続してください。

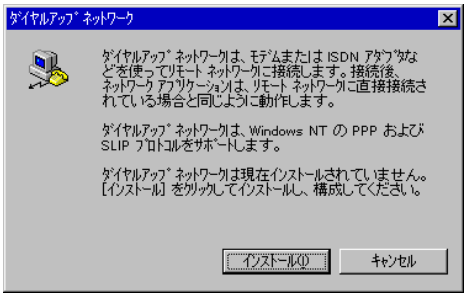
❑ Windows NT の場合

着信側の OS が Windows NT でダイヤルアップ接続ができなかった場合は、着信側のコンピュータで次の確認項目を確認し、再度ダイヤルアップ接続を行ってください。

確認項目 1

ダイヤルアップネットワークのセットアップ

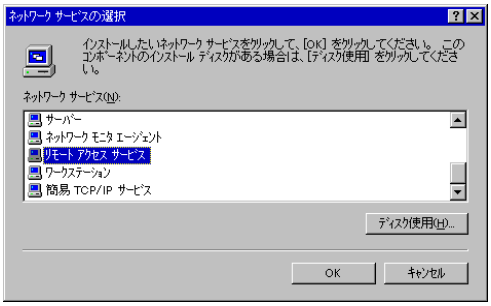
1. デスクトップの[マイコンピュータ]-[ダイヤルアップネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
2. ダイヤルアップネットワークのインストール画面が表示されますので、指示に従って操作してください。



確認項目 2

リモートアクセスサービスの設定

1. デスクトップの[ネットワークコンピュータ]アイコンを右クリックし、[プロパティ]コマンドを選択します。
2. [サービス]タブをクリックし、[ネットワークサービス]リストボックスに[リモートアクセスサービス]がない場合は、<追加>ボタンをクリックし、画面の指示に従ってリモートアクセスサービスを追加します。



3. [ネットワークサービス]リストボックスから[リモートアクセスサービス]を選択して、<プロパティ>ボタンをクリックします。

4. 〔リモートアクセス セットアップ〕ダイアログボックスの<構成>ボタンをクリックします。

5. 〔ポート使用の構成〕ダイアログボックスで[着信のみ]オプションボタンまたは、[ダイヤルアウトと着信]オプションボタンを選択し、<OK>ボタンをクリックします。

確認項目 3

IP アドレスの設定

1. デスクトップの[ネットワークコンピュータ]アイコンを右クリックし、[プロパティ]コマンドを選択します。
2. 〔ネットワーク〕ダイアログボックスの[プロトコル]タブをクリックし、[ネットワークプロトコル]リストボックスから[TCP/IP プロトコル]を選択した状態で<プロパティ>ボタンをクリックします。

3. 〔TCP/IP のプロパティ〕ダイアログボックスの[IP アドレス]タブを選択し、[IP アドレスを指定する]オプションボタンをクリックして、IP アドレスを[192. 168. 0. 1]～[192. 168. 0. 254]の中から入力します。

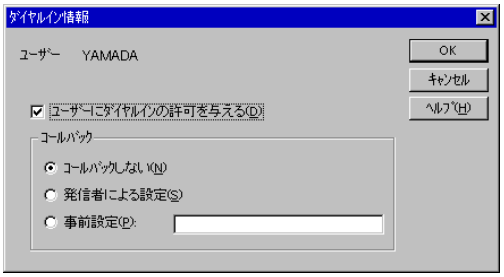
※ 着信側が Windows NT で発信側が Windows 98/Me の場合、着信側の Windows NT がダイヤルアップサーバーとして着信側(Windows 98/Me)に IP アドレスを割り当てますので、[TCP/IP 設定]では、[サーバーが割り当てた IP アドレス]チェックボックスを ON にします。
[サーバーが割り当てた IP アドレス]チェックボックス以外の設定は、前述の「Windows 98/Me の場合」の確認項目 3 と同様ですので、そちらを参照してください。

確認項目 4

ダイヤルアップ接続するユーザーの設定

1. [スタート]メニューから[プログラム]-[管理ツール(共通)]-[ユーザーマネージャ]コマンドを選択します。
2. ユーザー名一覧からダイヤルアップでアクセスするユーザーを選択し、メニューバーの[ユーザー]-[プロパティ]コマンドをクリックします。
3. 〔ユーザーのプロパティ〕ダイアログボックスで、〈ダイヤルイン〉ボタンをクリックします。

4. 〔ダイヤルイン情報〕ダイアログボックスで、[ユーザーにダイヤルインの許可を与える]チェックボックスを ON にして、〈OK〉ボタンをクリックします。



以上の設定が終了した後、再度、ダイヤルアップネットワークを起動し、エージェントのコンピュータに接続します。着信したら、マネージャでメニューから[接続]-[接続]コマンドを選択し、エージェントの IP アドレスを入力して接続してください。

❑ Windows 2000 の場合

OS が Windows 2000 でダイヤルアップ接続ができなかった場合は、次の確認項目を確認し、再度ダイヤルアップ接続を行ってください。

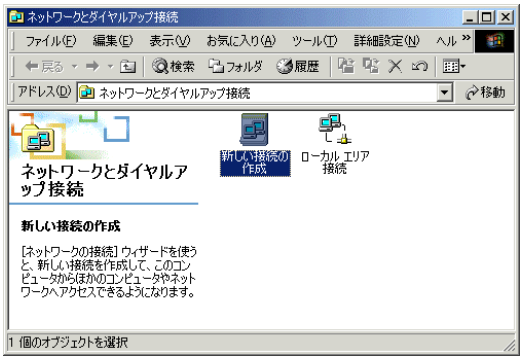
確認項目 1

ダイヤルアップネットワークのセットアップ

（発信側・着信側共に必要です。）

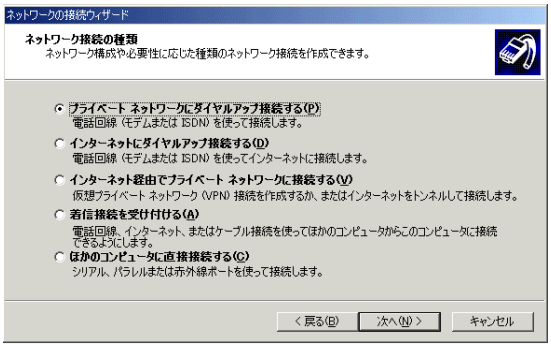
発信側の設定

1. タスクバーの[スタート]メニューから[設定]-[ネットワークとダイヤルアップ接続]コマンドを選択します。
2. 〔ネットワークとダイヤルアップ接続〕ダイアログボックスが表示されますので、[新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックします。

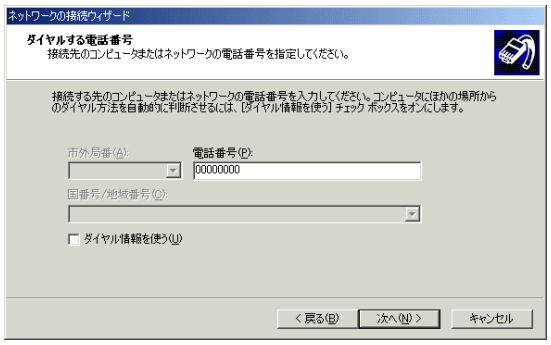


3. ネットワーク接続ウィザードの開始画面が表示されますので、〈次へ〉ボタンをクリックします。

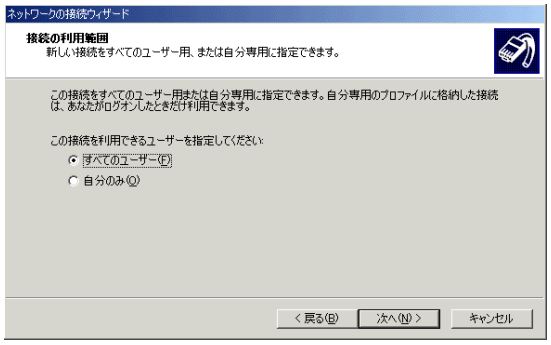
4. 次のような画面が表示されますので、ネットワーク接続の種類を選択します。ここでは、[プライベートネットワークにダイヤルアップ接続する]オプションボタンを選択します。〈次へ〉ボタンをクリックします。



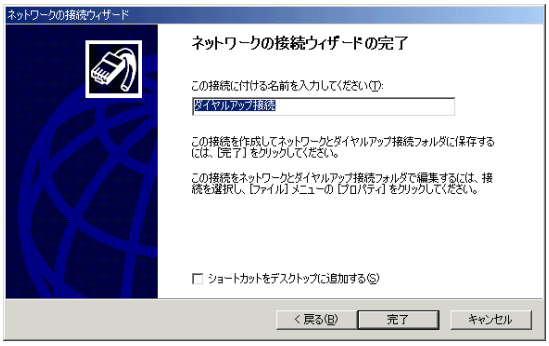
5. 次のような画面が表示されますので、[電話番号]テキストボックスにダイヤルする電話番号(接続する相手の番号)を入力します。〈次へ〉ボタンをクリックします。



6. 次のような画面が表示されますので、ネットワークの利用範囲を指定します。ここでは、[すべてのユーザー]オプションボタンを選択します。〈次へ〉ボタンをクリックします。

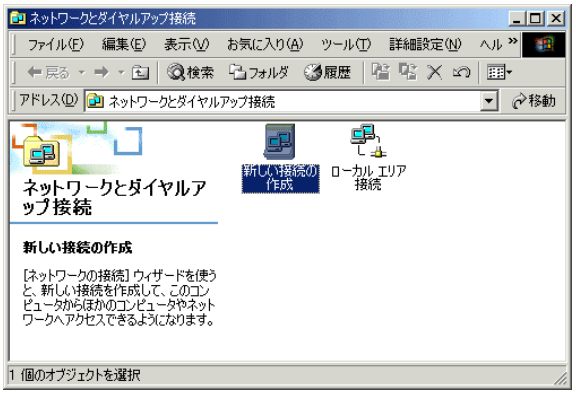


7. 次のような画面が表示されますので、この接続に付ける名前をテキストボックスに入力します。また、ショートカットをデスクトップに追加したい場合は、[ショートカットをデスクトップに追加する]チェックボックスを ON にします。
〈完了〉ボタンをクリックし、ダイヤルアップ接続の設定を完了します。



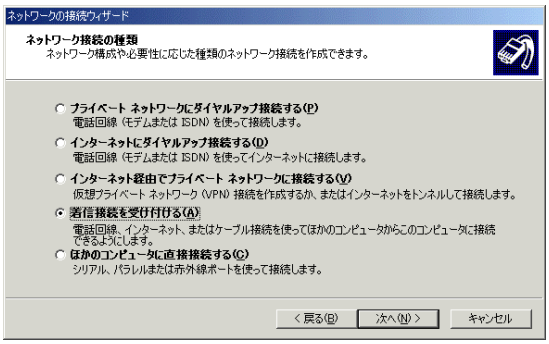
着信側の設定

1. タスクバーの[スタート]メニューから[設定]-[ネットワークとダイヤルアップ接続]コマンドを選択します。
2. 〔ネットワークとダイヤルアップ接続〕ダイアログボックスが表示されますので、[新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックします。

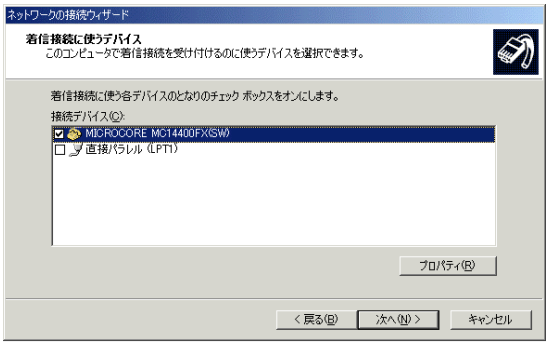


3. ネットワーク接続ウィザードの開始画面が表示されますので、〈次へ〉ボタンをクリックします。

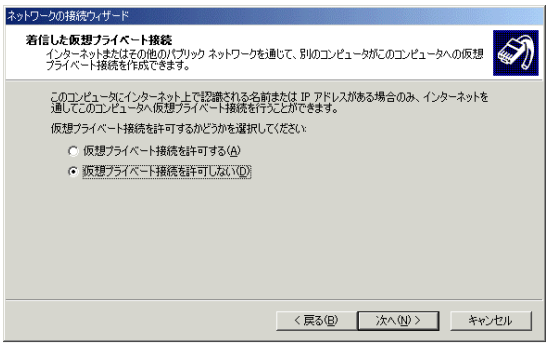
4. 次のような画面が表示されますので、ネットワーク接続の種類を選択します。ここでは、[着信接続を受け付ける]オプションボタンを選択します。〈次へ〉ボタンをクリックします。



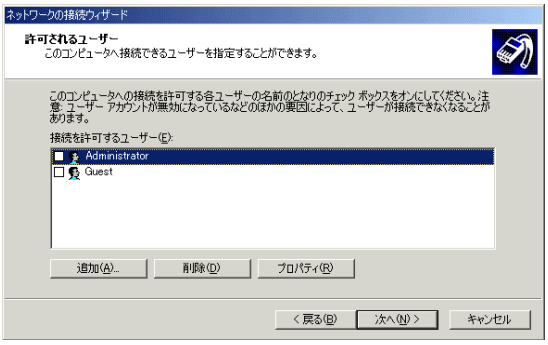
5. 次のような画面が表示されますので、着信接続に使うデバイスを選択します。[接続デバイス]リストボックスから使用するモデムのチェックボックスを ON にします。〈次へ〉ボタンをクリックします。



6. 次のような画面が表示されますので、着信した仮想プライベート接続の設定を行います。ここでは、[仮想プライベート接続を許可しない]オプションボタンを選択します。〈次へ〉ボタンをクリックします。



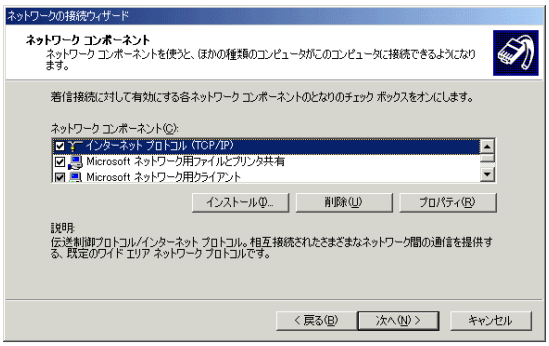
7. 次のような画面が表示されますので、許可するユーザーを設定します。<追加>ボタンをクリックします。



8. 〔新しいユーザー〕ダイアログボックスが表示されますので、新しいユーザーを追加します。
[ユーザー名]、[フルネーム]、[パスワード]、[パスワードの再入力]の各テキストボックスに、それぞれ入力してください。この際、入力した“ユーザー名”、“パスワード”は、ダイヤルアップで接続する際に発信側で必要になります。
<OK>ボタンをクリックします。

9.操作 7 の画面に戻ります。
[接続を許可するユーザー]リストボックスに、新しいユーザーが追加されチェックボックスが ON になっていることを確認し、<次へ>ボタンをクリックします。

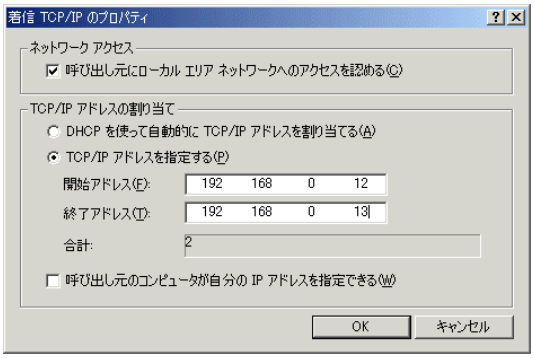
10. 次のような画面が表示されますので、ネットワークコンポーネントの設定を行います。[ネットワークコンポーネント]リストボックスから[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択して、<プロパティ>ボタンをクリックします。



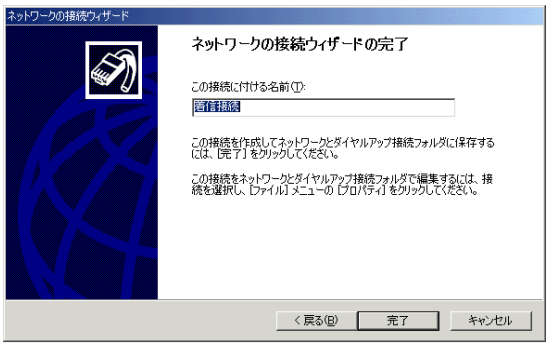
11. 〔着信 TCP/IP のプロパティ〕ダイアログボックスが表示されますので、TCP/IP アドレスの割り当てを行います。
[TCP/IP アドレスを指定する]オプションボタンを選択し、ローカルアドレス[192. 168. 0. 1]から、[192. 168. 0. 255]までの間の数値で、連続した数値を入力してください。

例: 開始アドレス　[192. 168. 0. 12]
　　終了アドレス　[192. 168. 0. 13]

この数値は、リモコン倶楽部に接続の際に必要となります。
指定が終りましたら、<OK>ボタンをクリックします。



12. 次のような画面が表示されますので、この接続に付ける名前をテキストボックスに入力します。
<完了>ボタンをクリックし、ダイヤルアップ着信の設定を完了します。



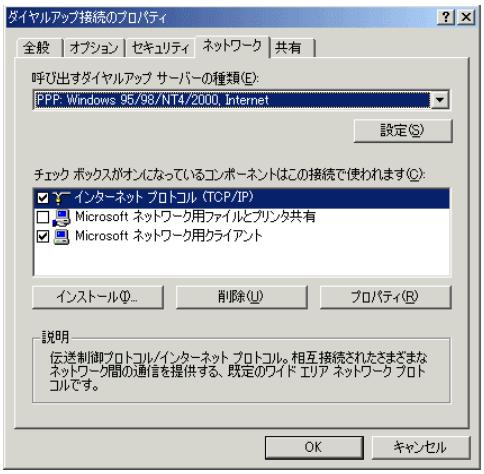
確認項目 2

TCP/IP プロトコルおよび IP アドレスの設定

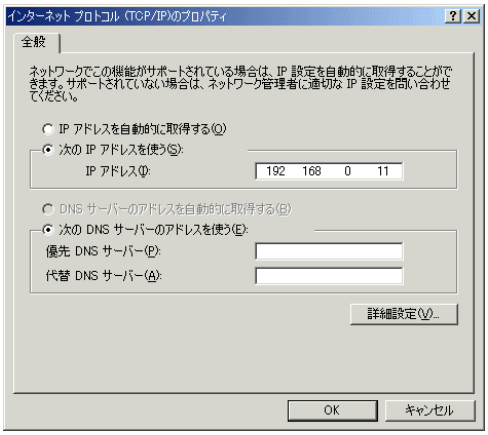
（発信側に必要です。）

1. タスクバーの[スタート]メニューから[設定]-[コントロールパネル]コマンドを選択し、ダイヤルアップ接続を起動します。
2. 〔ダイヤルアップ接続へ接続〕ダイアログボックスが表示されますので、〈プロパティ〉ボタンをクリックします。

3. 〔ダイヤルアップ接続〕ダイアログボックスが表示されますので、[ネットワーク]タブをクリックします。
   [呼び出すダイヤルアップサーバーの種類]コンボボックスから[PPP: Windows 98/NT4/2000、Internet]を選択し、接続に使用するコンポーネントに[インターネットプロトコル（TCP/IP）]チェックボックスを ON にして選択し、〈プロパティ〉ボタンをクリックします。



4. 〔インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ〕ダイアログボックスが表示されますので、使用するIPアドレスを指定します。
   固定のIPアドレスを入力する必要がありますので、[次のIPアドレスを使う]オプションボタンをクリックし、エージェント側で設定したIPアドレスとは違うアドレス番号を入力し、<OK>ボタンをクリックします(下図に表示されているのは一例です)。



以上で、IPアドレスの設定は完了です。

以上の設定が終了した後、再度、ダイヤルアップネットワークを起動し、エージェントのコンピュータに接続します。
着信したら、マネージャでメニューから[接続]-[接続]コマンドを選択し、エージェントのIPアドレスを入力して接続してください。

※ Windows2000 に着信する場合は、ダイヤルアップ後に、ユーザー名、パスワードを入力する必要があります。
これは、前述の確認項目 2 の 8.の操作で、Windows2000 に着信接続を作成した際に〔新しいユーザー〕ダイアログボックスで設定したユーザー名、パスワードを入力してください。なお、ドメインを入力する欄がありますが、これには何も入力しないでください。

❑ Windows XP の場合

OS が Windows XP でダイヤルアップ接続ができなかった場合は、次の確認項目を確認し、再度ダイヤルアップ接続を行ってください。

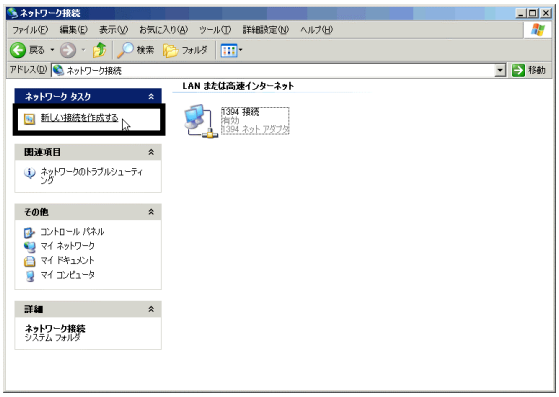
確認項目 1

ダイヤルアップネットワークのセットアップ

（発信側・着信側共に必要です。）

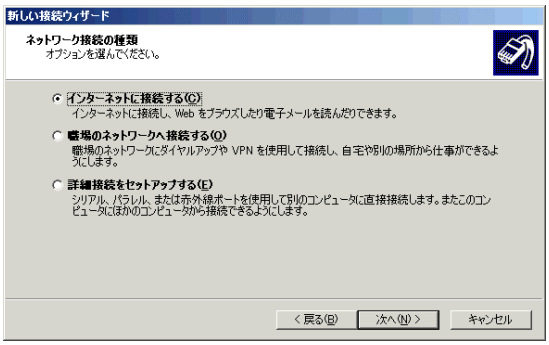
発信側の設定

1. タスクバーの[スタート]メニューから[設定]-[ネットワーク接続]コマンドを選択します。
2. [ネットワーク接続]ウィンドウが表示されますので、[新しい接続を作成する]をクリックします。

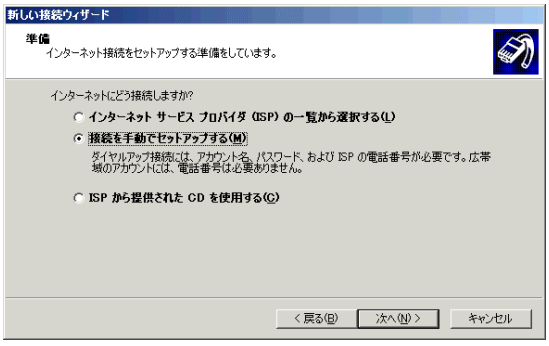


3. ネットワーク接続ウィザードの開始画面が表示されますので、〈次へ〉ボタンをクリックします。

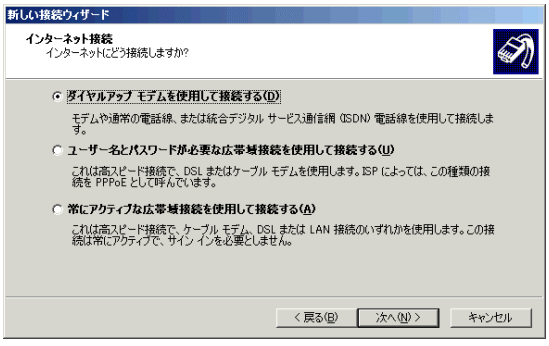
4. 次のような画面が表示されますので、ネットワーク接続の種類を選択します。ここでは、[インターネットに接続する]オプションボタンを選択します。〈次へ〉ボタンをクリックします。



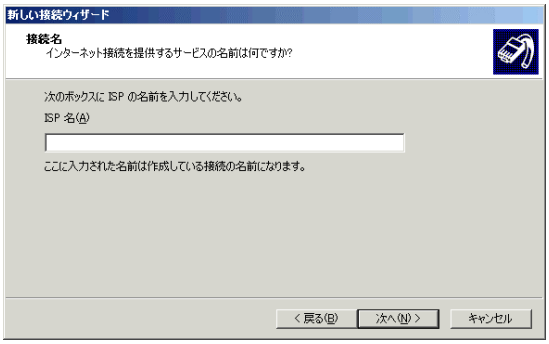
5. 次のような画面が表示されますので、[接続を手動でセットアップする]オプションボタンを選択します。〈次へ〉ボタンをクリックします。



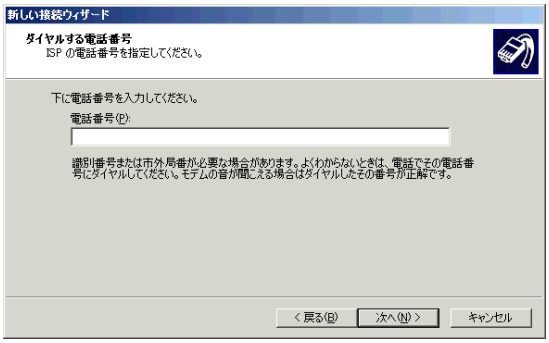
6. 次のような画面が表示されますので、[ダイヤルアップモデムを使用して接続する]オプションボタンを選択します。〈次へ〉ボタンをクリックします。



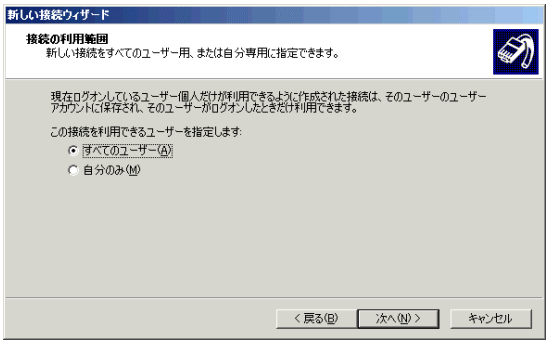
7.次のような画面が表示されますので、この接続に付ける名前をテキストボックスに入力します。〈次へ〉ボタンをクリックします。



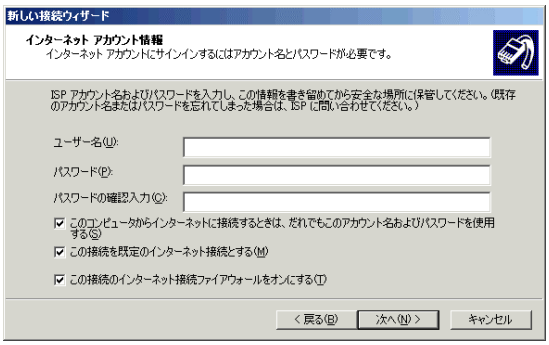
8. 次のような画面が表示されますので、[電話番号]テキストボックスにダイヤルする電話番号(接続する相手の番号)を入力します。<次へ>ボタンをクリックします。



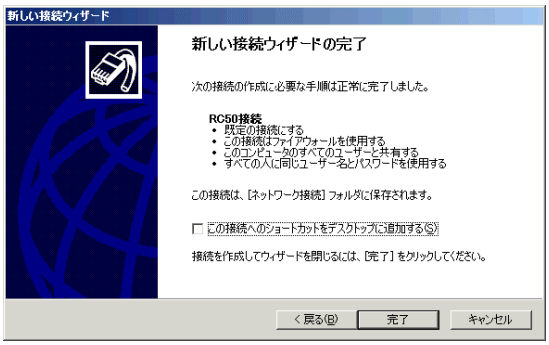
9. 次のような画面が表示されますので、ネットワークの利用範囲を指定します。ここでは、[すべてのユーザー]オプションボタンを選択します。<次へ>ボタンをクリックします。



10. 次のような画面が表示されますので、ユーザーを追加します。[ユーザー名]、[パスワード]、[パスワードの確認入力]の各テキストボックスに、それぞれ入力してください。<次へ>ボタンをクリックします。

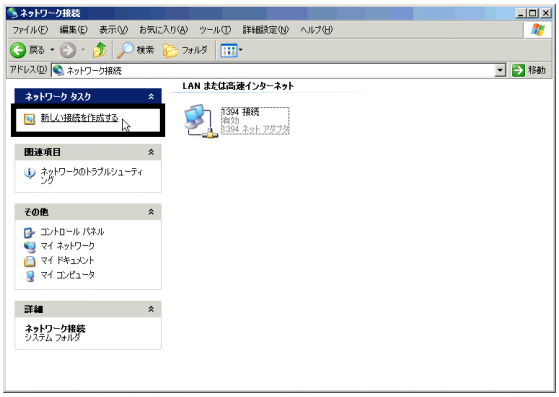


11. 次のような画面が表示されます。ショートカットをデスクトップに追加したい場合は、[この接続へのショートカットをデスクトップに追加する]チェックボックスを ON にします。<完了>ボタンをクリックし、ダイヤルアップ接続の設定を完了します。



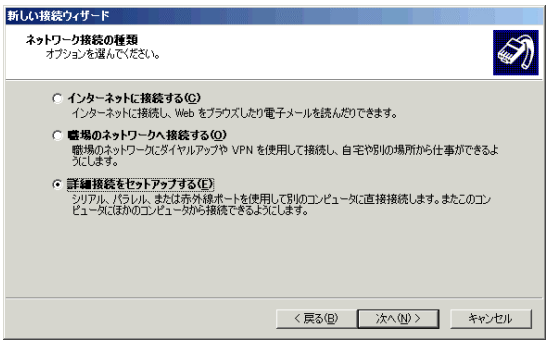
着信側の設定

1. タスクバーの[スタート]メニューから[設定]-[ネットワーク接続]コマンドを選択します。
2. [ネットワーク接続]ウィンドウが表示されますので、[新しい接続の作成する]をクリックします。

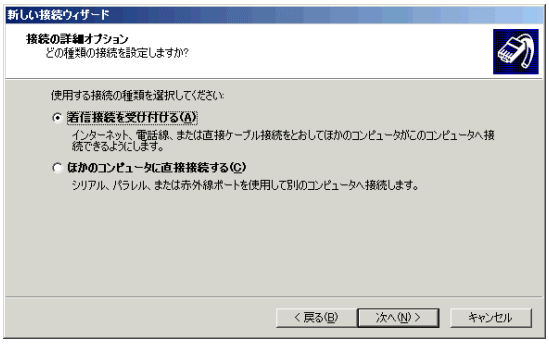


3. ネットワーク接続ウィザードの開始画面が表示されますので、〈次へ〉ボタンをクリックします。

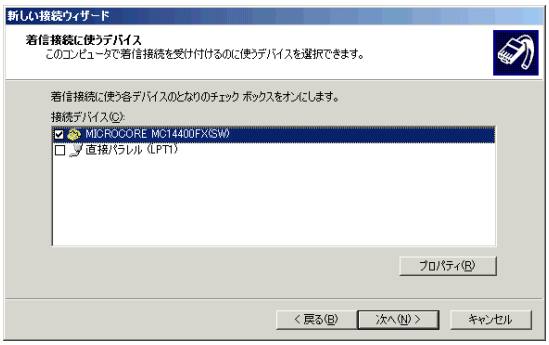
4. 次のような画面が表示されますので、ネットワーク接続の種類を選択します。ここでは、[詳細接続をセットアップする]オプションボタンを選択します。〈次へ〉ボタンをクリックします。



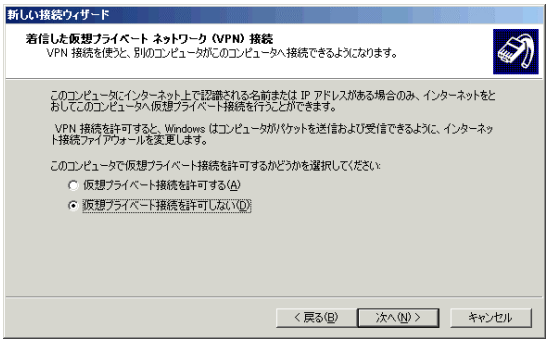
5. 次のような画面が表示されますので、接続の詳細オプションを選択します。ここでは、[着信接続を受け付ける]オプションボタンを選択します。〈次へ〉ボタンをクリックします。



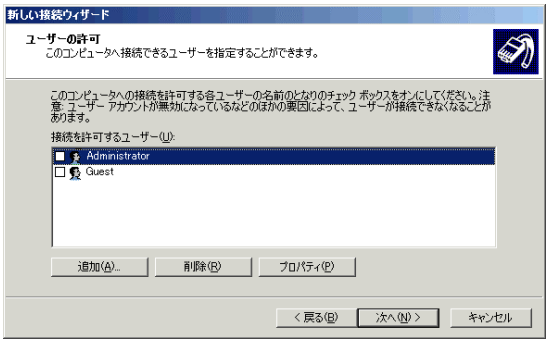
6. 次のような画面が表示されますので、着信接続に使うデバイスを選択します。[接続デバイス]リストボックスから使用するモデムのチェックボックスを ON にします。〈次へ〉ボタンをクリックします。



7. 次のような画面が表示されますので、着信した仮想プライベート接続の設定を行います。ここでは、[仮想プライベート接続を許可しない]オプションボタンを選択します。〈次へ〉ボタンをクリックします。



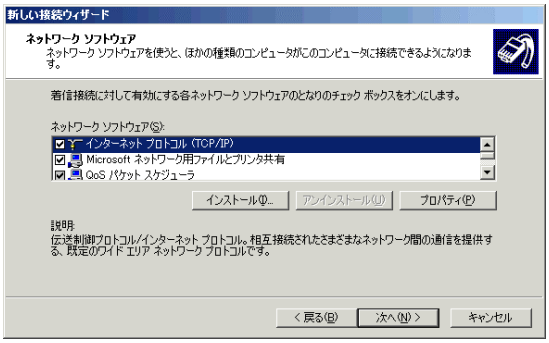
8. 次のような画面が表示されますので、許可するユーザーを設定します。〈追加〉ボタンをクリックします。



9. 〔新しいユーザー〕ダイアログボックスが表示されますので、新しいユーザーを追加します。
[ユーザー名]、[フルネーム]、[パスワード]、[パスワードの再入力]の各テキストボックスに、それぞれ入力してください。この際入力した“ユーザー名”、“パスワード”は、ダイヤルアップで接続する際に発信側で必要になります。〈OK〉ボタンをクリックします。

10. 操作 8 の画面に戻ります。
[接続を許可するユーザー]リストボックスに、新しいユーザーが追加されチェックボックスが ON になっていることを確認し、<次へ>ボタンをクリックします。

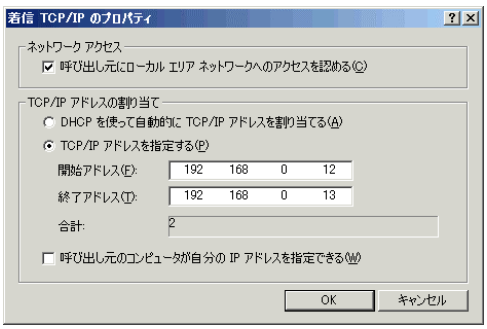
11. 次のような画面が表示されますので、ネットワークコンポーネントの設定を行います。[ネットワークソフトウェア]リストボックスから[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択して、<プロパティ>ボタンをクリックします。



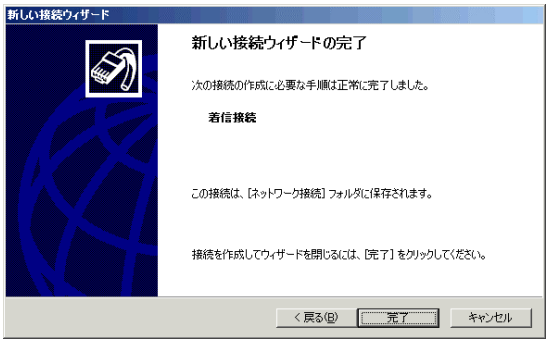
12. 〔着信 TCP/IP のプロパティ〕ダイアログボックスが表示されますので、TCP/IP アドレスの割り当てを行います。
[TCP/IP アドレスを指定する]オプションボタンを選択し、ローカルアドレス[192. 168. 0. 1]から、[192. 168. 0. 255]までの間の数値で、連続した数値を入力してください。

例: 開始アドレス　[192. 168. 0. 12]
　　終了アドレス　[192. 168. 0. 13]

この数値は、リモコン倶楽部に接続の際に必要となります。
指定が終りましたら、<OK>ボタンをクリックします。



13. 次のような画面が表示されます。
〈完了〉ボタンをクリックし、ダイヤルアップ着信の設定を完了します。

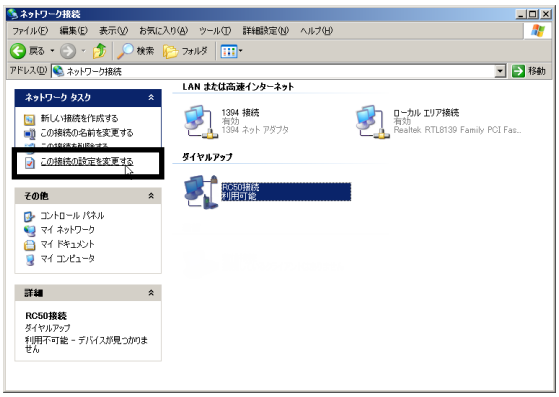


確認項目 2

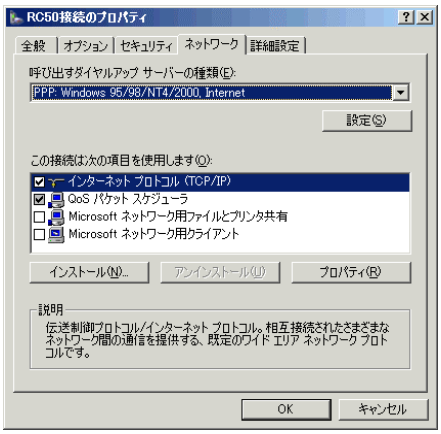
TCP/IP プロトコルおよび IP アドレスの設定

（発信側に必要です。）

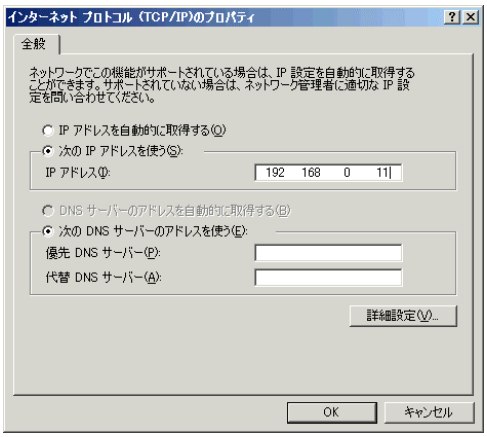
1. タスクバーの[スタート]メニューから[設定]-[ネットワーク接続]コマンドを選択します。
2. [ネットワーク接続]ウィンドウが表示されますので、構成するダイヤルアップ接続をクリックし、[この接続の設定を変更する]をクリックします。



3. ダイヤルアップ接続の設定の画面が表示されますので、[ネットワーク]タブをクリックします。
[呼び出すダイヤルアップサーバーの種類]コンボボックスから[PPP: Windows 98/NT4/2000、Internet]を選択し、接続に使用するコンポーネントに[インターネットプロトコル(TCP/IP)]チェックボックスをON にして選択し、〈プロパティ〉ボタンをクリックします。



4. 〔インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ〕ダイアログボックスが表示されますので、使用する IP アドレスを指定します。
   固定の IP アドレスを入力する必要がありますので、[次の IP アドレスを使う]オプションボタンをクリックし、エージェント側で設定した IP アドレスとは違うアドレス番号を入力し、<OK>ボタンをクリックします(下図に表示されているのは一例です)。



以上で、IP アドレスの設定は完了です。

以上の設定が終了した後、再度、ダイヤルアップネットワークを起動し、エージェントのコンピュータに接続します。
着信したら、マネージャでメニューから[接続]-[接続]コマンドを選択し、エージェントの IP アドレスを入力して接続してください。

※ WindowsXP に着信する場合は、ダイヤルアップ後に、ユーザー名、パスワードを入力する必要があります。
これは、前述の確認項目 2 の 8.の操作で、WindowsXP に着信接続を作成した際に〔新しいユーザー〕ダイアログボックスで設定したユーザー名、パスワードを入力してください。なお、ドメインを入力する欄がありますが、これには何も入力しないでください。

マネージャのコマンド一覧

マネージャ側のコマンドの機能は、次のとおりです。

[接続]メニュー

コマンド	ボタン	機能
接続		〔エージェントに接続〕ダイアログボックスが表示され、エージェントに接続することができます。
切断		接続したエージェントを切断します。
プロパティ		〔プロパティ〕ダイアログボックスが表示され、「リモコン倶楽部」による接続先のコンピュータの情報を取得することができます。
ダイヤルアップ		〔ダイヤルアップ〕ダイアログボックスが表示され、ダイヤルアップサーバーに接続することができます。
接続待機	－	[リモコン倶楽部　マネージャ]ウィンドウからエージェントを起動しマネージャからの接続待機の状態にすることができます。この時、一旦マネージャが終了されますが、エージェントを終了すると、[リモコン倶楽部　マネージャ]ウィンドウに戻ることができます。
終了	－	マネージャを終了します。

[編集]メニュー

コマンド	ボタン	機能
元に戻す	－	チャット領域で編集した直前の操作を元に戻します。
切り取り		チャット領域の下方部で選択している文字列が切り取られ、クリップボードにコピーされます。
コピー		チャット領域の上方部/下方部で選択している文字列がクリップボードにコピーされます。
貼り付け		チャット領域の下方部のカーソルの位置に、クリップボードの内容が貼り付けられます。

[制御]メニュー

コマンド	ボタン	機能
転送品質		エージェント側の画像が、指定した色数の画像で転送されます。
モノクロ		2 色で転送されます。
16 色		16 色で転送されます。
256 色		256 色で転送されます。
マネージャに合わせる		マネージャの色設定に合わせて転送されます。
キー送信		エージェント側のコンピュータに、次のショートカットキーを送信します。
Alt+Esc キー		タスクバーのタスクを切り替えます。
Alt+Tab キー		次のウィンドウに切り替えます。
ウィンドウズキー		タスクバーのスタートメニューを開きます。
全画面コピー		エージェント側の画面全体をスクリーンショットし、エージェント側のクリップボードにコピーします。
アクティブウィンドウ画面コピー		エージェント側のアクティブなウィンドウのみをスクリーンショットし、エージェント側のクリップボードにコピーします。
IME の On/Off		日本語入力システムの ON/OFF を切り替えます。
Ctrl+Alt+Del キー		Ctrl+Alt+Del のキー送信を行います。
送信画像の圧縮		エージェント側の画像が圧縮されて送信されます。
壁紙無効		エージェント側のコンピュータの壁紙を無効にします。
画像転送の一時停止		エージェント側からの画像転送を一時停止します。
閲覧モード		エージェント側の画像を閲覧モードで表示します。
特殊ウィンドウのキャプチャ	–	特殊なウィンドウをキャプチャします。 ※IME ツールバーや Office アシスタントなど。
ポート番号の設定	–	〔ポート番号の指定〕ダイアログボックスが表示され、マネージャ側のリモコン倶楽部が使用するポート番号を設定することができます。
画面色数の設定	–	〔画面色数の設定〕ダイアログボックスが表示され、リモートコントロール接続時にマネージャ側およびエージェント側のコンピュータの画面色数を 256 色設定に変更することができます。
リフレッシュ間隔の設定	–	〔リフレッシュ間隔の設定〕ダイアログボックス画像の一部がくずれたり、残像が残った場合、それをリフレッシュするための間隔を設定することができます。

[表示]メニュー

コマンド	ボタン	機能
ズーム		リモートコントロール領域に表示されているエージェント側のコンピュータの画像を指定した表示倍率で表示します。
50%		表示倍率 50%で表示します。
75%		表示倍率 75%で表示します。
100%		表示倍率 100%で表示します。
150%		表示倍率 150%で表示します。
200%		表示倍率 200%で表示します。
ウィンドウサイズに合わせる		リモートコントロール領域のサイズに合わせて表示します。
最新の画面を表示	–	エージェント側の最新の画像を表示します。
エージェントリスト		エージェントリスト内のエージェントのアイコンを指定した状態で表示します。
大きいアイコン	–	大きいアイコンの形式で一覧表示します。
小さいアイコン	–	小さいアイコンの形式で一覧表示します。
一覧	–	コンピュータ名の形式で一覧表示します。
詳細	–	コンピュータ情報を含む項目の一覧の形式で表示されます。各項目の名称が、表示されます。
アイコンの整列 コンピュータ名 ホスト名 IP アドレス OS 接続開始時間 接続状況 アイコンの自動整列	–	エージェントリスト内のエージェントのアイコンを指定した項目で整列します(大きいアイコンまたは小さいアイコンの形式で表示している場合に有効となります)。 指定できる項目は、「コンピュータ名」、「ホスト名」、「IP アドレス」、「OS」、「接続開始時間」、「接続状況」、「アイコンの自動整列」をメニューから指定します。
等間隔に整列	–	大きいアイコンまたは小さいアイコンの形式でエージェントのアイコンを表示している場合、等間隔に整列します。
接続待ち情報を受信しない	–	エージェント側からの接続待ち状態の情報を受信するかしないかを切り替えます。
ツールバー	–	ツールバーの表示/非表示を切り替えます。
ステータスバー	–	ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。

[ツール]メニュー

コマンド	ボタン	機能
Web コミュニケーション		[リモコン倶楽部 Web コミュニケーション]ウィンドウを起動します。
透明ボード		エージェント側のコンピュータのデスクトップ上に、文字を入力したり、線を描画することができます。
ファイル ワープ		[ファイル ワープ]ウィンドウが表示され、接続されているマネージャとエージェント間でファイルやフォルダを送受信することができます。
スクリーン ワープ		リモートコントロール領域をコンピュータの画面全体に表示します。
クリップボード共有		マネージャ側とエージェント側のコンピュータのクリップボードの内容を同一にすることができます。
チャットに使用する名前の設定		〔チャットに使用する名前の設定〕ダイアログボックスが表示され、チャット領域に表示される名前を設定することができます。
ツールバーの変更	–	〔ツールバーの変更〕ダイアログボックスが表示され、マネージャのツールバーをカスタマイズすることができます。
自動更新の設定	–	〔自動更新の設定〕ダイアログボックスが表示され、アップデートモジュールの更新方法を設定することができます。

[ヘルプ]メニュー

コマンド	ボタン	機能
ワンポイント	–	〔ワンポイント〕ダイアログボックスが表示され、リモコン倶楽部の使い方のヒントを知ることができます。
トピックの検索		リモコン倶楽部のヘルプが表示されます。
バージョン情報	–	〔バージョン情報〕ダイアログボックスが表示され、バージョン情報を確認することができます。

エージェントのコマンド一覧

エージェント側のコマンドの機能は、次のとおりです。

[接続]メニュー

コマンド	ボタン	機能
ダイヤルアップ		〔ダイヤルアップ〕ダイアログボックスが表示され、ダイヤルアップサーバーに接続することができます。
終了	－	エージェントを終了します。

[編集]メニュー

コマンド	ボタン	機能
元に戻す	－	チャット領域で編集した直前の操作を元に戻します。
切り取り		チャット領域の下方部で選択している文字列が切り取られ、クリップボードにコピーされます。
コピー		チャット領域の上方部/下方部で選択している文字列がクリップボードにコピーされます。
貼り付け		チャット領域の下方部のカーソルの位置に、クリップボードの内容が貼り付けられます。

[表示]メニュー

コマンド	ボタン	機能
ツールバー	－	ツールバーの表示/非表示を切り替えます。
ステータスバー	－	ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。

[ツール]メニュー

コマンド	ボタン	機能
Web コミュニケーション		[リモコン倶楽部 Web コミュニケーション]ウィンドウを起動します。
透明ボード		エージェント側のコンピュータのデスクトップ上に、文字を入力したり、線を描画することができます。
IP アドレスの表示	–	〔IP アドレス表示〕ダイアログボックスが表示され、エージェント側のコンピュータの IP アドレスを確認することができます。
IP アドレスの通知 On Web	–	弊社のホームページを表示し、画面から IP アドレスを通知します。表示された Web ページの指示に従って操作を行ってください。
ポート番号の設定	–	〔ポート番号の指定〕ダイアログボックスが表示され、エージェント側のコンピュータの、リモコン倶楽部が使用するポート番号を設定することができます。
接続環境の設定		〔接続環境の設定〕ダイアログボックスが表示され、接続許可キーなどの接続環境を設定することができます。
特殊ウィンドウのキャプチャ	–	特殊なウィンドウをキャプチャします。 ※IME ツールバーや Office アシスタントなど。
自動更新の設定	–	〔自動更新の設定〕ダイアログボックスが表示され、アップデートモジュールの更新方法を設定することができます。

[ヘルプ]メニュー

コマンド	ボタン	機能
トピックの検索		リモコン倶楽部のヘルプが表示されます。
バージョン情報	–	〔バージョン情報〕ダイアログボックスが表示され、バージョン情報を確認することができます。

メッセージ一覧

リモコン倶楽部の接続時のメッセージ一覧は、次のとおりです。

メッセージ	詳細
接続許可キー応答がタイムアウトのため、エージェントに接続できませんでした。	接続許可キー確認でタイムアウトした場合に表示されます。 エージェントを再起動して解消しなければサポートへ連絡してください。
タイムアウトのため、エージェントに接続できませんでした。	接続時にタイムアウトした場合に表示されます。 エージェントからの応答がない状態。回線の状態を確認後、リモコン倶楽部またはコンピュータの再起動をして、現象が解消しなければサポートへ連絡してください。
エージェントの接続許可操作が時間内に行われなかったか、ネットワークの障害のため、接続が許可されませんでした。	エージェントからの接続要求の確認をする設定がされているが、エージェント側で許可操作がされなかった場合に表示されます。
接続許可キーが一致しませんでした。	接続許可キーの不一致の場合に表示されます。
コンピュータ名から、IP アドレスに解決できませんでした。 コンピュータ名が正しいかどうかをご確認ください。	コンピュータ名から IP アドレスを取得できない場合に表示されます。 コンピュータ名が正しいかどうかを確認。またはエージェントの IP アドレスを調べて IP アドレスで接続してください。
接続が拒否されました。	エージェントから不許可が通知された場合に表示されます。
IP アドレスが不正です。 IP アドレスは、211.123.106.213 のように、ピリオドで区切られた 0 から 255 までの 4 つの 10 進数字で指定してください。	IP アドレスの指定が不正の場合に表示されます。

メッセージ	詳細
エージェントオブジェクトが見つかりません。 リモコン倶楽部またはコンピュータの再起動を行ってください。 再起動しても現象が解消されない場合は、サポートにご連絡ください。	プログラムの内部エラーの場合に表示されます。 リモコン倶楽部またはコンピュータの再起動を行い、解消されない場合や頻発する場合はサポートに連絡してください。
エージェント情報の受信に失敗しました。 〈詳細エラーメッセージ〉	エージェント情報の受信に失敗した場合に表示されます。 回線の状態を確認。詳細エラーメッセージには、Windows のメッセージが出力されます。
エージェントへの接続に失敗しました。 接続先のコンピュータが起動されているかどうかを確認してください。	エージェントへの接続に失敗した場合に表示されます。 接続先のコンピュータが起動されていない場合に多く発生します。起動されていても発生する場合は、回線の状態を確認してください。
エージェントへの接続に失敗しました。 接続先のコンピュータでエージェントが起動しているかどうかを確認してください。	エージェントへの接続に失敗した場合に表示されます。 コンピュータが起動していてもエージェントが起動していない場合に多く発生します。エージェントが起動されていても発生する場合は、回線の状態を確認してください。
エージェントへの接続に失敗しました。 ネットワーク回線の状態を確認してください。	エージェントへの接続に失敗した場合に表示されます。 LAN やネットワークへの接続がされていない場合に多く発生します。回線の状態を確認してください。
エージェントへの接続に失敗しました。 〈詳細エラーメッセージ〉	エージェントへの接続に失敗した場合に表示されます。 通信のエラーが発生。詳細エラーメッセージには、Windows のメッセージが出力されます。
ドキュメント情報が取得できませんでした。 リモコン倶楽部またはコンピュータの再起動を行ってください。 再起動しても現象が解消されない場合は、サポートにご連絡ください。	プログラムの内部エラーの場合に表示されます。 リモコン倶楽部またはコンピュータの再起動を行い、解消されない場合や頻発する場合はサポートに連絡してください。

メッセージ	詳細
ドキュメントがオープンできませんでした。 リモコン倶楽部またはコンピュータの再起動を行ってください。 再起動しても現象が解消されない場合は、サポートにご連絡ください。	プログラムの内部エラーの場合に表示されます。 リモコン倶楽部またはコンピュータの再起動を行い、解消されない場合や頻発する場合はサポートに連絡してください。
ドキュメントがオープンできませんでした。 リモコン倶楽部またはコンピュータの再起動を行ってください。 再起動しても現象が解消されない場合は、サポートにご連絡ください。	プログラムの内部エラーの場合に表示されます。 リモコン倶楽部またはコンピュータの再起動を行い、解消されない場合や頻発する場合はサポートに連絡してください。
通信のエラーが発生しました。[20050] 〈詳細エラーメッセージ〉	通信エラーが発生した場合に表示されます。 詳細エラーメッセージには、Windows のメッセージが出力されます。
通信のエラーが発生しました。[20051] 〈詳細エラーメッセージ〉	通信エラーが発生した場合に表示されます。 詳細エラーメッセージには、Windows のメッセージが出力されます。
通信のエラーが発生しました。[20052] 〈詳細エラーメッセージ〉	通信エラーが発生した場合に表示されます。 詳細エラーメッセージには、Windows のメッセージが出力されます。
通信のエラーが発生しました。[20053] 〈詳細エラーメッセージ〉	通信エラーが発生した場合に表示されます。 詳細エラーメッセージには、Windows のメッセージが出力されます。
通信のエラーが発生しました。[20054] 〈詳細エラーメッセージ〉	通信エラーが発生した場合に表示されます。 詳細エラーメッセージには、Windows のメッセージが出力されます。
接続をキャンセルしました。	通信エラーが発生した場合に表示されます。

リモコン倶楽部に関するお問い合わせ

※リモコン倶楽部に関する技術サポートについては、リモコン倶楽部のセットアップフォルダにある README.TXT ファイルをご覧ください。

★ 大量購入をご検討のお客様へ…
本製品の大量購入をご検討頂いている場合、廉価にてご提供いたします。

★ リモートコントロール技術の導入をご検討の企業・お客様へ…
お客様のビジネススタイル、製品のご利用方法、販売形態によって、その実現方法も含めたご提案をしております。

お問い合わせは…
販売元 ゼッタテクノロジー株式会社
東京都文京区千駄木3-47-1 千駄木WINビル
営業部
TEL.03-5814-2170 / FAX.03-5814-2184
URL http://www.zetta.co.jp
Mail e-support@zetta.co.jp

リモコン倶楽部 Ver.5

取扱説明書

2003年07月 初版第1刷発行
2004年01月 第2版第1刷発行

販売元
ゼッタテクノロジー株式会社

ご 注 意

①ゼッタテクノロジー株式会社は、ゼッタテクノロジー株式会社が著作権を有する本書の内容の一部または全部を無断転載することを一切許可しておりません。もし、違反した場合には違法行為となり、懲役または罰金が課せられます。
②本書の内容は、訂正・改善のため予告なしに変更することがあります。